

ボーダーリンク指導案

NEW HORIZON Elementary 5

NEW HORIZON Elementary

ボーダーリンク指導案の使い方

- ・指導案は日本語と英語版があります。また、その内容は、学級担任とALTが共通認識を持てるよう、同様の形式で作られています。
- ・日本語の指導案にのみ、評価の規準の例が記載されています。必要に応じてALTにも実際の評価規準や方法などお伝えください。(評価箇所の目安(◎)は両方の指導案に記載されています。)
- ・ボーダーリンクの指導案は、教科書の流れに沿って作成されており、活動の該当ページが各レッスンに記載されています。ただし、弊社オリジナルの活動に関しては、その限りではありません。
- ・学級担任とALTとの会話例が、活動ごとに記載されており、自然な会話を通して、活動の導入をすることができるようになっております。
- ・指導案には活動例や活動の応用方法が記載されています。記載の通りに授業をしていただく必要はなく、クラスで使えるような活動のみ行っていただくなど、自由に組み替えてご使用いただけます。
- ・この指導案も活用していただきながら、学級担任とALTで授業を計画していただくことを推奨しております。

省略表現または記号について：

p. : ページ

pp. : 複数ページに
またがっているページ

◎ : 評価

ALT : 外国語指導助手
Assistant Language Teacher

HRT : 学級担任
Homeroom Teacher

PD : ピクチャーディクショナリー

FCs : フラッシュカード (デジタル教科書内にデータがあります)

巻末カード : 教科書の巻末にある、
小サイズのフラッシュカード。

BOL ワークシート : NEXT TIME WEB 上に
BOL 独自ワークシートを掲載しております。

振り返りシート : 先生方でご用意いただくものです。BOL としてのご提供はありません。

教科書巻末カード：

各 Unit の発表の授業では、教科書巻末のコミュニケーションカードをご利用ください。

その他のレッスンプランやフラッシュカード、ワークシートをご活用いただく場合は、以下のリンクより
NEXT TIME WEB へ移動していただくことが可能です。

ALT 用：

<https://alt.next-time-web.com/>

学校用：

<https://www.next-time-web.com/>

パスワードは、年度初めに配布させていただいております。

目次

Unit 1 Hello, friends.

Lesson 1	pp.4-5	Lesson 3	pp.8-9	Lesson 5	pp.12-13	Lesson 7	pp.16-17
Lesson 2	pp.6-7	Lesson 4	pp.10-11	Lesson 6	pp.14-15	Lesson 8	pp.18-19

Unit 2 When is your birthday?

Lesson 1	pp.20-21	Lesson 3	pp.24-25	Lesson 5	pp.28-29	Lesson 7	pp.32-33
Lesson 2	pp.22-23	Lesson 4	pp.26-27	Lesson 6	pp.30-31	Lesson 8	pp.34-35

Unit 3 What do you want to study?

Lesson 1	pp.36-37	Lesson 3	pp.40-41	Lesson 5	pp.44-45	Lesson 7	pp.48-49
Lesson 2	pp.38-39	Lesson 4	pp.42-43	Lesson 6	pp.46-47	Lesson 8	pp.50-51

Check Your Steps 1 Let's introduce ourselves to someone from overseas.

Lesson 1	pp.52-53
Lesson 2	pp.54-55

Unit 4 He can bake bread well.

Lesson 1	pp.56-57	Lesson 3	pp.60-61	Lesson 5	pp.64-65	Lesson 7	pp.68-69
Lesson 2	pp.58-59	Lesson 4	pp.62-63	Lesson 6	pp.66-67	Lesson 8	pp.70-71

Unit 5 Where is the post office?

Lesson 1	pp.72-73	Lesson 3	pp.76-77	Lesson 5	pp.80-81	Lesson 7	pp.84-85
Lesson 2	pp.74-75	Lesson 4	pp.78-79	Lesson 6	pp.82-83	Lesson 8	pp.86-87

Unit 6 What would you like?

Lesson 1	pp.88-89	Lesson 3	pp.92-93	Lesson 5	pp.96-97	Lesson 7	pp.100-101
Lesson 2	pp.90-91	Lesson 4	pp.94-95	Lesson 6	pp.98-99	Lesson 8	pp.102-103

Check Your Steps 2 Let's introduce good things about our community.

Lesson 1	pp.104-105
Lesson 2	pp.106-107

Unit 7 Welcome to Japan.

Lesson 1	pp.108-109	Lesson 3	pp.112-113	Lesson 5	pp.116-117	Lesson 7	pp.120-121
Lesson 2	pp.110-111	Lesson 4	pp.114-115	Lesson 6	pp.118-119	Lesson 8	pp.122-123

Unit 8 Who is your hero?

Lesson 1	pp.124-125	Lesson 3	pp.128-129	Lesson 5	pp.132-133	Lesson 7	pp.136-137
Lesson 2	pp.126-127	Lesson 4	pp.130-131	Lesson 6	pp.134-135	Lesson 8	pp.138-139

Check Your Steps 3 Let's introduce good things about Japan.

Lesson 1	pp.140-141
Lesson 2	pp.142-143

45 テーマ：Hello, friends. (pp.10-11)

レッスン 目標：名前や好きなもの・ことを伝えよう。

言語材料：How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily. What ~ do you like? など

語彙：スポーツ (PD p.7)

Greeting, Small Talk: What's your name?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Hello. What's your name?"

ALT: "I'm (ALT name). What's your name?"

HRT: "My name is (HRT name)."

ALT: "Good name and unusual name in my country! What's your name?" (児童へ投げかける)

トピック例：What does your name mean? (What's your name?と一緒に尋ねる) What's his/her name? (有名人の写真を見せ、名前とスペルについてクイズを出したりする) What kanji is in your name? What is a popular name this year? (または、in ALT's country)

Let's Sing: Nice to meet you. (p.11)

4分

- ・学級担任とALTで歌の紹介をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing a song. First, let's listen."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's listen to 'Nice to meet you.'"

やりとり例：What did you hear? Good morning, Good ... ? Anything else? What are their names? What's your name? How are you? Good? Fine?

Word Link: スポーツ (PD p.7)

5分

- ・学級担任は、児童にPDのsportsのページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：

HRT: "Open your Picture Dictionary to page 7 and let's practice!"

PDまたはFCs

ALT: "What sport do you like? What sport do you play? Do you know any other sports?"

やりとり例：What sport do you like? What do you play? What do you want to play?

- ・ランダムに単語を確認する。

- ・カードを一瞬だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。

Let's Try 1 (p.11)

10分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 7."

PDまたはFCs

ALT: "Let's play a pointing game."

HRT: "I play (sport)!"

ALT: "I play (sport). Please point to (sport)!"

アクティビティ例：

- ・ポインティングゲーム：先生が、PDの単語を読み上げ、児童は自分のPD上の単語を指さす。(ペアやグループでも可能)

- ・Guess and point：先生が、単語の冒頭部分のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える(書く、指さすなど)。先生または、ALTが、単語を読み、合っていれば1ポイント。

Let's Chant: ① How do you spell your name? (p.11)

5分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材:

先生の導入:

デジタル教科書

HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す)
ALT: "What did you hear? (児童に投げかけ、どんなアルファベットが聞こえたか引き出す。)
Chant 1:
A, B, C, D, E, F, G. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily.
H, I, J, K, L, M, N. How do you spell your name? H-I-R-O-S-H-I, Hiroshi.
O, P, Q, R, S, T, U. How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura.
V, W, X, Y, Z, Z. How do you spell your name? Y-U-J-I, Yuji!

Starting Out (pp.10-11) ㊦

10分

- ・児童にNo. 1-5の音声を聞かせ、聞こえた順に番号を記入させる。
- ・状況を説明し、それぞれの絵に対して、キャラクターの紹介をする。
- ・音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。

教材:

先生の導入:

デジタル教科書

HRT: "Let's listen to today's story. Please look at pages 10 and 11. Starting Out."
ALT: "How many pictures? Yes, We have 5 pictures. Five."
HRT: "Let's listen again and check the answers."
やりとり例: What did you hear? What's No.1? What's his/her name? Where is he/she from?
* 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

Sounds and Letters: 大文字を読もう A ~ Z (pp.86-87)

5分

- ・学級担任またはALTが巻末のカードを使って、大文字のアルファベットの発音(名前)を練習する。
- ・巻末のカードを使って、カルタをする。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材:

先生の導入:

教科書

HRT: "Let's check Sounds and Letters. Please open your textbook to pages 86 and 87."
(練習後)

ふり返しシート

ALT: "Let's play Karuta!"

バリエーション:

- ・カルタ: アルファベットのカードを並べる。学級担任または、ALT がアルファベットを一つずつ読み上げていく。
- ・アルファベットジェスチャー: 児童をグループに分ける。先生、または ALT がアルファベットの形をジェスチャーし、児童がそれを推測する。
- ・i スパイ: 単語の一つを選び、その単語の1文字目だけを教える。そこから、単語を推測する。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材:

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Starting Out

主(L) 名前や好きなもの・ことについて、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：Hello, friends. (pp.10-11)

レッスン 目標：名前や好きなもの・ことを伝えよう。

言語材料：How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily. What ~ do you like? など

語彙：学校 (PD p.24)

Greeting, Small Talk: What does your name mean?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "What's my name?" Sts: "Mr./Ms. (HRT's name)!" HRT: "You are right! My name has meaning. My name means..." (学級担任が例として、名前の意味を紹介する。) HRT: "Let's ask (ALT) sensei! What does your name mean?" ALT: "My name means..." トピック例：What's his/her name? (有名人の写真を見せ、名前とスペルについてクイズを出したりする。) Who is this? (アニメなどのキャラクターが海外でなんと呼ばれているのかクイズをする。)

Let's Sing: Nice to meet you. (p.11)

4分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで歌の確認をする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's sing a song."
デジタル教科書	ALT: "Yes, let's sing 'Nice to meet you.'" アクティビティ例： <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。 ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 学校 (PD p.24)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのp.24のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 24."
PDまたはFCs	ALT: "Wow, we have a lot of subjects here! What would you like to study?" HRT: "What subject do you like?" ALT: "What subject would you like to study this year?" アクティビティ例：ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try 1 (p.11)

10分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary." ALT: "Let's play Guess and point."
デジタル教科書	(詳細は以下の活動アイデアを参照してください) HRT: "Ca... Please point." ALT: "Next, cra...Please point!" (Calligraphyとarts and crafts) アクティビティ例： <ul style="list-style-type: none"> ・Guess and point:先生が、単語の冒頭または一部のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える。先生が、単語を読み、児童は、読まれた単語を指さす。(カードを使っている場合は、カードを取る)

Let's Chant: ② What sport do you like? (p.11)

5分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入: ALT: "Let's chant!"
デジタル教科書	HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear? What's your favorite sport?" (児童に投げかけ、どんなスポーツが聞こえたか引き出す。) Chant 2: What sport do you like? I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ). I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

Let's Watch and Think (p.11) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に音声や映像を視聴させる。・児童がわからない箇所があれば、音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's watch and think."
デジタル教科書	ALT: "What did you hear?" やりとり例: ・What's his/her name? Where is he/she from? What does he/she like? How do you spell his/her name? ・ALT が誰か(児童の知っている誰か)になりきり、名前以外を紹介する。児童は、誰かを当て、できるだけ名前のスペルを考える。(書く必要はない) * 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

Sounds and Letters: 大文字を読もう A ~ Z (pp.86-87)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが巻末のカードを使って、大文字のアルファベットの発音(名前)を練習する。・巻末のカードを使って、カルタをする。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's check Sounds and Letters. Please open your textbook to pages 86 and 87." (練習後)
教科書	ALT: "Let's play Karuta!"
ふり返しシート	バリエーション: ・カルタ: アルファベットのカードを並べる。先生または、ALT がアルファベットを一つずつ読み上げていく。 ・アルファベットジェスチャー: 児童をグループに分ける。先生、または ALT がアルファベットの形をジェスチャーし、児童がそれを推測する。 ・i スパイ: 単語の一つを選び、その単語の1文字目だけを教える。そこから、単語を推測する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 名前や好きなもの・ことについて、話の概要を捉えようとしている。

知(L) I'm ~. My name is ~. I like ~. What ~ do you like? の表現を理解している。

45 テーマ：Hello, friends. (pp.12-13)

レッスン 目標：名前や好きなもの・ことを尋ね合おう。

言語材料：I like ~ . I don't like ~ . What ~ do you like? など

語彙：色 (PD p.6)

Greeting, Small Talk: What sport do you like?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "(ALT) sensei, what sport do you like?" ALT: "Oh, my favorite sport? Umm... I like ice hockey." HRT: "Really? It's not popular in Japan." ALT: "How about you, (HRT) sensei? What sport do you like?" HRT: "I like soccer." トピック例：What subject do you like? Why? / What animal do you like? Why? *Whyを聞いていく場合には、日本語で児童から答えを引き出し、それをALTや先生が英語で発音していく形でも可能。

BOL Activity: カルタ

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。 ・グループに分け、カルタの札を配る。
教材：	先生の導入： HRT: "First, let's check words and phrases! What's your name?"
PD または FCs	HRT: "Now let's play Karuta! Please ask (ALT) sensei, 'What's your name?'" ALT: "My name is... basketball!" *理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。 アクティビティ例： ・カルタ：FCsを使い、カルタを行う。単語を一部だけ読む、フレーズに入れて読む、ヒントから連想させるなどレベルに応じて、設定する。 ・ジャンピングゲーム：児童を2チームに分ける。床にFCsを一列で置く。一人ずつ両端から、一つずつ単語を発音し、正しく言えたら次へジャンプする。相手チームの人にぶつかったら、ジャンケン。負けたら、列の後ろへ行き、次の人が同様に進む。

Word Link: 色 (PD p.6)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのcolorsのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 6."
PD または FCs	ALT: "Wow, we have a lot of colors here! Do you know any other colors? What color do you like?" HRT: "What color is this?" やり取り例：What color do you like? What colors can you see in your classroom? アクティビティ例： ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

BOL Activity: How many colors can you see?

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's look at the flash cards."
PD または FCs	ALT: "How many colors can you find in your classroom?" HRT: "(ALT) sensei, how many colors can you find?" ALT: "I found red, green and yellow - so one, two, three colors! Let's find colors in our classroom!" アクティビティ例： ・How many colors can you see?: 教室内で何色見つけられるかを競うゲーム。色を確認しながら、どこで(何から)それを見つけたのか、答えさせる。未習の単語等出てきた場合、ALTは、時間に応じてその単語を教える。*写真を使ったり、パワーポイントのスライドで準備することも可能

Let's Listen 1 (p.12) ㊦

8分	<ul style="list-style-type: none">・児童に教科書p.12を開くように指示する。・デジタル教科書の音声を読む。・児童の理解度に応じて、繰り返したり、ゆっくり読んだり、単語を確認する。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Open your textbook to page 12. Let's Listen 1." ...(リスニング後) ALT: "What did you hear?" やり取り例: What's her name? What's this? (教科書の色やスポーツを確認する) What sport/color do you like?

Let's Try 2 (p.12) ㊦

7分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTで、モデル文 (What color do you like? / I like ... (色、スポーツ、食べ物).)の確認をする。・学級担任とALTで、デモンストレーションを行う。・学級担任とALTで、インタビュー中に苦手な子や、活動ができていない児童の支援をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's Try 2. Please watch us." ALT: "What did you hear? ALT: "What color do I like? What sport do I like? What food do I like?" HRT: "Great! Now let's interview our classmates."

Sounds and Letters: 大文字 A ~ G (p.86)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、A~Gの範囲でアルファベットを選び、発音する。・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 86. Let's check Sounds and Letters." ALT: "What are today's letters? Upper-case A, B, C, D, E, F, G." バリエーション:
ふり返しシート	<ul style="list-style-type: none">・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例, Apple の絵を描き、その下に A を書く。・先生または、ALT が PD から絵を一つ選び、つづり字を一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。・宿題でできる活動: 児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Listen 1

思(L) 名前や好きなものことについて、概要を捉えている。

Let's Try 2

知(S) I like ~ . What ~ do you like? の表現を理解している。

知(S) I like ~ . What ~ do you like? を用いて、お互いの考えを伝え合うことができています。

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、簡単な語句や I like ~ . What ~ do you like? の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ：Hello, friends. (pp.12-13)

レッスン 目標：名前をローマ字で書こう。名前や好きなもの・ことを尋ね合おう。

言語材料：How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura. I like ~ . など

語彙：食べ物 (PD p.8)

Greeting, Small Talk: What animal do you like?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "(ALT) sensei, what animal do you like?" ALT: "Oh, my favorite animal? Hm... I like cats." HRT: "Who likes cats? Raise your hand!" ALT: "How about you? What animal do you like?"
	HRT: "Me? I like dogs."
	ALT: "Okay, class... which do you like, cats or dogs?" (児童に尋ねる)
	トピック例：Why? Why do you like cats/dogs/ など?
	*Whyを聞いていく場合には、日本語で児童から答えを引き出し、それをALTや先生が英語で発音していく形でも可能。

BOL Activity: お手玉渡し

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。 ・学級担任とALTで、ルール説明をする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's play beanbag toss!"
PDまたはFCs	ALT: "First, say a word. Next, toss the bag to someone." アクティビティ例： ・お手玉渡し (Beanbag toss): お手玉を児童に渡す。児童は近くの人にお手玉をパスできるが、渡すときに単語を言わなくてはならない。30秒や1分など時間内に児童は、お手玉を渡し続ける。 ・キーワードゲーム：ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードの一つを設定する。単語をALTが読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。*できるようになってきたら、絵だけ児童に見せて、児童が単語を発音していく。

Word Link: 食べ物 (PD p.8)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのFoodのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at your Picture Dictionary, page 8. What food do you like?"
PDまたはFCs	ALT: "Do you like...?" やりとり例： ・カードの一部をだんだんと見せていき、児童はカードが何かを当てる。 ・ラッキーカード：FCsを黒板に貼り付け、児童に、目をつむらせる。その間に、学級担任またはALTが、磁石(キャラクター等でも可能)をFCsの裏に隠し、ラッキーカードを設定する。児童は、目を開き、好きな単語の一つを発音する。発音したら、FCsをはがし、ラッキーカードだったかを確認する。

BOL Activity: Guessing Game

9分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's play a guessing game! I'll guess what (ALT) sensei likes and doesn't like. (それぞれのFCsに対してO (like), X (don't like) を書く) Do you like ~ ? ALT: "Yes, I do! HRT: "Yes! One point! ...Do you like soccer?" ALT: "No, I don't." HRT: "Oh no! Zero points!" (続けて、ポイントを競う)
PDまたはFCs	アクティビティアイデア： ・Guessing game: ペアを作り、お互いの好きなもの、好きでないものを推測しあう。 ・Make pairs: 食べ物の書かれたインタビューシートを児童に渡す。インタビューの要領で、児童はクラスを動く。ペアが見つかったら、I like ~ . とお互いに言う。好きなものが一緒だったら、その食べ物にOを付け、1点獲得する。次のペアを探す。同じ食べ物を選んではいけない。

Let's Listen 2 (p.13) ㊟

8分

教材:

デジタル教科書

・児童に教科書p.13を開くように指示する。
・ALTと表現の確認をする。
・児童の理解度に応じて、繰り返したり、ゆくり読んだり、単語を確認する。
先生の導入：
HRT: "Open your textbook to page 13. Let's Listen 2."
ALT: "First, let's review. How do you spell your name?"
HRT: "Now, let's try the word search. Can you find 5 names?"
アクティビティ例：・聞かせる前に、教科書の文字列の中から名前になりそうな並びをペアで相談させる。(文字を読む練習にもつながる)

Let's Try 3 (p.13) ㊟

7分

教材:

教科書

・児童に教科書p.13を開くように指示する。
・どのように活動するのか、例を実際に見せる。
・単語と表現の確認をする。
先生の導入：
ALT: "Let's Try 3. What color do you like? What food do you like?"
HRT: "Let's write!"
やり取り例：Guess what food/color ~ sensei likes (活動させる前に児童に、担任以外の先生の答えを予想させる)

Sounds and Letters: 大文字 H ~ N (pp.86-87)

5分

教材:

教科書

ふり返しシート

・学級担任またはALTが、H~Nの範囲でアルファベットを選び、発音する。
・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。
・児童にふり返しシートを記入させる。
先生の導入：
HRT: "Please open your textbook to pages 86 and 87. Let's check Sounds and Letters."
ALT: "What are today's letters? Upper-case H, I, J, K, L, M, N."
バリエーション：
・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例, "Hat" の絵を描き、その下にHを書く。(グループで集めて、辞書を作る活動にもできる)
・先生または、ALTがPDから絵の一つを選び、つづり字の一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。
・宿題でできる活動：児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分

教材:

なし

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

㊟評価 Let's Listen 2

思(L) 相手のことをよく知るために、名前について、短い話の概要を捉えている。

㊟評価 Let's Try 3

知(S) I'm ~. My name is ~. I like ~. What ~ do you like? の表現を理解している。

知(S) 名前や好きなもの・ことについて、I'm ~. I like ~. を用いて、お互いの考えを伝え合う
知能を身に付けている。

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、簡単な語句や I'm ~. I like ~. を用いて、
お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ：Hello, friends. (pp.14-15)

レッスン 目標：自分の名前と好きなものを・ことを書いた名刺を作り、伝え合おう。

言語材料：How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily. What do you like? I like ~. など

語彙：色 (PD p.6) スポーツ (PD p.7)

Greeting, Small Talk: What color do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, what color do you like?"

ALT: "Oh, my favorite color? I like black. How about you?"

HRT: "I like purple. It's our school color."

ALT: "How about you? What color do you like?" (児童に尋ねる)

トピック例：What anime/TV show/YouTube channel/book/weather/game do you like?

やり取り例：Who likes ~? Raise your hand! / Which do you like A or B? / What color is this? How many colors do you see?

Let's Sing: Nice to meet you. (p.11)

3分

- ・あいさつの種類について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

HRT: "What greetings did you hear?"

ALT: "Hi... Hello... Good morning/afternoon/evening... How are you? Nice to meet you!"

Let's Chant: ① How do you spell your name?, ② What sport do you like? (p.11)

2分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1: A, B, C, D, E, F, G. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily.

H, I, J, K, L, M, N. How do you spell your name? H-I-R-O-S-H-I, Hiroshi.

O, P, Q, R, S, T, U. How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura.

V, W, X, Y, Z, Z, Z. How do you spell your name? Y-U-J-I, Yuji!

HRT: "OK! Now, chant number two."

Chant 2: What sport do you like? I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

BOL Activity: キーワードゲーム (PD p.6)

10分

- ・学級担任は、児童にPDのColorのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's check colors again! Open your picture dictionary to page 6."

PDまたはFCs

ALT: "Now let's play the Keyword game!"

アクティビティアイデア：

- ・キーワードゲーム：ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語をALTが読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。

→できるようになってきたら、絵だけ児童に見せて、児童が単語を発音していく。

Step 1 (p.14) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、モデル映像を児童に視聴させる。・教科書巻末の名刺カードを児童に用意させる。・ペアを組んで、名前をつづりをお互いに言う。(この段階では、練習として、名前の部分のみ)
教材:	先生の導入: HRT: "Let's make your name card! First, write your name on your name card."
教科書巻末名刺カード	ALT: "Please watch us..." やり取り例: How do you spell your name?

Step 2 (p.14) ◎

9分	<ul style="list-style-type: none">・名刺カードに好きなものやことの絵を描く。・ペアを組んで、好きなものやことについて尋ね合わせる。(この段階では、練習として、ものやことの部分のみ練習する)
教材:	先生の導入: HRT: "Let's draw a picture. What do you like?" (準備ができたら)
教科書巻末名刺カード	HRT: "Next, let's check the phrases. Please watch us!" (やり取りを実演する) やり取り例: ・ What sport/color/food/subject など do you like? (児童に合わせて、質問を変える) ・ 児童から ALT へ What sport/color/food/subject など do you like? と尋ねさせる。

Sounds and Letters: 大文字 O ~ T (p.87)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、O~Tの範囲でアルファベットを選び、発音する。・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入: HRT: "Please open your textbook to page 87. Let's check Sounds and Letters."
教科書	ALT: "What are today's letters? Upper-case O, P, Q, R, S, T." バリエーション:
ふり返しシート	・ 児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例, "octopus" を描き、その絵の下に o を書く。(グループで集めて、辞書を作る活動にもできる) ・ 先生または、ALT が PD から絵を一つ選び、つづり字を一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。 ・ 宿題でできる活動: 児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1, Step 2

知(S) 自分の名前を伝えることができる。

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、自身の名前や好きなもの、ことを伝え合っている。

45 テーマ：Hello, friends. (pp.14-15)

レッスン 目標：名刺交換を通して、名前や好きなもの・ことなどを伝え合おう。

言語材料：Hello! Nice to meet you. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily. What ~ do you like? I like ~ . など

語彙：色 (PD p.6), スポーツ (PD p.7), 食べ物 (PD p.8)

Greeting, Small Talk: What vegetable do you like?

8分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "(ALT) sensei, what vegetable do you like?"

なし

ALT: "Oh, my favorite vegetable? I like potatoes! I like French fries. How about you? What vegetable do you like?"

HRT: "I like tomatoes. I'm from Kumamoto."

ALT: "How about you? What vegetable do you like?" (児童に尋ねる)

トピック例：What anime/TV show/YouTube channel/book/weather/game do you like?

やり取り例：Which do you like, meat or vegetables? Why? What school lunch do you like the best? What is your favorite school lunch?

Let's Sing: Nice to meet you. (p.11)

3分

- ・あいさつの種類について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

HRT: "What greetings did you hear?"

ALT: "Hi... Hello... Good morning/afternoon/evening... How are you? Nice to meet you!"

Let's Chant: ① How do you spell your name?, ② What sport do you like? (p.11)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1: A, B, C, D, E, F, G. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily.

H, I, J, K, L, M, N. How do you spell your name? H-I-R-O-S-H-I, Hiroshi.

O, P, Q, R, S, T, U. How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura.

V, W, X, Y, Z, Z, Z. How do you spell your name? Y-U-J-I, Yuji!

HRT: "OK! Now, chant number two."

Chant 2: What sport do you like? I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

BOL Activity: ジェスチャーゲーム (PD p.7)

10分

- ・学級担任は、児童にPDのFoodのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 7."

PD または FCs

ALT: "Let's play a gesture game."

アクティビティ例：

・ジェスチャーゲーム：先生は絵の一つを選んで、ジェスチャーをする。わかった児童は、単語を答える。正解したら、正解した児童が次にジェスチャーをする。

・メモリーゲーム：グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Step 3 (p.15) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・前時で使用した名刺カードに加え、新しい名刺カードを記入させる。・学級担任とALTで流れの確認をする。・使用したカードの一枚をp.34に貼り付けさせる。
教材:	先生の導入: Interview Game HRT: "Let's play an interview game! Please watch us." (デモンストレーションの後に、一つずつ、流れを確認)
教科書巻末名刺カード	ALT: "What's step 1? What's next...?" アクティビティ例: <ul style="list-style-type: none">・なりきりインタビュー: 自分の好きな人、キャラクターになりきって、インタビューをさせる。
(不足している場合は、コピーをする)	<ul style="list-style-type: none">・Who am I?: 児童は、誰かになりきって、カードを作成する。児童はそのカードを人に見せない。インタビューゲームを始め、最初に好きなものやことを尋ね合う。その答えから、誰なのかを推測する。推測が当たったら、1点。 流れ: A: Hello. B: Hello. A: What food do you like? B: I like peanuts. What food do you like? A: I like cheese. What color do you like? B: I like pink. What color do you like? A: I like red. A, B: Oh... you are Anya!/ Mickey mouse!

Sounds and Letters: 大文字 U ~ Z (p.87)

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、U~Zの範囲でアルファベットを選び、発音する。児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童に感想シートを記入させる。
教材:	先生の導入: HRT: "Please open your textbook to page 87. Let's check Sounds and Letters."
教科書	ALT: "What are today's letters? Upper-case U, V, W, X, Y, Z." バリエーション:
ふり返りシート	<ul style="list-style-type: none">・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例, "Umbrella" の絵を描いて、U を絵の下に書く。(グループで集めて、辞書を作る活動にもできる)・先生または、ALT が PD から絵の一つを選び、つづり字の一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。・宿題のできる活動: 児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなもの・ことについて、簡単な語句や My name is ~ . I like ~ . の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

主(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなもの・ことについて、簡単な語句や My name is ~ . I like ~ . の表現を用いて、お互いの考えを伝え合おうとしている。

45 テーマ : Hello, friends. (pp.16-17)

レッスン 目標 : 世界の名前について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : What ~ do you like? I like ~ . My family name is ~ . など

語彙 : 色 (PD p.6), スポーツ (PD p.7), 食べ物 (PD p.8), 学校 (PD p.24)

Greeting, Small Talk: What fruit do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "(ALT) sensei, what fruit do you like?"

なし

ALT: "I like watermelon! How about you? What fruit do you like?"

HRT: "I like strawberries."

ALT: "How about you? What fruit do you like?" (児童に尋ねる)

トピック例 : What anime/TV show/YouTube channel/book/weather/game do you like?

やり取り例 : (FruitのFCsを見せながら) What's this? Do you like ~ ?

Let's Sing: Nice to meet you. (p.11)

2分

- ・あいさつの種類について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

HRT: "What greetings did you hear?"

ALT: "Hi... Hello... Good morning/afternoon/evening... How are you? Nice to meet you!"

BOL Activity: ジジ抜き

7分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's play Old Maid!"

PD または FCs

アクティビティ例 :

・ジジ抜き : FCsのミニカードを2セットずつ用意する。グループに分け、ジジ抜きと同じゲームをする。ただし、ペアができたときに、そのカードを発音して、真ん中に出す。

BOL Activity: 伝言ゲーム

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 : "Good job everyone! Next, let's try."

HRT: "Let's look at the Picture Dictionary." ALT: "Let's play a whisper game!" (You can do any variation.)

PD または FCs

アクティビティ例 :

・Whisper Game (伝言ゲーム) : 児童をグループ分けし、一列に整列させる。先生またはALTが、FCsから数枚選ぶ。グループから代表者一人が、ALTに近寄る。ALTは選んだカードを順番に児童に伝える。児童は、覚えた順番に次の順番の人に伝える。最後の人は、ALTに覚えた単語を伝える。

・アンラッキーカード : FCsを黒板に貼り付けておく。児童は目をつぶり、先生または、ALTがFCsの裏に印をつける(ふせん等)。児童は目を開け、FCsから好きな単語を言いき、先生は、単語を剥がしていく。アンラッキーカードが出たら、最初から、発音させる。出ずにすべて発音できたらゲームが終了する。

Do you know? (pp.16-17)

8分

教材:

教科書

- ・日本と海外の名前の違いについて、児童に投げかける。
 - ・名前を書く時のポイントについて確認する。
 - ・それぞれの国の名前の特徴と日本の名前の特徴を比べ、発表させる。
- 先生の導入:
HRT: "Please open your textbook to pages 16 and 17."
ALT: "What does your name mean? What is your family name? What is your first name?"
やり取り例: What is the meaning of this name?
・アニメ / 漫画のキャラクターが海外で何と呼ばれているかクイズ(ポケモン、ドラえもん、ジブリ映画の海外名など)

Challenge (p.17) ◎

10分

教材:

巻末名刺カード

- ・児童になりきりインタビュー用のカードを書かせる。
 - ・学級担任とALTでインタビューのデモンストレーションを見せる。
- 先生の導入:
HRT: "Interview time! First, watch us."
HRT: "To ALT, "(ALT) sensei, hello! I'm Doraemon."
HRT/ALT demonstrate the interview.
ALT: "Now let's make a card. 'Who' are you? Please write 'your' name."
HRT: "Now, let's interview our classmates!"
アクティビティ例:
・なりきり自己紹介:P.14で使用した名刺と同様のカードを用意する。好きなキャラクターになって、名刺を作成する。作成後、インタビュー活動をする。
・他己紹介:自分ではなく、相手の紹介をし、名前と苗字を伝え合う。

Sounds and Letters: 大文字 BINGO (p.92)

5分

教材:

教科書

ふり返りシート

- ・学級担任またはALTが大文字を確認する。
 - ・BINGOのマスに好きなアルファベットを大文字で書き込ませる。
 - ・学級担任または、ALTがランダムにアルファベットを一つずつ言っていく。
- 先生の導入:
HRT: "Please open your textbook to page 92. Let's check Sounds and Letters."
バリエーション:
・ALTが単語を言い、つづりの頭文字のアルファベットを答えにする。(児童が単語を復習でき、文字と音の一致につながる。)
・学級担任、またはALTが絵を描き、その絵の単語の頭文字のアルファベットを答えにする。

Goodbye

1分

教材:

なし

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
- ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

◎評価 Challenge

主(S) 自分の姓と名を伝え合おうとしている。

45 テーマ：Hello, friends. (pp.16-17)

レッスン 目標：英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：My name is ~ . I'm ~ . I'm from ~ . I live in ~ . I like ~ . など

語彙：色 (PD p.6), スポーツ (PD p.7), 食べ物 (PD p.8), 学校 (PD p.24)

Greeting, Small Talk: What TV show do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし ALT: "I like Dragon Ball Z! How about you? What TV show do you like?"

HRT: "I like Mezamashi TV."

ALT: "How about you? What TV show do you like?" (児童に尋ねる)

トピック例：What anime/TV show/YouTube channel/book/weather/game do you like?

やり取り例：Oh, you like (TV show). Do you like ~? How about ~?

Let's Chant: ① How do you spell your name?, ② What sport do you like? (p.11)

2分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書ができれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1: A, B, C, D, E, F, G. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily.

H, I, J, K, L, M, N. How do you spell your name? H-I-R-O-S-H-I, Hiroshi.

O, P, Q, R, S, T, U. How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura.

V, W, X, Y, Z, Z. How do you spell your name? Y-U-J-I, Yujii!

HRT: "OK! Now, chant number two."

Chant 2: What sport do you like? I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (好きなスポーツ).

BOL Activity: 棒取りゲーム

7分

- ・学級担任とALTでUnit1で学んだ単語を確認する。
- ・児童をグループに分け、活動の説明をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's play Pick-up Sticks! First, make groups."

PDまたはFCs

アクティビティ例：

・棒取りゲーム：グループを複数作らせる。先生、またはALTが平たい棒(アイスの棒のようなもの)に、絵、または、単語を書いて(描いて)おく。コップに入れて置き、グループごとに渡す。児童は、一斉に棒を取り始め、棒に書かれた単語を言えたら、1点。できるだけたくさん棒を取れるようにする。

・ピクショナリー：グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、解答者は、その絵を推測する。間違えたら、解答者は列の後ろに並び、次の児童に交代する。

ことば探検 (p.16)

10分

- ・学級担任または、ALTは児童が教科書を開く前に、日本語では、自分のことを何と言うか考えさせる。
- ・英語では、何と言うか考えさせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's think about Japanese! How do you say "I" in Japanese? I? Think about it!" やり取り例：・なぜミドルネームをつけるんだろう。

デジタル教科書

・姓名を逆にするのはなぜ? / 日本以外に姓名の順番で名前を言う国はあるかな?

教科書に出てくるキャラクターの出身国で人気の名前を調べてみよう。

例：(Emily = Singapore, Deepa = India, Sakura & Hiroshi = Japan, Martin = Sweden, Lucas = Brazil)

参考：グーグル検索：「海外の名前」

日本のすてき (p.17) ©

10分	<ul style="list-style-type: none">・日本のすてきを使って、リスニングをさせる。・個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。・全体で内容の確認をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to 日本のすてき." ALT: "Listen carefully!" アクティビティ例:
BOL ワークシート	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート: 動画に出てくる単語、出てこない単語をなぞれる状態にして、ワークシートに載せる。児童は、聞き取った単語のみ単語をなぞる。・ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。

BOL Activity: ALT コーナー

5分	<ul style="list-style-type: none">・ALTの説明や発言について、補助をする。・ALTは、自身の国のことについて話をしていく。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her country." アクティビティ例: <ul style="list-style-type: none">・ALT の国の言葉を教えてもらおう。・ALT の国の遊びをしよう。

Sounds and Letters: 大文字 BINGO (p.92)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが大文字を確認する。・BINGOのマスに好きなアルファベットを大文字で書き込ませる。・学級担任または、ALTがランダムにアルファベットを一つずつ言っていく。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 92. Let's check Sounds and Letters." バリエーション:
ふり返りシート	<ul style="list-style-type: none">・児童から、ALT に英語でアルファベットを尋ねさせてから、アルファベットを言っていく。・* What letter do you have? Spell your word.・単語を言って、つづりの頭文字のアルファベットを答えにする。(児童が単語を復習でき、文字と音の一致につなげる。)・先生、またはALT が絵を描き、その絵の単語の頭文字のアルファベットを答えにする。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：When is your birthday? (pp.18-19)

レッスン 目標：誕生日やほしいものについてのやり取りを理解しよう。

言語材料：When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want to ~ ? I want ~ .
など

語彙：月 (PD pp.14-15)

Greeting, Small Talk: What day is it today?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "What day is it today?" ALT: "It's (Monday)." HRT: "What do you do on (Monday)?" ALT: "I play tennis." トピック例：What's the date today? What month is it? What do you do on Monday/Tuesday/Wednesday...? やり取り例：It's ~ . What do you do on 曜日? What day do you like best? Why?

Let's Sing: Happy Birthday! (p.19)

4分	<ul style="list-style-type: none"> ・歌の紹介をする。
教材：	先生の導入：HRT: "Let's sing a song. First, please listen." ALT: "Yes, let's listen to 'Happy Birthday!'"
デジタル教科書	やり取り例：What did you hear? One or first? When is your birthday?

Word Link: 月 (PD pp.14-15)

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのMonthsのページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。
教材：	学級担任の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary, pages 14 and 15. Let's check and practice!"
PD または FCs	やり取り例： <ul style="list-style-type: none"> ・カードを一瞬だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。 ・児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。

Let's Try 1 (p.19)

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	学級担任の導入： HRT: "Good job everyone! Next, look at the Picture Dictionary, pages 14 and 15."
デジタル教科書	ALT: "Let's play a grouping game!" (詳細は以下の例を参照してください) アクティビティ例： <ul style="list-style-type: none"> ・グルーピングゲーム：児童は、お互いにWhat month do you like? と尋ねあう。同じ月が好きだったら、グループを作る。その後、グループで他のグループに同じ質問をし、グループを大きくしていく。(When is your birthday? という質問でも同じ活動ができる) オプション：先生が月のどれかを言う。その月と同じ数字の人数でグループを作る。 ・クイズタイム：ALTが自国、または外国の行事を紹介する。児童はその行事が何月のものか推測し、当てる。

Let's Chant: ① When is your birthday? (p.19)

6分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's chant. ! First, please listen." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear? What month did you hear? When is your birthday?"
デジタル教科書	Chant I : Happy, Happy Birthday! When is your birthday? My birthday is May 5th. My birthday is April 1st. My birthday is July 19th. My birthday is July 23rd. When is your birthday? When is your birthday? My birthday is (自分の誕生日を入れる). やり取り例: What did you hear? / What month did you hear? When is your birthday? / Which did you hear "one" or "first"?

Starting Out (pp.18-19) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童にNo. 1-5の音声を聞かせ、聞こえた順に番号を記入させる。
教材:	学級担任の導入: HRT: "Let's listen to today's story. Please look at pages 18 and 19. Starting Out."
デジタル教科書	ALT: "How many pictures? Yes, there are 5 pictures." やりとり例: What did you hear? What's No. 1? Where is he/she now? Let's listen again and check the answers. * 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

Sounds and Letters: 小文字を読もう a ~ z (pp.88-89)

5分	<ul style="list-style-type: none">・小文字のアルファベットを練習する。・児童に感想シートを記入させる。
教材:	学級担任の導入: 活動例 (P.88 のアルファベット a-z を見ながら)
教科書	HRT: "Please look at pages 88 and 89. Let's do the Alphabet Exercise! What colors do you see? Green, blue and yellow!" ALT: "When you see green, stand up! Everyone, stand up please!" HRT: "When you see yellow, please crouch down. When you see blue, raise your hands!"
ふり返りシート	アクティビティ例: ・アルファベットエクササイズ: アルファベットの4線を使って、体を動かす。aのように真ん中の2線に入っている文字のときは、立ち、真ん中の線を越えて、一番上の線に触っている文字のときは、手を挙げる。真ん中の線を越えて、一番下の線に触っているときは、しゃがむ。 *j は下の線に触れているので、かがみ、t の場合は一番上の線には触れていないので、立つだけ。 ・ジェスチャーゲーム: 先生が、文字の形を体で表現し、それを児童が当てる。(文字の形をよく見て、考える練習)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Starting Out

主(L) 誕生日やほしいものについて、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : When is your birthday? (pp.18-19)

レッスン 目標 : 誕生日やほしいものについてのやり取りを理解しよう。

言語材料 : When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want for ~ ? I want ~ . など

語彙 : 日付 (PD pp.14-15)

Greeting, Small Talk: When is Sports Day?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "I'm so excited! I can't wait!"

なし

ALT: "What for? Why can't you wait?"

HRT: "(Sports Day)! I love it!"

ALT: "Nice! When is (Sports Day) this year?"

トピック例 : What do you do on Monday/Tuesday/Wednesday...? When is ~ ? (行事や学校のイベント)

Let's Sing: Happy Birthday! (p.19)

4分

- ・学級担任とALTで歌の確認をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's sing 'Happy Birthday!'"

アクティビティ例 :

- ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。
- ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 日付 (PD pp.14-15)

6分

- ・学級担任は、児童にPDのDatesのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Look at the Picture Dictionary, pages 14 and 15. Let's check and practice new words!"

PD または FCs

ALT: "What's the difference between 'one' and 'first'? When you count apples? One, two, three..."

HRT: "When you win a race? First! Second! Third!" (one を使う時と、first を使う時の例をそれぞれ挙げたり、この時はどっちを使うかクイズ形式で示したりすることで、感覚的に違いを示す)

やりとり例 :

- ・カードの一部をだんだんと見せていき、児童はカードが何かを当てる。
- ・カードを一枚ずつ、見せていき、児童は、カードの順番を覚えて、一つずつ発音していく。

Let's Try 1 (p.19)

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job everyone! Next, look at the Picture Dictionary, pages 14 and 15."

デジタル教科書

ALT: "Let's play Lucky Numbers!"

アクティビティ例 :

- ・ラッキーナンバーズ : 31までで数字(1st, 2nd... の形)を数個選ぶ。児童も数字を同じ数だけ書く。(カレンダーに○を付けてもよい)先生は1から児童と一緒に数えていき、Lucky Numbersの時だけ、手を挙げるなどして、ラッキーナンバーズを確認していく。
- ・バズゲーム : 立ち合がり、数を1から全員で数える。ただし、特定の数字を含んだ数の時だけ「バズ」と言い換える。言い間違いをした場合は、1から数え直す。(例 : 3, 5, 7 をバズナンバーとする。1, 2, バズ, 4, バズ, 6, バズ, 8, 9, 10, 11, 12, バズ...) 慣れてきたら、ペアやグループでもできる。

Let's Chant: ② What do you want? (p.19)

7分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材:

先生の導入:

HRT: "Let's chant! First, please listen." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear? A book? What book? What do you want for your birthday?"

デジタル教科書

Chant2:

What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap?

I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap?

I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

Let's Watch and Think (p.19) ㊟

10分

- ・児童に音声や映像を視聴させる。

教材:

先生の導入:

HRT: "Let's watch and think about the video."

デジタル教科書

ALT: "What did you hear?"

活動例: * Listening を児童にさせる前に、絵について気づくことはないか確認させる。(何かおかしいところはないか、どの国の行事だと思うか、何が写真に見えているかなど)

* 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

やりとり例:

・ What can you see in the pictures? What is Santa doing? Is this summer, August?

Sounds and Letters: 小文字を読もう a ~ z (pp.88-89)

5分

- ・小文字のアルファベットを練習する。
- ・児童に感想シートを記入させる。

教材:

学級担任の導入: 活動例 (P.88 のアルファベット a-z を見ながら)

HRT: "Please look at pages 88 and 89. Let's do the Alphabet Exercise! What colors do you see? Green, blue and yellow!"

教科書

ALT: "When you see green, stand up! Everyone, stand up please!"

HRT: "When you see yellow, please crouch down. When you see blue, raise your hands!"

ふり返りシート

アクティビティ例: ・アルファベットエクササイズ: アルファベットの4線を使って、体を動かす。aのように真ん中の2線に入っている文字のときは、立ち、真ん中の線を越えて、一番上の線に触っている文字のときは、手を挙げる。真ん中の線を越えて、一番下の線に触っているときは、しゃがむ。 * j は下の線に触れているので、かがみ、t の場合は一番上の線には触れていないので、立つだけ。

・ジェスチャーゲーム: 先生が、文字の形を体で表現し、それを児童が当てる。(文字の形をよく見て、考える練習)

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材:

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 国の行事についての話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：When is your birthday? (pp.20-21)

レッスン 目標：誕生日について友達と尋ねあおう。

言語材料：When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want for ~ ? I want ~ . など

語彙：衣類 (PD p.21)

Greeting, Small Talk: When is New Year's Day?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "When is (New Year's Day)?" ALT: "It's (January 1st), of course!" HRT: "What do you do on (New Year's Day)?" ALT: "I go to a restaurant with my friends. How about you? What do you do on (New Year's Day)?" トピック例：When is 行事? (日本のもので始め、海外のものも取り上げる) やりとり例：What do you eat on Christmas Day? / Do you like ~ ? / Do you want お年玉 on New Year's Day?

BOL Activity: 伝言ゲーム

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、語彙を復習しながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's play the whisper game!"
PD または FCs	ALT: "I'll tell you some months. Please remember them!" アクティビティ例：・Whisper Game (伝言ゲーム)：児童をグループ分けし、一列に整列させる。先生またはALTが、FCsから数枚選ぶ。グループから代表者一人が、ALTに近寄る。ALTは選んだカードを順番に児童に伝える。児童は、覚えた順番に次の順番の人に伝える。最後の人は、ALTに覚えた単語を伝える。 ・ババ抜き (Old maid)：Months FCsを2セットずつ用意し、ババ抜きと同様の形式で、活動を行う。ペアがそろったら、その単語を発音し、真ん中に出す。

Word Link: 衣類 (PD p.21)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのClothesのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 21. Let's check and practice!"
PD または FCs	ALT: "Wow, we have a lot of clothes here! What's this?" (児童や先生の服を指しながら) やり取り例： ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。 ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

BOL Activity: ステッピングストーン

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Good job everyone! Next, let's look at the flashcards."
PD または FCs	ALT: "Let's play Stepping Stones! アクティビティ例： ・ステッピングストーン：児童を二つのグループに分ける。黒板にFCsを並べる。黒板の両端にグループごとに集まり、列を作る。ゲームをスタートしたら、各グループから1名が、FCsを読みながら、前に進む。2人が同じカードまで来たら、じゃんけんをし、勝者は前に進み、敗者はグループの一番後ろに回り、次の児童が前に進む。どちらかのグループの児童が相手チームまでたどりつくまで活動を続ける。

Let's Listen 1 (p.20) ◎

6分	・デジタル教科書の音声を流す。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Please open your textbook to page 20, Let's Listen 1." ALT: "Draw a line to connect the answers. Do you have a pencil?" ALT: "What did you hear?" やり取り例：What are they talking about? When is her/his birthday? What does she/he want for her/his birthday?

Let's Try 2 (p.20) ◎

10分	・学級担任とALTで、モデル文 (When is your birthday? / My birthday is ...) の確認をする。 ・学級担任とALTで、デモンストレーションを行う。 ・学級担任とALTで、インタビュー中に苦手な子や、活動ができていない児童の支援をする。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "When is your birthday? Let's practice!" (Months や Dates の復習をする) ALT: "Now let's make a 'Birthday Chain'! We'll show you a demonstration." アクティビティ例： ・バースデイチェーン：それぞれの児童が自分の誕生日の言い方を確認する。グループを作って、モデル文と同じやり取りを行う。誕生日をお互い聞きあい、誕生日の順番に並ぶ。 *競争させたり、クラス単位やグループの大きさを変えたりすることで、難易度や時間を調整する。

Sounds and Letters: 小文字 a ~ g (p.88)

5分	・学級担任またはALTが、a~g(小文字)の範囲でアルファベットを選び、発音する。 ・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。 ・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 88. Let's check Sounds and Letters." ALT: "What are today's letters? Lower-case a, b, c, d, e, f, g." バリエーション：
ふり返しシート	・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例, "Apple" の絵を描き、a をその下に書く。 ・先生または、ALT が PD から絵を一つ選び、つづり字を一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。 ・宿題でできる活動：児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Listen 1

思(L) 誕生日やほしいものについて、会話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try 2

知(S) When is ~? My birthday is ~. の表現について、理解している。

思(S) 自分のことを伝え、相手のことを知るために、When is ~? My birthday is ~. の表現を使い、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ：When is your birthday? (pp.20-21)

レッスン 目標：誕生日について友達と尋ねあおう。

言語材料：What do you want for ~? I want ~. など

語彙：状態 (PD p.29)

Greeting, Small Talk: What event do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, what event do you like?"

ALT: "I like (Thanksgiving)!"

HRT: "Oh, what's (Thanksgiving)?"

ALT: "It's a day when families give thanks and eat a big dinner together."

HRT: "Sounds nice! When is (Thanksgiving)?"

トピック例：When is 行事? (日本のもので始め、海外のものも取り上げる)

やりとり例：What is your favorite event? When is the event?

BOL Activity: ラッキーナンバーズ

5分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, look at the Picture Dictionary, pages 14 and 15."

PD または FCs

ALT: "Let's play Lucky Numbers!"

アクティビティ例：

- ・ラッキーナンバーズ：31までで数字(1st, 2nd...の形)を数個選ぶ。児童も数字を同じ数だけ書く。(カレンダーに○を付けてもよい)先生は1から児童と一緒に数えていき、Lucky Numbersの時だけ、手を挙げるなどして、ラッキーナンバーズを確認していく。

- ・バズゲーム：立ち合がり、数を1から全員で数える。ただし、特定の数字を含んだ数の時だけ「バズ」と言い換える。言い間違いをした場合は、1から数え直す。(例：3, 5, 7をバズナンバーとする。1, 2, バズ, 4, バズ, 6, バズ, 8, 9, 10, 11, 12, バズ...) 慣れてきたら、ペアやグループでもできる。

Word Link: 状態 (PD p.29)

7分

- ・学級担任は、児童にPDの状態のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：

HRT: "Look at your Picture Dictionary, page 29. Let's check new words."

PD または FCs

ALT: "Is this (it) big or small? Is this (it) long or short?" (ものを指しながら)

やりとり例：

- ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。

- ・ラッキーカード：FCsを黒板に貼り付け、児童に、目をつむらせる。その間に、学級担任またはALTが、磁石(キャラクター等でも可能)をFCsの裏に隠し、ラッキーカードを設定する。児童は、目を開き、好きな単語を一つ発音する。発音したら、FCsをはがし、ラッキーカードだったかを確認する。

BOL Activity: ファインディングゲーム

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：先生の導入：HRT: "Let's play a 'finding' game!"

ALT: "Please watch us." (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

PD または FCs

アクティビティ例：

- ・ファインディングゲーム：学級担任または、ALTが、「big」と言ったら、児童は、身の回りでbigなものを探し、bigと言いながら、手を挙げる。何を見つけたか、確認をする。これを色々な「状態」の単語で、繰り返す。場合によって、見つけたものを英語で発音だけする。(リピートの必要はない)

- ・Guess what: 秘密の物を数点用意しておく。児童は、big, smallなど状態を表す単語を使ってIs it 状態?とALTに質問し、そのものが何かを予想する。

Let's Try 3 (p.21)

5分	<ul style="list-style-type: none">・ALTと表現の確認をする。・児童同士でインタビューをして、答えを教科書の表にメモする。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Open your textbook to page 21, Let's Try 3! Let's interview our classmates!" ALT: "Watch us! (HRT) sensei, what do you want for your birthday?" アクティビティ例： ・ What do you want now? (for your birthday ではなく、今欲しいもの) ・ 状況を設定して、What do you want? (例：無人島に行くのに欲しいものは？ / 宝くじに当たって100万円あったらなど)

Let's Listen 2, Let's Try 4 (p.21) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童にPD(p.28)を確認させる。・Let's Listen 2を聞かせながら、教科書(P.21) Let's Try 4の表に記入させる。・Let's Try 4に取り組みさせる。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "First, Let's Listen 2! Write the date, please." ALT: "What event did you hear? When is Christmas? December 25th. That's right!" (児童は、教科書の表を埋める。) ALT: "Now let's interview a classmate! Please watch us. (HRT) sensei, what do you want for Christmas?" HRT: "I want a (new watch). How about you? What do you want for Christmas?" ALT: "I want a (new phone) for Christmas." (児童はインタビューをクラスメートにして、表に回答を記入する。)

Sounds and Letters: 小文字 h ~ n (pp.88-89)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、h~n(小文字)の範囲でアルファベットを選び、発音する。・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Please open your textbook to pages 88 and 89. Let's check Sounds and Letters." ALT: "What are today's letters? Lower-case h, i, j, k, l, m, n." バリエーション：
ふり返しシート	<ul style="list-style-type: none">・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例,"hat"の絵を描き、hをその下を書く。・先生または、ALTがPDから絵の一つを選び、つづり字の一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。・宿題のできる活動：児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Try 4

知(S) What do you want for ~? I want ~. の表現について、理解している。
知 ほしいものについて、What do you want for ~? I want ~. の表現について、理解している。
思(S) 自分のことを伝え、相手のことを知るために、What do you want for ~? I want ~. の表現や、お互いの考えや簡単な語句を用いて考えを伝え合っている。

45 テーマ : When is your birthday? (pp.22-23)

レッスン 目標 : 自分の誕生日と欲しいものからバースデーカードを作ろう。

言語材料 : When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want for your birthday? など

語彙 : 月 (PD pp.14-15), 日付 (PD pp.14-15), 衣類 (PD p.21), 状態 (PD p.29)

Greeting, Small Talk: What do you want for Christmas?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材 :	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "(ALT) sensei, nice watch!" ALT: "Thank you! It was my grandfather's watch." HRT: "I want a new watch but I can't buy one now. I'll wait for Christmas. What do you want for Christmas?" ALT: "I want a new phone for Christmas." トピック例 : What do you want for ~ (行事) ? Why? やりとり例 : Why do you want ~ ? What ~ (game など) do you want? Do you like ~ ?

Let's Sing: Happy Birthday! (p.19)

3分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで歌の確認をする。
教材 :	先生の導入 : HRT: "Let's sing a song."
デジタル教科書	ALT: "Yes, let's sing 'Happy Birthday!'" アクティビティ例 : ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。 ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Let's Chant: ① When is your birthday? ② What do you want? (p.19)

2分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。 ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。 ・全員で、リズムに合わせて練習をする。
教材 :	先生の導入 : HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)
デジタル教科書	Chant 1: Happy, Happy Birthday! When is your birthday? My birthday is May 5th. / My birthday is April 1st. / My birthday is July 19th. / My birthday is July 23rd. When is your birthday? When is your birthday? / My birthday is (自分の誕生日を入れる). ALT: "Good job! Now chant number two..." What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap? / I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt. What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap? / I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

BOL Activity: 違いを探そう

9分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのClothesのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材 :	先生の導入 : HRT: "Let's review clothes." ALT: "Let's play 'Spot the Difference!'"
PD または FCs	アクティビティアイデア : ・違いを探そう (Spot the difference): Clothes を並べたカードを2種類作る。児童はペアになり、どちらかのカードを受け取る。その際、お互いカードは見せない。並んだ服の順番が異なる部分を口頭で探していく。 ・キーワードゲーム : ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語を ALT が読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。 →できるようになってきたら、絵だけ児童に見せて、児童が単語を発音していく。

Step 1 (p.22) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・最終的な活動を共有する。教科書巻末のバースデーカードを使い、児童に自身の誕生日を自身の欲しいものを書かせる。・児童は誕生日についてクラスメートに尋ねる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Let's practice for the final activity. Please watch us!" ALT: "Now let's make a birthday card!"
教科書巻末バースデーカード	やり取り例：When is your birthday? / My birthday is...? / アクティビティ例： クラスメート用にバースデーカードを用意する。児童は、From に自分の名前を、To に相手の名前を記入する。 児童は、クラスメートに、When is your birthday? と尋ね、月、日付をカードに記入する。

Step 2 (p.22) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童は、誕生日に欲しいものをお互いに尋ねあう練習をする。・児童は、パートナーになる人に向けて、絵とメッセージを書く。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Let's practice for the next activity. Please watch us!" ALT: "Now let's draw a picture and write a message on your partner's birthday card!"
教科書巻末バースデーカード	やり取り例：What do you want for your birthday? / I want ~ . 活動例：クラスメートにバースデーカードを作る。児童は、バースデーカードにパートナーになる人に向けて、絵とメッセージを書く。その後、ペアの人に、"What do you want for your birthday?" と尋ねる。

Sounds and Letters: 小文字 o ~ t (p.89)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、o~t(小文字)の範囲でアルファベットを選び、発音する。・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 89. Let's check Sounds and Letters." ALT: "What are today's letters? Lower-case o, p, q, r, s, t." バリエーション：
ふり返しシート	・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例,"hat"の絵を描き、hをその下を書く。 ・先生または、ALT がPD から絵を一つ選び、つづり字を一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。 ・宿題でできる活動：児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1, Step 2

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日について、簡単な語句や When is your birthday? My birthday is ~ . の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日にほしいものについて、簡単な語句や What do you want for your birthday? I want ~ . の表現を用いて、互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ : When is your birthday? (pp.22-23)

レッスン 目標 : バースデーカードの交換を通じて、誕生日とほしいものについて尋ねあおう。

言語材料 : When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want for your birthday? Happy Birthday! This is for you. Here you are. など

語彙 : 月 (PD pp.14-15), 日付 (PD pp.14-15), 衣類 (PD p.21), 状態 (PD p.29)

Greeting, Small Talk: If you had 10,000 yen, what would you buy?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "(HRT) sensei, if you had 10,000 yen what would you buy?"

なし

HRT: "10,000 yen? I would buy a new golf cap and new golf gloves. How about you?"

ALT: "I would buy a 1-day passport to Tokyo Disney Sea!"

トピック例 : What do you want for ~ (行事) ? Why?

やりとり例 : Why do you want ~ ? What ~ (game など) do you want? Do you like ~ ?

Let's Sing: Happy Birthday! (p.19)

5分

- ・あいさつの種類について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's sing 'Happy Birthday!'"

やりとり例 :

・歌う前に質問をして、やり取りをする。When is New Year's Day/Halloween/Christmas/your birthday? Who has a birthday this month? Raise your hand!

・質問を歌う人、答えを歌う人など分けてもよい。

BOL Activity: 伝言ゲーム

10分

- ・学級担任は、児童にPDの状態のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's check condition words again."

PD または FCs

ALT: "Let's play the whisper game!"

アクティビティアイデア :

・ウィスパーゲーム(伝言ゲーム) : クラスを列ごとのグループに分ける。ALT が単語を1番最初の児童に伝え、その児童は、次の児童に順番に単語を伝えていく。最後の児童は、伝わってきた単語を黒板に書く。

*後ろに伝えるときには、ジェスチャーにしたり、伝える個数を増やすことで難易度を調整する。"

Let's Chant: ① When is your birthday? ② What do you want? (p.19)

7分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Happy, Happy Birthday! When is your birthday?

My birthday is May 5th. / My birthday is April 1st. / My birthday is July 19th. / My birthday is July 23rd.

When is your birthday? When is your birthday? / My birthday is (自分の誕生日を入れる).

ALT: "Good job! Now chant number two..."

What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap? / I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap? / I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

Step 3 (p.23) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任または、ALTが、前時で作成した、バースデーカードを児童へランダムに渡す。・1回目:誕生日を尋ねて持ち主を探す。2回目:欲しがっているものから、持ち主を探す。
教材:	先生の導入:
教科書	ALT: "You made great cards! Thank you but we forgot to find the owner." HRT: "Let's find the owner. How can we find the owner?" ALT: "Please watch us!"
教科書巻末 バースデー カード	アクティビティ例: 教科書のバースデーカードを準備する。ただし、自身の誕生日とプレゼントのみ記入する。フレーズの練習後、Find the owner(持ち主を探そう) gameを行う。(例: card をすべて回収した後、再度バラバラに配布する。When is your birthday? と聞き、カードの持ち主を探していく。

Sounds and Letters: 小文字 u ~ z (p.89)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、u~z(小文字)の範囲でアルファベットを選び、発音する。・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 89. Let's check Sounds and Letters." ALT: "What are today's letters? Lower-case u, v, w, x, y, z."
ふり返りシート	バリエーション: バリエーション: <ul style="list-style-type: none">・児童が絵とアルファベットを一つずつ書く。例,"umbrella"の絵を描き、uをその下に書く。・先生または、ALTがPDから絵の一つを選び、つづり字の一つ抜いて、スペルを書く。児童はそのアルファベットが何かを推測し、書く。・宿題のできる活動: 児童は、学んだ文字を含んだものを見つけて、写真に撮ってくる。教室で、単語の読み方をクラスで考える。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日やほしいものについて、簡単な語句や When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want for your birthday? I want ~ . の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

主(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日やほしいものについて、簡単な語句や When is your birthday? My birthday is ~ . What do you want for your birthday? I want ~ . の表現を用いて、伝え合おうとしている。

45 テーマ：When is your birthday? (pp.24-25)

レッスン 目標：世界の行事や祝日について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：My birthday is ~. ~ is in ... など

語彙：月 (PD pp.14-15), 日付 (PD pp.14-15), 衣類 (PD p.21), 状態 (PD p.29)

Greeting, Small Talk: What's the date today?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "(HRT) sensei, what's the date today?"

なし

HRT: "You don't know?! It's (May 2nd)."

ALT: "Thank you."

HRT: "...Oh! It's my daughter's birthday!"

ALT: "Happy birthday to her! What birthday present did you buy for her?"

トピック例：What's the date of school festival this year?

Let's Sing: Happy Birthday! (p.19)

3分

- ・あいさつの種類について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's sing 'Happy Birthday!'"

やりとり例：

・歌う前に質問をして、やり取りをする。When is New Year's Day/Halloween/Christmas/your birthday? Who has a birthday this month? Raise your hand!

・質問を歌う人、答えを歌う人など分けてもよい。

Let's Chant: ① When is your birthday? ② What do you want? (p.19)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Happy, Happy Birthday! When is your birthday?

My birthday is May 5th. / My birthday is April 1st. / My birthday is July 19th. / My birthday is July 23rd.

When is your birthday? When is your birthday? / My birthday is (自分の誕生日を入れる).

ALT: "Good job! Now chant number two..."

What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap? / I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap? / I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.

Do you know? (pp.24-25)

12分

- ・児童に、日本にはどんな行事や祝日があるか尋ねる。
- ・ALTが自国の珍しい行事や祝日を紹介する。

教科書を開き、内容を確認する。

教材：先生の導入：

ALT: "What events does Japan have?" (子供に投げかける)

教科書

HRT: "Children's Day! Dolls' Festival! Star Festival! Nice." ALT: "How about in other countries? There are many interesting events around the world!"

HRT: "Open your textbook to page 24. Do you know?"

ALT: "What country is this? What kind of event do they have?" やりとり例：

・Guess what! What are they doing? (お祭りなどの行事をALTが見せながら、児童へ質問をしていく)

Challenge (p.25) ◎

14分	・児童に自分の誕生月にあるいろいろな国の行事について調べさせる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Let's find interesting events and countries!" ALT: "There are many interesting events around the world! First, I will show you my country events!" アクティビティ例： ・自分の誕生月にある他国の行事について調べ、クイズを作成し、クラス全体で発表する。 参考：Google 検索：「世界の行事」「キッズ外務省」など

Sounds and Letters: 小文字 BINGO (p.92)

7分	・学級担任またはALTが小文字を確認する。 ・BINGOのマスに好きなアルファベットを小文字で書き込ませる。 ・学級担任または、ALTがランダムにアルファベットを一つずつ言っていく。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 92. Let's check Sounds and Letters." ALT: "Let's play Bingo!" バリエーション：
ふり返りシート	・ALT が単語を言い、その単語の頭文字が、答えになる。 ・学級担任または、ALT が絵を描き、児童は単語の頭文字を推測する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Challenge

主(S) 誕生月にある他国の行事について調べ、お互いの考えを伝え合おうとしている。

45 テーマ：When is your birthday? (pp.24-25)

レッスン 目標：英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：My name is ～ . I'm from ～ . I live in ～ . I want to be ～ . など

語彙：月 (PD pp.14-15), 日付 (PD pp.14-15), 衣類 (PD p.21), 状態 (PD p.29)

Greeting, Small Talk: What is your favorite yearly event?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Japan has many events! (ALT) sensei, what is your favorite yearly event?"

ALT: "I like Golden Week!"

HRT: "Golden Week is nice, but I like Obon."

ALT: "Obon is good, too!"

やりとり例：

What events does your country have?/ When is (行事)?/... など

Let's Sing: Happy Birthday! (p.19)

3分

- ・あいさつの種類について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's sing 'Happy Birthday!'"

やりとり例：

・歌う前に質問をして、やり取りをする。When is New Year's Day/Halloween/Christmas/your birthday? Who has a birthday this month? Raise your hand!

・質問を歌う人、答えを歌う人など分けてもよい。

BOL Activity: ピクショナリー

5分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材：先生の導入：

HRT: "What did you learn in this unit?" ALT: "Let's play pictictionary to review!"

PD または FCs

アクティビティ例：

・ピクショナリー：グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。間違えたら、列の後ろに行き、次の児童が回答する。

ことば探検 (p.24)

6分

- ・学級担任は教科書を開く前に、ローマ字と英語のつづりに関する違いを児童に尋ねる。
- ・ALTはいくつか単語を示す。児童は、そこから同様に法則を見つける。

教材：先生の導入：

ALT: "Katakana, romaji, English..."

教科書

HRT: "Can you write these words? Look at page 85 if you need help."

ALT: "What do you see? Romaji versus English."

辞書など

HRT: "What's different?"

やり取り例：・母音と子音の組み合わせ(ローマ字：子音+母音、英語：子音+子音+母音など)

・音節の数：プレゼント(5音節)、present(2音節) 参考：Google 検索「英語のリズム(音節)」

日本のすてき (p.25) ©

10分	<ul style="list-style-type: none">日本のすてきを使って、リスニングをさせる。個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。全体で内容の確認をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to 日本のすてき". ALT: "Listen carefully!" アクティビティ例:
BOL ワークシート	<ul style="list-style-type: none">ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。

BOL Activity: ALT コーナー

10分	<ul style="list-style-type: none">ALTの説明や発言について、補助をする。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her home country!" アクティビティ例: <ul style="list-style-type: none">ALT が国のイベントを紹介する。また、児童は、一緒に体験をする。

Sounds and Letters: 小文字 BINGO (p.92)

5分	<ul style="list-style-type: none">学級担任またはALTが小文字を確認する。BINGOのマスに好きなアルファベットを小文字で書き込ませる。学級担任または、ALTがランダムにアルファベットを一つずつ言っていく。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 92. Let's check Sounds and Letters." ALT: "Let's play Bingo!" バリエーション:
ふり返りシート	<ul style="list-style-type: none">ALT が単語を言い、その単語の頭文字が、答えになる。学級担任または、ALT が絵を描き、児童は単語の頭文字を推測する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：What do you want to study? (pp.26-27)

レッスン 目標：学びたい教科や、なりたい職業についてのやり取りを理解しよう。

言語材料：What do you want to study? I want to study ~ . What do you want to be? I want to be a ~ . など

語彙：天気 (PD p.5), 曜日 (PD p.15)

Greeting, Small Talk: Do you like rainy days?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, do you like rainy days?"

ALT: "Yes, I like rainy days!"

HRT: "I don't like rain!" トピック例：

Do you like sunny/cloudy/snowy days? What weather do you like the best? Why?

Let's Sing: What do you have on Mondays? (p.27)

5分

- ・学級担任とALTで歌の紹介をする。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's sing a song. First, let's listen."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's listen to 'What do you have on Mondays?'"

やりとり例：What do you have on (曜日)? What do you have on (曜日) after school?

Word Link: 天気 (PD p.5), 曜日 (PD p.15)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの天気と曜日のページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。

教材：

先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary, pages 5 and 15. Let's practice!"

PD または FCs

ALT: "What weather/day do you like the best?"

やりとり例：

- ・カードを最後の一枚以外、見せていき、最後の一枚が何かを児童が推測する。

- ・ラッキーカード：FCsを黒板に貼り付け、児童に、目をつむらせる。その間に、学級担任またはALTが、磁石(キャラクター等でも可能)をFCsの裏に隠し、ラッキーカードを設定する。児童は、目を開き、好きな単語を一つ発音する。発音したら、FCsをはがし、ラッキーカードだったかを確認する。

Let's Try 1 (p.27)

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's Try 1. Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs

ALT: "Let's do an ABC word sort!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・ABCワードソート：グループを児童に作らせる。表面が見えないように、一人一枚ずつFCを渡す。先生が、"go"と言ったら、児童はカードの語彙を見て、グループで持っているカードをアルファベット順に並べる。最後にグループに前から発音をさせていく。

- ・ABCカードソート：グループを作り、順番がバラバラになったアルファベットのカードを渡す。先生が、"cloudy"と言ったら、発音をしなが、アルファベットを並べ替えて、単語を作っていく。(応用)

Let's Chant: ① What do you want to study? (p.27)

7分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材:

先生の導入:

デジタル教科書

HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?" (児童に投げかけ、どんなアルファベットが聞こえたか引き出す。)

Chant 1:

Study, study, I want to study! I want to study science. I want to study Japanese.

English, math, P.E. Home economics, music, social studies. Study, study, I want to study!

Starting Out (pp.26-27) ㊦

10分

- ・児童にNo. 1-5の音声を聞かせ、聞こえた順に番号を記入させる。

教材:

先生の導入:

デジタル教科書

HRT: "Let's listen to today's story. Please look at page 26 and 27. Starting Out."

ALT: "How many people? Where are they?"

...

HRT: "Let's listen again and check the answers."

やりとり例: What did you hear? What's No. 1? Where is he/she now? Let's listen one more time and check the answers.

* 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

Sounds and Letters: 形の似ている大文字 C と G など (p.90)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書を使い、大文字のアルファベットの形を児童に練習させる。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材:

先生の導入:

教科書

HRT: "Please open your textbook to page 90. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and write the letters."

ふり返しシート

バリエーション:

・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

・マイデクシヨナリー: 4線と絵を描ける枠を用意する。児童は、単語を選び、アルファベットを書いていく。また、絵を描く。このプリントを集めていくことで自分だけのデクシヨナリーを作っていく。

・ABCカードソート: 児童は、グループを作る。順番がバラバラになったアルファベットカードを児童へ配布し、裏向きで机に広げさせる。先生が、"go"と言ったら、A~Zまで正しい順に並べ替える。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材:

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Starting Out

主(L) 学びたい教科やなりたい職業について、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : What do you want to study? (pp.26-27)

レッスン 目標 : 学びたい教科や、なりたい職業についてのやり取りを理解しよう。

言語材料 : What do you want to study? I want to study ~ . What do you want to be? I want to be a ~ . など

語彙 : 気分 (PD p.4), 教科 (PD p.24) * 教科は次時に単語練習あり

Greeting, Small Talk: What weather do you like the best?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "Oh, today it's sunny! I like sunny days the best!"

なし

ALT: "Why do you like sunny days?"

HRT: "I can play soccer! What weather do you like the best?"

ALT: "I like rainy days. I can play video games!"

トピック例 :

- ・ Do you like sunny/cloudy/snowy days?

Let's Sing: What do you have on Mondays? (p.27)

4分

- ・難しい単語や表現の練習をする。
- ・学級担任とALTで歌の確認をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song."

デジタル教科書 ALT: "Yes, let's sing 'What do you have on Mondays?'"

アクティビティ例 :

- ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。
- ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 気分 (PD p.4)

4分

- ・学級担任は、児童にPDのp.4, 24のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Look at the Picture Dictionary Let's check and practice new words!"

PD または FCs ALT: "How do you feel? How are you now?"

やりとり例 :

- ・児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。
- ・ミッシングゲーム : FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try I (p.27)

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's Try I. Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Let's play the grouping game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例 :

- ・グルーピングゲーム : 児童は、お互い、How are you? と聞きあい、同じ "気分" であれば、グループを作り、そのグループを時間内で大きくしていく。
- * レベルに応じて、How are you? の別の言い方 (How have you been? など) を使ってもよい。
- ・キーワードゲーム with ジェスチャー : 気分の中から一つキーワードを決めておく。また、ペアを作り、二人の真ん中に消しゴムをひとつ置く。学級担任とALTのどちらかが、気分を表すジェスチャーをしていく。児童は、全員でジェスチャーに応じて、気分を表す単語を発音していく。キーワードになるジェスチャーをした時には、その単語を発音しながら、真ん中の消しゴムをとる。

Let's Chant: ② What do you want to be? (p.27)

8分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材：先生の導入：
HRT: "Let's chant! First, please listen." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?"
デジタル教科書 Chant 2:
What do you want to be? I want to be a baker, a baker.
I want to be a scientist, a scientist.
I want to be a volleyball player, a volleyball player.
I want to be a Japanese teacher, a Japanese teacher.

Let's Watch and Think (p.27) ㊟

10分

- ・児童に音声や映像を視聴させる。
- ・児童は答えを線で結ぶ。
- ・児童がわからない箇所があれば、音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。

教材：先生の導入：
HRT: "Let's Watch and Think, page 27. Draw lines to connect the answers." ALT: "What did you hear in the video?"
デジタル教科書 やりとり例：
What's her/his name? Where does she/he live?
What subjects does she/he have? What does she/he want to study?
What does she/he want to be?

Sounds and Letters: 形の似ている小文字 a と o など (p.90)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書を使い、小文字のアルファベットの形を児童に練習させる。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材：先生の導入：
教科書 HRT: "Please open your textbook to page 90. Let's check Sounds and Letters." (練習後)
ALT: "Now let's play the secret code game!" (暗号ゲーム)
ふり返しシート バリエーション：
・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。
・マイデクシオナリー：4線と絵を描ける枠を用意する。児童は、単語を選び、アルファベットを書いていく。また、絵を描く。このプリントを集めていくことで自分だけのデクシオナリーを作っていく。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 学びたい教科やなりたい職業について、話の概要を捉えようとしている。
知(L) I want to study ~ . I want to be ~ . の表現について、理解している。

45 テーマ：What do you want to study? (pp.28-29)

レッスン 目標：なりたい職業についてたずね合おう。

言語材料：What do you want to be? I want to be a ～. など

語彙：教科 (PD p.24)

Greeting, Small Talk: What subject do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Oh, today we have P.E. class. I'm so excited! I like P.E. What subject do you like?"
 ALT: "I like science!"
 トピック例：What animal do you like? What do you want to study? What do you want to be?
 やり取り例：What subject do you like? Why do you like ~ ?

BOL Activity: メモリーゲーム

6分

- ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。

教材：先生の導入：HRT: "Let's check phrases and words!"

PD または FCs

ALT: "Now let's play a Memory Game!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)
 *理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。
 アクティビティ例：
 ・メモリーゲーム：黒板に縦軸と横軸を引き(軸の数は単語の個数によって変える)それぞれ文字と数字を振る。これを座標(1-a, 2-b など)として、フラッシュカードを配置する。児童に数分間の時間を与え、記憶する時間とする。時間がたったら、学級担任または、ALT がカードを裏返しにする。どこに何のカードがあるか分かった児童は、挙手し、単語を発音していく。

Word Link: 教科 (PD p.24)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの教科のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：

PD または FCs

HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 24. Let's check and practice!"
 やり取り例：What subject do you like? What subjects do we have today? On Friday?
 I want to study ~. I don't want to study ~.
 アクティビティ例：
 ・カードを一枚ずつ、見せていき、児童は、カードの順番を覚えて、一つずつ発音していく。
 ・カードの一部をだんだん見せていき、児童はカードが何かを当てる。

BOL Activity: リバースかるた

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：先生の導入：

PD または FCs

HRT: "Please look at these cards! Let's practice the words." ALT: "Let's play reverse karuta!" (詳細は以下の例を参照してください)
 アクティビティ例：
 ・リバースかるた：グループに児童を分ける。メンバーの中心に、表面を向けたカードを広げる。ALT は、1つの単語を除いたすべての単語を読む。読まれなかった単語のカードを競ってとる。(レベルに応じて、読み手を児童にするなどして、単語を発音する練習とする)
 ・アンラッキーカード：FCs を黒板に貼り付けておく。児童は目をつぶり、先生または、ALT が FCs の裏に印をつける(ふせん等)。児童は目を開け、FCs から好きな単語を言っていき、先生は、単語を剥がしていく。アンラッキーカードが出たら、最初から、発音させる。出ずにすべて発音できたらゲームが終了する。

Let's Listen 1 (p.28) ㊦

6分	<ul style="list-style-type: none">・児童に教科書p.28を開くように指示する。・デジタル教科書の音声を流す。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Open your textbook to page 28, Let's Listen 1." (リスニング後) ALT: "What did you hear?" やり取り例: What did you hear first? Which day has ~? アクティビティ例: レベルに応じて、教科書の音声は使わず、ALT が一つ曜日を選び、ランダムにその日の教科を言っていく。児童はそれを表の中から探し、どの曜日を指しているのか当てる。

Let's Try 2 (p.28) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTで、モデル文 (What do you want to study? / I want to study ~.) の確認をする。・学級担任とALTで、デモンストレーションを行う。・学級担任とALTで、インタビュー中に苦手な子や、活動ができていない児童の支援をする。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Please watch us." (デモンストレーションをする) ALT: "Did you hear that? What do you want to study? Ok, now it's your turn!" (インタビューの後) ALT: "Let's share what we learned."

Sounds and Letters: 形の似ている大文字・小文字 I と i など (p.90)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書を使い、大文字と小文字のアルファベットの形を児童に練習させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 90. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Can you find similar uppercase and lowercase letters?"
ふり返しシート	バリエーション： ・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALT は番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。 ・マイデクシオナリー：4線と絵を描ける枠を用意する。児童は、単語を選び、アルファベットを書いていく。また、絵を描く、絵を描いてくる。このプリントを集めていくことで自分だけのデクシオナリーを作っていく。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Listen 1

思 (L) 相手のことをよく知るために、教科について、会話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try 2

知 (S) What do you want to study? I want to study ~. について、理解している

知 (S) 学びたい教科などについて、What do you want to study? I want to study ~. を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

思 (S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、What do you want to study? I want to study ~. を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ：What do you want to study? (pp.28-29)

レッスン 目標：なりたい職業についてたずね合おう。

言語材料：What do you want to be? I want to be a ～. など

語彙：職業 (PD p.30)

Greeting, Small Talk: What do you want to be?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "(ALT) sensei, what do you want to be?" ALT: "I want to be a firefighter! And you?"

なし HRT: "Me? I want to be a teacher!" ALT: "Of course!"

HRT: "Who wants to be a teacher? Raise your hand!" ALT: "Why do you want to be a teacher?"

HRT: "Because teachers help students learn."

トピック例：What animal do you like? Why? What do you want to study? What do you want to be?

やり取り例：Who wants to be a ～? Raise your hand! Why do you want to be a ～?

BOL Activity: ジェスチャーゲーム

5分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材： 先生の導入：(詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

HRT: "Let's check phrases and words!" ALT: "Now let's play a gesture game!"

PD または FCs アクティビティ例：

- ・キーワードゲーム with ジェスチャー：気分の中から一つキーワードを決めておく。また、ペアを作り、二人の真ん中に消しゴムをひとつ置く。学級担任か、ALTのどちらかが、気分を表すジェスチャーをしていく。児童は、全員でジェスチャーに応じて、気分を表す単語を発音していく。キーワードになるジェスチャーをした時には、その単語を発音しながら、真ん中の消しゴムをとる。
- ・グルーピングゲーム：児童は、お互い、How are you? と聞きあい、同じ "気分" であれば、グループを作り、そのグループを時間内で大きくしていく。

Word Link: 職業 (PD p.30)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの職業のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at your Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Do you know any other jobs?"

やりとり例：

- ・Repeat after you: 児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。＊間違い等あれば、フィードバックをしていく。

- ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

BOL Activity: What's your job?

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at these cards!"

PD または FCs ALT: "Let's play the 'What's your Job?' game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティアイデア：

- ・What's your job?: 学級担任または、ALTが練習した職業を一つ選び、児童から、What's your job? と尋ねさせる。その後、児童は、その職業が何かを推測する。(児童のレベルに応じて、児童に英語で質問をさせ、答えを見つけさせる。)

- ・ピクショナリー：グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。

Let's Listen 2 (p.29) ㊦

7分

教材:

デジタル教科書

- ・児童に教科書p.29を開くように指示する。
- ・ALTと表現の確認をする。
- ・デジタル教科書の音声を流す。

先生の導入:

HRT: "Open your textbook to page 29, Let's Listen 2."

やり取り例:(教科書を確認しながら) What subject is this? / What job is this?

Let's Try 3 (p.29) ㊦

10分

教材:

教科書

- ・児童に教科書p.29を開くように指示する。
- ・どのように活動するのか、例を実際に見せる。
- ・単語と表現の確認をする。

先生の導入:

HRT: "Please look at page 29, Let's Try 3."

ALT: "Let's ask your classmates what they want to be! Please watch us."

(デモンストレーションをする)

やり取り例: What do you want to be? / I want to be a scientist! What do you want to be? / I want to be a soccer player!

バリエーション:

- ・職業5目並べ:児童に5つ職業を選ばせ、紙に記入させる。クラス全体で、インタビュー形式で、What do you want to be? / I want to be ~. (~の部分は、自由)を答えさせる。相手の答えに、選んだ職業が入っていれば、印をつける。できるだけ、早く5つ印をつけることを目指す。

Sounds and Letters: 手の動かし方① (p.91)

5分

教材:

教科書

ふり返しシート

- ・学級担任またはALTが、教科書p.91の円を描くような動きの文字を確認させる。
- ・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

先生の導入:

HRT: "Open your textbook to page 91. Let's check Sounds and Letters."

ALT: "Let's make a group of letters! Think about the 'circle' group!"

バリエーション:

教科書に記載のグループで、児童に文字を複数示す。児童は、その文字がなぜ書かれたのか、ルールを予測する。

- ・数日かけて、複数回書く練習をさせる。(一度にたくさん書かせると作業が雑になるため)

Goodbye

1分

教材:

なし

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

◎評価 Let's Listen 2

思(L) 学びたい教科やなりたい職業について、会話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try 3

知(S) What do you want to be? I want to be ~. について、理解している。

知(S) なりたい職業について、What do you want to be? I want to be ~. を用いて、考えを伝え合っている。

45 テーマ：What do you want to study? (pp.30-31)

レッスン 目標：時間割について聞き取り、学びたい教科についてたずね合おう。

言語材料：What do you want to study? I want to study ~ . What do you want to be? I want to be a ~ . など

語彙：天気 (PD p.5), 曜日 (PD p.15), 気分 (PD p.4), 教科 (PD p.24), 職業 (PD p.30)

Greeting, Small Talk: What do you have on Mondays?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "(ALT) sensei, what do you have on Mondays?"
	ALT: "I have Japanese lessons on Mondays."
	HRT: "You study Japanese?"
	ALT: "Yes, I do! What about you, (HRT) sensei?"
	HRT: "Me? I have English lessons on Mondays."
	ALT: "Really? That's great!"
	トピック例：What do you have on (曜日)?
	やり取り例：How about Sundays? What day do you like best? / I like Saturdays. I play basketball on Saturdays.

Let's Sing: What do you have on Mondays? (p.27)

3分	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日について確認する。 ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。 ・全員で、歌を歌わせる。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Let's review the days of the week and sing a song!"
	ALT: "Sing along slowly with me!"
	やり取り例：Do you remember the days of the week?

Let's Chant: ① What do you want to study? ② What do you want to be? (p.27)

2分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。 ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。 ・全員で、リズムに合わせて練習をする。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)
	Chant 1:
	Study, study, I want to study! I want to study science. I want to study Japanese.
	English, math, P.E. Home economics, music, social studies. Study, study, I want to study!
	HRT: "Okay, now chant number two..."
	Chant 2:
	What do you want to be? I want to be a baker, a baker. I want to be a scientist, a scientist.
	I want to be a volleyball player, a volleyball player. I want to be a Japanese teacher, a Japanese teacher.

BOL Activity: クロスワード (PD p.24)

10分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDの教科のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入：
PDまたはFCs	HRT: "Let's do a crossword puzzle! First, let's review school subjects (または jobs words)!"
	アクティビティ例：クロスワード：以下のサイトでクロスワードを作成、プリントを児童に配布する。時間を設定し、クロスワードをどこまで完成させられるか挑戦する。(レベルによって、ペアやグループで挑戦させる。また、始める前に、単語の復習をたくさんするようにする。)
	参考：クロスワード作成サイト(ヒントはレベルに応じて、日本語で作成も可能)：グーグル検索：「クロスワード作成ツール」
	・ステップングストーン：児童を二つのグループに分ける。黒板にFCsを並べる。黒板の両端にグループごとに集まり、列を作る。ゲームをスタートしたら、各グループから1名が、FCsを読みながら、前に進む。2人が同じカードまで来たら、じゃんけんをし、勝者は前に進み、敗者はグループの一番後ろに回り、次の児童が前に進む。どちらかのグループの児童が相手チームまでたどりつくまで活動を続ける。

Step 1 (p.30) ◎

9分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、最終的な活動を共有する。・児童はグループになり時間割を作成していく。・学級担任とALTが作成のサポートをしていく。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's make an original daily schedule!" ALT: "Let's make an original daily schedule! First, check words and phrases." HRT: "Please make pairs and practice conversation."
夢に近づく時間割	アクティビティ例: ・オリジナルの時間割を作ろう!: グループで話し合いながら、一週間の時間割を作る。ただし、一週間の時間割で、その教科を入れられる時間に制限を設ける。(オリジナルな教科を1~2つ加えることもできる) 発表として、What do you want to study on Mondays? What do you want to study on Tuesdays? ... を聞いている児童が質問し、発表している児童は、I want to study ~ on Mondays because I like ... のように理由を加えて、発表をする。

Step 2 (p.30) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、モデルを示す。・児童は、モデルをマネする形でグループ内で発表の練習をしていく。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's practice next conversation!" ALT: "Please watch us." (デモンストレーションを見せる)
夢に近づく時間割	モデル文: A: What do you want to be? B: I want to be a baker.

Sounds and Letters: 手の動かし方② (p.91)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書p.91の上下の動きが中心の文字を確認させる。・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's check Sounds and Letters." ALT: "Let's make a group of letters! Think about the 'trampoline' group!" バリエーション:
ふり返しシート	教科書に記載のグループで、児童に文字を複数示す。児童は、その文字がなぜ書かれたのか、ルールを予測する。 ・数日かけて、複数回書く練習をさせる。(一度にたくさん書かせると作業が雑になるため)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1, Step 2

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科について、簡単な語句やWhat do you want to study? I want to study. ~の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

思(S) 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、なりたい職業について、簡単な語句やWhat do you want to be? I want to be ~.の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ : What do you want to study? (pp.30-31)

レッスン 目標 : 夢に近づく時間割を作成し、なりたい職業について紹介する。

言語材料 : What do you want to study? I want to study ~ . What do you want to be? I want to be a ~ . など

語彙 : 天気 (PD p.5), 曜日 (PD p.15), 気分 (PD p.4), 教科 (PD p.24), 職業 (PD p.30)

Greeting, Small Talk: What subject do you have on Wednesday?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, what subject do you have on Wednesday?"

ALT: "I have English on Wednesday. What about you, (HRT) sensei?"

HRT: "Me? I have home economics on Wednesday."

ALT: "Really? That sounds nice!"

トピック例 : What subject do you have on (day of the week)?

やり取り例 : What do you have on Mondays? How about Sundays? What day do you like best? / I like Saturdays. I play basketball on Saturdays.

Let's Sing: What do you have on Mondays? (p.27)

4分

- ・曜日について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's review the days of the week and sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing along slowly with me!"

やり取り例 : Do you remember the days of the week?

Let's Chant: ① What do you want to study? ② What do you want to be? (p.27)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えるれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Study, study, I want to study! I want to study science. I want to study Japanese.

English, math, P.E. Home economics, music, social studies. Study, study, I want to study!

HRT: "Okay, now chant number two..."

Chant 2:

What do you want to be? I want to be a baker, a baker. I want to be a scientist, a scientist.

I want to be a volleyball player, a volleyball player. I want to be a Japanese teacher, a Japanese teacher.

BOL Activity: ポインティングゲーム (PD p.30)

10分

- ・学級担任は、児童にPDの職業のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs

ALT: "Let's play a pointing game."

HRT: "I want to study (school subject)!"

ALT: "I want to study (school subject). Please point to (school subject)!"

アクティビティ例 :

- ・ポインティングゲーム : 学級担任が、PDの単語を読み上げ、児童は自分のPD上の単語を指さす。

- ・Guess and point : 学級担任が、単語の冒頭部分のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える(書く、指さすなど)。

Step 3 (p.31) ◎

10分	・児童は、グループごとに時間割を発表する。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's give our presentations!"
教科書	ALT: "I'm so excited to hear your great dream schedule!" アクティビティ例：
夢に近づく時間割	・グループごとに時間割を発表していく：1グループ前を出てきて、プレゼンテーションをしていく。ただし、聞いている児童は、What do you want to study on 曜日？と質問し、それを受けて、発表者は、曜日ごとに発表していく。 *単調になる場合は、前半グループと後半グループに分け、片方のグループが発表しているときに、もう片方のグループは聞き役になるなどで、発表の回数を増やす。

Sounds and Letters: 手の動かし方③ (p.91)

10分	・学級担任またはALTが、教科書p.91の下へ向かう動きが中心の文字を確認させる。 ・児童は、発音と一緒にアルファベットを書く。 ・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's check Sounds and Letters."
教科書	ALT: "Let's make a group of letters! Think about the 'karate chop' group!" バリエーション：
ふり返しシート	教科書に記載のグループで、児童に文字を複数示す。児童は、その文字がなぜ書かれたのか、ルールを予測する。 ・数日かけて、複数回書く練習をさせる。(一度にたくさん書かせると作業が雑になるため)

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) 自分のことを伝え、相手をよく知るために、学びたい教科やなりたい職業について、簡単な語句や I want to study ~ . I want to be ~ . のような表現を用いて、お互いの考えを話している。
主(S) 自分のことを伝え、相手をよく知るために、学びたい教科やなりたい職業について、簡単な語句や I want to study ~ . I want to be ~ . のような表現を用いて、お互いの考えを話そうとしている。

45 テーマ：What do you want to study? (pp.32-33)

レッスン 目標：世界の授業について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：What do you want to study? I want to study ~ . など

語彙：天気 (PD p.5), 曜日 (PD p.15), 気分 (PD p.4), 教科 (PD p.24), 職業 (PD p.30)

Greeting, Small Talk: What do you want to study?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "What do you want to study?"

なし

ALT: "I want to study about dinosaurs! How about you? What do you want to study?"

HRT: "I want to study about gardening."

トピック例：What sport do you want to play? What do you want to eat on ~ (day)? What do you want for your birthday?

やり取り例：I want to study ~ . How about you? What do you want to study? Why?

Let's Sing: What do you have on Mondays? (p.27)

3分

- ・曜日について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's review the days of the week and sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing along slowly with me!"

やり取り例：Do you remember the days of the week?

Let's Chant: ① What do you want to study? ② What do you want to be? (p.27)

2分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えるれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Study, study, I want to study! I want to study science. I want to study Japanese.

English, math, P.E. Home economics, music, social studies. Study, study, I want to study!

HRT: "Okay, now chant number two..."

Chant 2:

What do you want to be? I want to be a baker, a baker. I want to be a scientist, a scientist.

I want to be a volleyball player, a volleyball player. I want to be a Japanese teacher, a Japanese teacher.

BOL Activity: ジジ抜き

7分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's play Old Maid!"

PD または FCs

アクティビティ例：

・ジジ抜き:FCsのミニカードを2setずつ用意する。グループに分け、ジジ抜きと同じゲームをする。ただし、ペアができたときに、そのカードを発音して、真ん中に出す。

Do you know? (pp.32-33)

10分	<ul style="list-style-type: none">・日本の授業についてどんなものがあるか児童と確認する。・ALTが自国の授業で、日本と違うものを紹介し、その後、教科書で、世界の授業について学ぶ。・時間があれば、他国の授業を調べ、簡単に発表する。例: In Australia, students study ~.)
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "What school subjects do you have?" ALT: "Math... P.E. ...what else? How about other countries?" やり取り例: What school subjects do children in the U.K. have? Do you know any other subjects? What subject do you want to study?

Challenge (p.33) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・他国の授業について調べる。・英語で簡単に発表する。
教材:	先生の導入:
なし	ALT: "Let's research school subjects in other countries!" HRT: "Please pick one country and make a group!" アクティビティ例: ・他国の授業について調べ、Unit で習った単語を使い、発表をしよう。: 学級担任または、ALT が国をグループ数+数個挙げておく。グループを児童に作らせ、国をひとつ選ばせる。選んだ国をネットで調べ、日本にはない教科を発表させる。 (発表例: In Australia, students study ~. I want to study ~.) 参考 (Kids 外務省): https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/index.html#oushu

Sounds and Letters: 大文字 BINGO (p.92)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが大文字を確認する。・BINGOのマスに好きなアルファベットを大文字で書き込ませる。・学級担任または、ALTが文字のグループごとにランダムにアルファベットを一つずつ言っていく。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 92. Let's check Sounds and Letters." ALT: "Let's play Bingo!"
ふり返しシート	バリエーション: ・単語を言って、つづりの頭文字のアルファベットを答えにする。(児童が単語を復習でき、文字と音の一致につなげる。) ・先生、またはALTが絵を描き、その絵の単語の頭文字のアルファベットを答えにする。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Challenge

主 (S) 学んでみたい授業について、自分の考えを伝えようとしている。

45 テーマ : What do you want to study? (pp.32-33)

レッスン 目標 : 英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : My name is ~ . I'm ~ . I'm from ~ . I live in ~ . I like ~ . など

語彙 : 天気 (PD p.5), 曜日 (PD p.15), 気分 (PD p.4), 教科 (PD p.24), 職業 (PD p.30)

Greeting, Small Talk: What food do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "What food do you like?"

なし

ALT: "I like gyoza! How about you? What food do you like?"

HRT: "I like hamburger steak."

トピック例 : What game/sports do you like? What TV show do you want to watch?

やり取り例 : I tried a new food! It's delicious! Guess what it is? What food do you like?

Let's Sing: What do you have on Mondays? (p.27)

3分

- ・曜日について確認する。
- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's review the days of the week and sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing along slowly with me!"

やり取り例 : Do you remember the days of the week?

BOL Activity: カルタ

7分

- ・学級担任とALTでUnit3で学んだ単語を確認する。
- ・児童をグループに分け、カルタのカードを渡す。

教材 : 先生の導入 : (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

HRT: "First, let's check words and phrases. In this unit, we learned ~ . Let's review."

PD または FCs

ALT: "Now let's play Karuta!"

アクティビティ例 :

- ・カルタ:FCs を使ってカルタを行う。単語をそのまま読む、一部だけ読む、フレーズに入れて読む、ヒントから連想させるなどレベルに応じて、設定する。
- ・ジャンピングゲーム:児童を2チームに分ける。床にFCsを一列で置く。一人ずつ両端から、一つずつ単語を発音し、正しく言えたら次へジャンプする。相手チームの人にぶつかったら、ジャンケン。負けたら、列の後ろへ行き、次の人が同様に進む。

ことば探検 (p.32)

8分

- ・学級担任または、ALTは教科書を開く前に、職業を表す語の共通点を探せる。
- ・辞書等で、教科書以外に共通点のある職業に関する単語を探させる。

教材 : 先生の導入 :

(教科書を開く前に) HRT: "We have many jobs!"

教科書

ALT: "Yes, we have many jobs. For example, ~ ." (単語を黒板に示す)

ALT: "Can you make groups of these words?"

辞書など

-ER グループ : bakER, singER, farmER, teachER

-IST グループ : artIST, dentIST, florIST, scientIST

やり取り例 : 教科書にある職業以外にも調べてみよう!

日本のすてき (p.33) ©

9分	<ul style="list-style-type: none">・日本のすてきを使って、リスニングをさせる。・個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。・全体で内容の確認をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to " 日本のすてき " ALT: "Listen carefully!" アクティビティ例:
BOL ワークシート	<ul style="list-style-type: none">・ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。・ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。

BOL Activity: ALT コーナー

7分	<ul style="list-style-type: none">・ALTの説明や発言について、補助をする。・自身の国のことについて話をしていく。・一緒に活動をする。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her country." アクティビティ例: ・ALT の先生の国の授業を受けてみよう!
なし	

Sounds and Letters: 小文字 BINGO (p.92)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが小文字を確認する。・BINGOのマスに好きなアルファベットを小文字で書き込ませる。・学級担任または、ALTが文字のグループごとにランダムにアルファベットを一つずつ言っていく。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 92. Let's check Sounds and Letters." ALT: "Let's play Bingo!" バリエーション:
ふり返りシート	<ul style="list-style-type: none">・単語を言って、つづりの頭文字のアルファベットを答えにする。(児童が単語を復習でき、文字と音の一致につなげる。)・先生、またはALT が絵を描き、その絵の単語の頭文字のアルファベットを答えにする。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : Let's introduce ourselves to someone abroad. (pp.34-35)

レッスン 目標 : 海外の人に自己紹介をするために準備しよう。

言語材料 : I'm/I am ~ . Nice to meet you. My name is ~ . I'm from ~ . I like ~ . など

語彙 : 色 (PD p.6), スポーツ (PD p.7), 食べ物 (PD p.8), 学校 (PD p.24), 教科 (PD p.24), 国 (PD p.16)

Greeting**5 分**

・英語を使用する雰囲気を作り、児童に授業の準備をさせる。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
児童から反応を引き出す。
なし**Let's Chant: ① How do you spell your name?, ② What sport do you like? (p.11)****8 分**

・チャンツで、Unit 1で学んだことを復習させる。

教材 : Chant 1
A, B, C, D, E, F, G. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily.
H, I, J, K, L, M, N. How do you spell your name? H-I-R-O-S-H-I, Hiroshi.
O, P, Q, R, S, T, U. How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura.
V, W, X, Y, Z, Z. How do you spell your name? Y-U-J-I, Yuji!
Chant 2
What sport do you like? I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (sport).
I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (sport).
デジタル教科書**Let's Chant: ① When is your birthday?, ② What do you want? (p.19)****8 分**

・チャンツで、Unit 2で学んだことを復習させる。

教材 : Chant 1
Happy, Happy Birthday! When is your birthday?
My birthday is May 5th. My birthday is April 1st. My birthday is July 19th. My birthday is July 23rd.
When is your birthday? When is your birthday? My birthday is (month) (date).
Chant 2
What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap?
I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.
What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap?
I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.
デジタル教科書**Let's Chant: ① What do you want to study?, ② What do you want to be? (p.27)****8 分**

・チャンツで、Unit 3で学んだことを復習させる。

教材 : Chant 1
Study, study, I want to study! I want to study science. I want to study Japanese.
English, math, P.E. Home economics, music, social studies. Study, study, I want to study!
Chant 2
What do you want to be? I want to be a baker, a baker.
I want to be a scientist, a scientist.
I want to be a volleyball player, a volleyball player.
I want to be a Japanese teacher, a Japanese teacher.
デジタル教科書

HOP (p.35)

10分	・児童にUnit 1～3で学んだ表現を復習させる。
教材：	HRT: "Let's review the cards on pages 34 and 35, and look back over what you've learned." 児童は、Unit 1～3で練習したスピーチや会話を再度練習する。
デジタル教科書	ALTはデモンストレーションのビデオを見せる。
PD	ALT: "Imagine meeting a student from another country. What would you tell them about yourself?" 児童は、自己紹介で言いたいことや使うべき表現を考える。

STEP (p.35)

5分	・児童に、英語での自己紹介の方法を考えさせる。
教材：	スピーチをデモンストレーションする。
デジタル教科書	ALT: "Hello. My name is Manny. M-A-N-N-Y. Manny, I'm from Colombia. I like movies. I want a video camera. Nice to meet you!" 学級担任またはALTが、絵を描く用の紙を渡し、児童は、自己紹介作る。
白紙の紙	ALT: "You can find expressions for your message on pages 34 and 35." HRT: "Please write a message to someone from overseas on your sheet." 児童は、メッセージを伝える練習をする。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価

知(S) 好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日について、Unit 1～3で学習した表現やその関連語句を用いて、考えを話すことができる。

思(S) 外国の人に自己紹介するために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日について、簡単な語句やUnit 1～3で学習した表現を用いて、考えを話している。

主(S) 外国の人に自己紹介するために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日について、簡単な語句やUnit 1～3で学習した表現を用いて、話そうとしている。

45 テーマ : Let's introduce ourselves to someone abroad. (pp.34-35)

レッスン 目標 : 海外の人に自己紹介をするために準備しよう。

言語材料 : I'm/I am ~ . Nice to meet you. My name is ~ . I'm from ~ . I like ~ . など

語彙 : 色 (PD p.6), スポーツ (PD p.7), 食べ物 (PD p.8), 学校 (PD p.24), 教科 (PD p.24), 国 (PD p.16)

Greeting**5 分**

・英語を使用する雰囲気を作り、児童に授業の準備をさせる。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
児童から反応を引き出す。
なし**Let's Chant: ① How do you spell your name?, ② What sport do you like? (p.11)****10 分**

・チャンツで、Unit 1で学んだことを復習させる。

教材 : Chant 1
A, B, C, D, E, F, G. How do you spell your name? E-M-I-L-Y, Emily.
デジタル教科書 H, I, J, K, L, M, N. How do you spell your name? H-I-R-O-S-H-I, Hiroshi.
O, P, Q, R, S, T, U. How do you spell your name? S-A-K-U-R-A, Sakura.
V, W, X, Y, Z, Z. How do you spell your name? Y-U-J-I, Yuji!
Chant 2
What sport do you like? I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (sport).
I like soccer. I like tennis. I like volleyball. I like baseball. I like (sport).**Let's Chant: ① When is your birthday?, ② What do you want? (p.19)****10 分**

・チャンツで、Unit 2で学んだことを復習させる。

教材 : Chant 1
Happy, Happy Birthday! When is your birthday?
デジタル教科書 My birthday is May 5th. My birthday is April 1st. My birthday is July 19th. My birthday is July 23rd.
When is your birthday? When is your birthday? My birthday is (month) (date).
Chant 2
What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap?
I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.
What do you want for your birthday? A new book? A nice pen? A cool cap?
I want a yellow T-shirt. A yellow T-shirt.**Let's Chant: ① What do you want to study?, ② What do you want to be? (p.27)****10 分**

・チャンツで、Unit 3で学んだことを復習させる。

教材 : Chant 1
Study, study, I want to study! I want to study science. I want to study Japanese.
デジタル教科書 English, math, P.E. Home economics, music, social studies. Study, study, I want to study!
Chant 2
What do you want to be? I want to be a baker, a baker.
I want to be a scientist, a scientist.
I want to be a volleyball player, a volleyball player.
I want to be a Japanese teacher, a Japanese teacher.

JUMP (p.35)

9分	・児童に、英語で自己紹介をさせる。
教材：	ALTは、自己紹介を児童に見せる。自己紹介の後に、学級担任にコメントをもらう。 学級担任ルーブリックや評価基準をはっきりと示してもらう。
デジタル教科書	自己評価の2つのポイントを35ページの振り返り(スピーチの内容と伝える工夫)について確認する。 ALT: "Please practice reading your introduction out loud. Think about 'Topic' and 'Communication'." 児童は声に出して練習をする。 HRT: "Now let's get into groups and introduce ourselves." ALT: "When it's your turn to listen, please remember to give your classmates nice comments." 学級担任とALTは、机間巡視をする。また、児童はグループでメッセージを伝える。活動の途中で、児童を評価する。 時間が許せば、児童にグループを変えて再度行わせる。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価

知(S) 好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日について、Unit 1～3で学習した表現やその関連語句を用いて、考えを話すことができる。

思(S) 外国の人に自己紹介するために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日について、簡単な語句やUnit 1～3で学習した表現を用いて、考えを話している。

主(S) 外国の人に自己紹介するために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日について、簡単な語句やUnit 1～3で学習した表現を用いて、話そうとしている。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.38-39)

レッスン 目標 : 世界で働く人々について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう

言語材料 : This is ~ . He/She is ~ . など

語彙 : 動作など(1) (PD p.18)

Greeting, Small Talk: Can you cook well?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, can you cook well?"

ALT: "No, I can't... can you?"

HRT: "Yes, I can. I like barbecue. I like to grill."

ALT: "Wow! I'm getting hungry..."

トピック例 : Can you play ~ well? Can you swim fast? など

やりとり例 : Can you cook well? Do you help your parents? What housework do you? など

Let's Sing: This is my town. (p.39)

4分

- ・学級担任とALTで歌の紹介をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song. First, please listen."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's listen to 'This is my town.'"

やりとり例 : What did you hear? What places did you hear? など

Word Link: 動作など(1) (PD p.18)

6分

- ・学級担任は、児童にPDの動作(1)のページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 18. Let's practice!"

PDまたはFCs

ALT: "Can you ~ well?"

やりとり例 : Can you ~ well?

- ・カードを最後の一枚以外、見せていき、最後の一枚が何かを児童が推測する。

- ・児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。

Let's Try 1 (p.39)

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

ALT: "Let's play Charades!" (詳細は以下の例を参照してください)

PDまたはFCs

アクティビティ例 :

- ・シャレード : グループに分け、グループ内で順番を決める。1番の人がFCsに書かれた単語をジェスチャーで表し、残りの人が当てる。当てた人が次に問題を出題する。

- ・ピクショナリー : グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。答えを間違えたら、列の後ろに回り、次の人が解答する。答えが合っていたら、次の出題者になる。

Let's Chant: ① Who is this?, ② I can swim. (p.39)

7分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入: HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す)
デジタル教科書	Chant 1: Who is this? This is Emily. This is Emily Smith. Who is this? This is Sakura. This is Ito Sakura. Who is this? This is Mark. This is Mark Smith. Who is this? This is Yuna. This is Ito Yuna. Chant 2: Who am I? I'm a dog. I can swim but I can't fly. Who am I? I'm a flying fish. I can swim. I can fly but I can't run. I can swim. I can sing but I can't cook. Who am I? It's me! ALT: "What did you hear?" (児童に投げかけ、どんなアルファベットが聞こえたか引き出す。)

Starting Out (pp.38-39) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童にNo. 1-5の音声を聞かせ、聞こえた順に番号を記入させる。
教材:	先生の導入: Let's listen to the story.
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to today's story. Please look at pages 38 and 39, Starting Out." ALT: "What can you see?" やりとり例: What did you hear? What's number 1? Where is he/she now? Let's listen again and check the answers. * 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

Sounds and Letters: 大文字の書き取り① (p.93)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書p.93をもとに児童に、アルファベットを3つA, B, Gを聞かせ、児童は、大文字をなぞり書きする。・その後、児童にランダムに3つ聞かせ、書き取らせる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and write the letters!"
ふり返しシート	バリエーション: ・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Starting Out

主(L) 地域に住む身近な人のできることについて、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.38-39)

レッスン 目標 : できることについてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料 : This is ~ . He/She can ~ . He/She is ~ . など

語彙 : 建物など (PD p.22)

Greeting, Small Talk: Can you sing well?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "(ALT) sensei, can you sing well?"

なし

ALT: "Yes, I can. I like karaoke. I usually go with my friends."

HRT: "Okay, please sing for the class!"

ALT: "No, thank you! I'm embarrassed..."

トピック例 : Can you play ~ well? Can you swim fast? など

やり取り例 : I like singing but I can't sing well... How about you? Can you sing well?

Let's Sing: This is my town. (p.39)

5分

- ・学級担任とALTで歌の確認をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song. First, please listen."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's listen to 'This is my town.'"

アクティビティ例 :

- ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。

- ・音楽なして、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 建物など (PD p.22)

6分

- ・学級担任は、児童にPDのp.22のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 : HRT: "Good job, everyone! Next, look at the Picture Dictionary. Let's practice!"

ALT: "Where is the nearest museum? Where do you live? What do you do in the(建物)?" (教科書を閉じて児童に質問する)

PD または FCs

やりとり例 :

- ・建物を使ってクイズを出す。(逆も可能)

例1 : Q: What do you do in the library? A: I read books in the library. 例2 : Q: Where am I? I can read books. A: (It is a library!)

・ ミッシングゲーム : FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try 1 (p.39)

6分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

ALT: "Let's play the association game!" (詳細は以下の例を参照してください)

PD または FCs

アクティビティ例 :

- ・連想ゲーム : 建物の中から一つキーワードを決めておく。その建物でできることをジェスチャーや絵で表す。(児童の状況に応じて設定) 児童は、そのジェスチャーが表している建物を英語で言う。

Let's Chant: ③ Can you swim fast?, ④ She can sing well. (p.39)

7分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材:

先生の導入: HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 3: Can you run? No, I can't. I can't run. But I can fly. Can you swim? Yes, I can. I can swim fast. Can you swim fast? No, I can't. I can't swim fast. But I can run fast.
Chant 4: This is my friend, Emily. She can play soccer well. She can speak English well. She can sing well. And she is so kind. This is my father, Mark Smith. He is a baker. He can bake bread well. He can swim fast. And he is so cool.
ALT: "What did you hear?"

Let's Watch and Think (p.39) ◎

10分

- ・児童に音声や映像を視聴させる。
- ・児童がわからない箇所があれば、音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。

教材:

先生の導入:

HRT: "Please open your textbook to page 39, Let's Watch and Think."

デジタル教科書

ALT: "Draw a line to connect the answer. Do you have a pencil? Are you ready?"

ALT: "What did you hear?"

やりとり例:

What are flying fish? Where do they live? Can you swim? Can you fly? What are polar bears? Where do they live?

Sounds and Letters: アクセント① (p.94)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.94をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材:

先生の導入:

HRT: "Let's check Sounds and Letters."

教科書

ALT: "Listen carefully and check your pronunciation with me."

バリエーション:

ふり返しシート

・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材:

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 動物のできることについて、話の概要を捉えようとしている。

知(L) I can ~. の表現について、理解している。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.40-41)

レッスン 目標 : できること、できないことについて、聞き取り、先生や友達と尋ねあう。

言語材料 : I can/can't ~ . Can you ~ ? Yes, I can./No, I can't. など

語彙 : 楽器 (PD p.25)

Greeting, Small Talk: Can you play badminton?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "What sports can you play?"

ALT: "I can play badminton!"

HRT: "Oh, you can play badminton!"

ALT: "Yes. And you?"

HRT: "I can do kendo."

トピック例 : What sports can you play?

やり取り例 : Can you play soccer? / Can you play baseball? / Can you do judo?...

BOL Activity: ステッピングストーン

6分

- ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's review!"

PD または FCs ALT: "Let's play Stepping Stones!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

* 理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。

アクティビティ例 :

- ・ステッピングストーン : 児童を二つのグループに分ける。黒板にFCsを並べる。黒板の両端にグループごとに集まり、列を作る。ゲームをスタートしたら、各グループから1名が、FCsを読みながら、前に進む。2人が同じカードまで来たら、じゃんけんをし、勝者は前に進み、敗者はグループの一番後ろに回り、次の児童が前に進む。どちらかのグループの児童が相手チームまでたどりつくまで活動を続ける。

Word Link: 楽器 (PD p.25)

6分

- ・学級担任は、児童にPDの楽器のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job, everyone! Next, look at the Picture Dictionary. Let's practice!"

PD または FCs やり取り例 : What subject do you like? What subjects do we have today/on Friday?

・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。

・ミッシングゲーム : FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

・弾ける楽器の時だけ、I can play the ~ . と言う。

BOL Activity: キーワードゲーム

6分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job, everyone! Next, look at these cards!"

PD または FCs ALT: "Let's play the Keyword game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例 :

・キーワードゲーム : ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語をALTが読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。

→できるようになってきたら、絵だけ児童に見せて、児童が単語を発音していく。

・メモリーゲーム : グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Let's Listen 1 (p.40) ㊦

6分

・児童はリスニングをして、できることに○、できないことに△を書く。

教材：

先生の導入：

HRT: "Please open your textbook to page 40, Let's Listen 1."

デジタル教科書

ALT: "Circle the picture. Do you have a pencil? Are you ready?" (リスニング後)

ALT: "What did you hear?"

やり取り例：What did you hear first? What can she/he do? アクティビティ例：レベルに応じて、最初に教科書の絵の内容（動作やスポーツの名前）について、どれだけ英語で言えるか復習をする。Mark ができそうなこと、Yuna ができそうなことを推測し、友達と英語を使って確認する。使用の英語は以下、(I think) he/she can (play) ~ .

Let's Try 2 (p.40) ㊦

10分

・学級担任とALTで、モデル文 (Can you ~? / Yes, I can. No, I can't.) の確認をする。

・学級担任とALTで、デモンストレーションを行う。

・学級担任とALTで、インタビュー中に苦手な子や、活動ができていない児童の支援をする。

教材：

先生の導入：

HRT: "Next, Let's Try 2! Let's interview your classmates!"

デジタル教科書

ALT: "Please watch us."

ALT: "Did you hear that? Can you ~? Yes, you can? No, you can't?" (児童の答えを確認しながら引き出す。)

インタビュー後 ...

ALT: "Let's check the answers! Who can ~?"

Sounds and Letters: 大文字の書き取り② (p.93)

5分

・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに、児童にランダムに3つずつ文字を聞かせ、それを書き取らせる。

・児童にふり返しシートを記入させる。

教材：

先生の導入：

HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and write the letters!"

教科書

バリエーション：

ふり返しシート

・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Listen 1

思 (L) 身近な人のできることについて、会話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try 2

知 (S) I can ~ . Can you ~ ? の表現について、理解している。

思 (S) 身近な人のできることなどについて、I can ~ . Can you ~ ? の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.40-41)

レッスン 目標 : インタビューをもとに名前と He/She を書き、その人を紹介しよう。

言語材料 : This is ~ . He/She can ~ . Who is ~ ? He/She is ~ . など

語彙 : 家族・人 (PD p.17)

Greeting, Small Talk: What food can you eat?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
Small Talk トピック : What food can you eat?

なし (写真を見せながら) HRT: "I can eat (ぶぐ) in Japan! What food can you eat in your country?"
(写真を見せながら) ALT: "I can eat a (バイソン パーガー) in my country!"
トピック例 : What sports can you play?
やり取り例 : Which do you like? What do you want to eat?

Word Link: 家族・人 (PD p.17)

5分

- ・学級担任は、児童にPDのjobsのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :
HRT: "Please look at your Picture Dictionary."
ALT: "Do you know any other family members?"
やり取り例 :
・カードの一部をだんだんを見せていき、児童はカードが何かを当てる。
・カードを一瞬だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。

BOL Activity: Guess and Point

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :
HRT: "Let's check phrases and words!"
ALT: "Now let's play Guess and Point!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)
*理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。アクティビティ例 :
・Guess and point : 先生が、単語の冒頭部分または、一部のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える。先生が、単語を読み、児童は、読まれた単語を指さす。
・ポインティングゲーム : 先生が、PDの単語を読み上げ、児童は自分のPD上の単語を指さす。

Let's Listen 2 (p.41) ◎

6分

- ・児童に教科書p.29を開くように指示する。
- ・ALTと表現の確認をする。

教材 : 先生の導入 :
HRT: "Open your textbook to page 41, Let's Listen 2."
デジタル教科書 ALT: "Write their name and 'He' or 'She'. Do you have a pencil?"
やり取り例 : (教科書を確認しながら) What subject is this? / What job is this? / What color is this? (復習として)

Let's Try 3 (p.41)

6分

- ・表現の確認をする
- ・学級担任と一緒に会話を読み上げる

教材： ALT: "Please listen to (HRT) sensei and I."

教科書の会話を実演する。

デジタル教科書 理解度を確認するために、児童に質問をいくつか投げかける。

Let's Try 4 (p.41) ◎

10分

- ・似顔絵を描き、クラスメートの名前を横の4線に書く。

教材： 先生の導入：

HRT: "Please look at page 41, Let's Try 4!"

教科書 ALT: "Let's introduce your classmate to the class. Please watch us." (デモンストレーションをする)

やり取り例： This is ～ . He/She can ～ . バリエーション：

- ・ヒントクイズ： 児童に He/She can ～ . で2～3文ヒントを作らせる。児童同士でペアを作らせ、問題を出し合わせる。(例： He can play soccer. He can cook well. Who is he? (ペアの児童が答えた後))

Sounds and Letters: アクセント② (p.94)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.94をもとにアクセントのある場所を児童に塗りつぶさせる。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材： 先生の導入：

HRT: "Open your textbook to page 94. Let's check Sounds and Letters."

教科書 ALT: "Listen carefully and check your pronunciation with me."

バリエーション：

ふり返しシート ・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材： ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Listen 2

思(L) 身近な人のできることについて、話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try 4

知(S) This is ～ . She/He can ～ . の表現について、理解している。

思(S) This is ～ . She/He can ～ . の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.42-43)

レッスン 目標 : 身近な人紹介カードを作り、その人のできることについて、尋ねあおう。

言語材料 : Who is ~ ? This is ~ . He/She is ~ . He/She can ~ . など

語彙 : 動作など(I) (PD p.18), 建物など (PD p.22), 楽器 (PD p.25), 家族・人 (PD p.17)

Greeting, Small Talk: Can she sing well?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "(HRT) sensei, do you know this woman?"

なし

HRT: "Oh, that's Utada Hikaru! She is a singer."

ALT: "Can she sing well?"

HRT: "Yes, she can!"

トピック例 : Can she/he ~ well?

やり取り例 : Can you sing/draw/cook/bake/make ~ well?

Let's Sing: This is my town. (p.39)

4分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Do you remember the song for this unit? Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

やりとり例 : What did you hear?

Let's Chant: ① Who is this?, ② I can swim. (p.39)

4分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together!" (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Who is this? This is Emily. This is Emily Smith. Who is this? This is Sakura. This is Ito Sakura.

Who is this? This is Mark. This is Mark Smith. Who is this? This is Yuna. This is Ito Yuna.

Chant 2

Who am I? I'm a dog. I can swim but I can't fly.

Who am I? I'm a flying fish. I can swim. I can fly but I can't run.

I can swim. I can sing but I can't cook. Who am I? It's me!

BOL Activity: ピクショナリー

8分

- ・学級担任は、児童にPDの動作のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job, everyone! Now let's review actions!"

PD または FCs

ALT: "Let's play Pictionary!"

アクティビティアイデア :

- ・ピクショナリー : グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。答えを間違えたら、列の後ろに回り、次の人が解答する。答えが合っていたら、次の出題者になる。

Step 1 (p.42) ◎

8分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、最終的な活動を共有する。・デモンストレーションを児童に見せる。・児童は、教科書巻末の身近な人紹介カードを作る。
教材:	先生の導入:
身近な人紹介カード	HRT: "Open your textbook to page 42, Step 1." ALT: "Let's introduce someone! Please watch us!" ALT: "First, we'll make an introduction card and draw a picture..." アクティビティ例: <ul style="list-style-type: none">・身近な人の紹介カードを作って、友達に紹介しよう。・(児童の段階に応じて) お題が自由な3ヒントクイズを作らせる。(使用するフレーズは can を含む、今までに習ってきたものを使う)

Step 2 (p.42) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童は、モデルをもとにして、その人の職業やできることを英語で準備する。・児童は、モデルをもとにして、ペアで尋ねあう。
教材:	先生の導入:
身近な人紹介カード	HRT: "Let's practice the conversation." ALT: "Please watch us!" モデル文: A: Who is ~? B: He is my father. He is a baker. He can bake bread well.

Sounds and Letters: 大文字の書き取り③ (p.93)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。(大文字)・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters." ALT: "Listen carefully and write the letters!"
ふり返しシート	バリエーション: <ul style="list-style-type: none">・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1, Step 2

思(S)地域に住む身近な人について、簡単な語句や Who is this? This is ~の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

思(S)地域に住む身近な人について、簡単な語句や Who is ~? She/He is ~. She/He can ~.の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.42-43)

レッスン 目標 : 身近な人紹介カードを見せ、ショーアンドテルをしよう。

言語材料 : This is ~ . Who is ~ ? He/She is ~ . He/She can ~ . など

語彙 : 動作など(I) (PD p.18), 建物など (PD p.22), 楽器 (PD p.25), 家族・人 (PD p.17)

Greeting, Small Talk: Who is this?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "Guess who! I'll give you a quiz!"

なし

HRT: "Alright. I'm ready!"

ALT: "Question number 1, who is this? Hint: He can dance!"

HRT: "Um... Class, help me out?"

トピック例 : Can she/he ~ well?

やり取り例 : Please answer my questions! Who is this?

Let's Sing: This is my town. (p.39)

4分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Do you remember the song for this unit? Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

やりとり例 : What did you hear?

Let's Chant: ① Who is this?, ② I can swim. (p.39)

4分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together!" (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Who is this? This is Emily. This is Emily Smith. Who is this? This is Sakura. This is Ito Sakura.

Who is this? This is Mark. This is Mark Smith. Who is this? This is Yuna. This is Ito Yuna.

Chant 2

Who am I? I'm a dog. I can swim but I can't fly.

Who am I? I'm a flying fish. I can swim. I can fly but I can't run.

I can swim. I can sing but I can't cook. Who am I? It's me!

BOL Activity: ジェスチャーゲーム

10分

- ・学級担任は、児童にPDのjobsのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job, everyone! Next, look at the Picture Dictionary."

PD または FCs

ALT: "Let's play the gesture game!"

アクティビティ例 :

- ・ジェスチャーゲーム: 学級担任または、ALT は PD から単語を選び、その単語で、ジェスチャーをする。児童は、それが何かを推測して英語で答える。正解した児童は次の出題者になる。

Step 3 (p.43) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTはモデルを見童に示す。・見童は、グループごとに身近な人を紹介する。(ショーアンドテル)
教材:	先生の導入: HRT: "It's time for Show and Tell!"
教科書巻末身近な人紹介カード	ALT: "I'm so excited to hear your great introductions!" アクティビティ例: ・グループを作り、一人ひとり発表を行う。流れの確認と一緒に、発表の際に、It's my turn. や Please look at my card. などの表現や、あいさつの表現を使用するように伝える。

Sounds and Letters: アクセント ③ (p.94)

9分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.94をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。・見童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Open your textbook to page 94. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and check your pronunciation with me."
ふり返しシート	バリエーション: ・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・見童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) 地域に住む身近な人のできることについて、簡単な語句や This is ~ . She/He is ~ . She/He can ~ . の表現を用いて、お互いの情報を話している。

主(S) 地域に住む身近な人のできることについて、簡単な語句や This is ~ . She/He is ~ . She/He can ~ . の表現を用いて、お互いの情報を話そうとしている。

45 テーマ : He can bake bread well. (pp.44-45)

レッスン 目標 : 職業や家族について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : This is ~ . He/She is ~ . など

語彙 : 動作など(I) (PD p.18), 建物など (PD p.22), 楽器 (PD p.25), 家族・人 (PD p.17)

Greeting, Small Talk: Can he play soccer well?

6分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, do you know this man?"

例 : メッシの写真を見せる。

ALT: "He looks familiar... Sorry. Soccer is not very popular in my country..."

HRT: "You don't know him?! This is Messi. He is an AMAZING soccer player!"

ALT: "Oh, really? So can he play soccer well?"

HRT: "YES! OF COURSE!"

トピック例 : What can I do? (Two Truths and a Lie: 2つ真実で1つが嘘)

やり取り例 : I can ~ . I can ~ . I can ~ . Which one is a lie?

Let's Sing: This is my town. (p.39)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Do you remember the song for this unit? Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

やりとり例 : What did you hear?

Let's Chant: ① Who is this?, ② I can swim. (p.39)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えるれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together!" (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Who is this? This is Emily. This is Emily Smith. Who is this? This is Sakura. This is Ito Sakura.

Who is this? This is Mark. This is Mark Smith. Who is this? This is Yuna. This is Ito Yuna.

Chant 2

Who am I? I'm a dog. I can swim but I can't fly.

Who am I? I'm a flying fish. I can swim. I can fly but I can't run.

I can swim. I can sing but I can't cook. Who am I? It's me!

BOL Activity: メモリーゲーム

7分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "What vocabulary words did you learn in this unit?"

PD または FCS

ALT: "Let's play a memory game to review!"

アクティビティ例 :

- ・メモリーゲーム : グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Do you know? (pp.44-45)

8分

- ・思いつく職業を児童に挙げさせる。
- ・海外にある職業で、日本とは異なるものを紹介する。

教材:

先生の導入:

HRT: "What jobs do we have in Japan?"

デジタル教科書

ALT: "Teacher, soccer coach... what else? How about in other countries?"

HRT: "Open your textbook to pages 44 and 45, 'Do you know?'"

ALT: "Let's learn about people's jobs in other countries!"

参考: The 10 Weirdest Jobs in the World and What They Pay (YouTube)

Challenge (p.45) ◎

10分

- ・児童は地域の誰かを紹介する

教材:

先生の導入:

HRT: "Let's think about people in our community!"

なし

ALT: "Please pick one person that you want to introduce!"

アクティビティ例: グループになり、児童は地域や、市、県、国の誰かについて調べる。その後、知っている単語やユニットで習ったことを使い、その人について紹介をする。

Sounds and Letters: 大文字の書き取り④ (p.93)

7分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、大文字で書き取る。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材:

先生の導入:

HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters."

教科書

ALT: "Listen carefully and write the letters!"

ふり返しシート

バリエーション:

・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材:

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Challenge

主(S) 町で働く人々について、簡単な語句や This is ~ . She/He is ~ . She/He can ~ . の表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。

45 テーマ：He can bake bread well. (pp.44-45)

レッスン 目標：英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：My name is ～ . I'm ～ . I'm from ～ . I live in ～ . I like ～ . など

語彙：動作など(I) (PD p.18), 建物など (PD p.22), 楽器 (PD p.25), 家族・人 (PD p.17)

Greeting, Small Talk: What can I do?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "Hello, everyone! Quiz time! What can I do? 3 choices. 2 are true. 1 is a lie. Guess what!"

なし

HRT: "Ok, 2 are true. 1 is a lie."

ALT: "1, I can ～ . 2, I can ～ . 3, I can ～ . Which is a lie?"

HRT: "You can ～ . You can ～ . You can ～ ... Hard question!" (児童の反応を引き出す。)

Let's Sing: This is my town. (p.39)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Do you remember the song for this unit? Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

やりとり例：What did you hear?

BOL Activity: カルタ

7分

- ・学級担任とALTでUnit4で学んだ単語を確認する。

教材：先生の導入：(詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

HRT: "In this unit, we learned ～ . Let's review phrases and words!"

PD または FCs

ALT: "Now let's play karuta!"

アクティビティ例：

- ・カルタ:FCs を使ってカルタを行う。単語をそのまま読む、一部だけ読む、フレーズに入れて読む、ヒントから連想させるなどレベルに応じて、設定する。
- ・ジャンピングゲーム:児童を2チームに分ける。床にFCsを一列で置く。一人ずつ両端から、一つずつ単語を発音し、正しく言えたら次へジャンプする。相手チームの人にぶつかったら、ジャンケン。負けたら、列の後ろへ行き、次の人が同様に進む。

ことば探検 (p.44)

7分

- ・家族を表す単語の似ているところを探す。

教材：先生の導入：

(教科書を開く前に) HRT: "We have many words for family members. Brother, sister, mother... what else?!"

教科書 ALT: "Father, grandfather, grandmother... Yes, we have many words." (単語を黒板に示す)

HRT: "What do these words share?" (児童から答えを引き出す。)

辞書など

ALT: "Did you see? They all end with -er! How about 'grand'?"

HRT: "When does a father become a grandfather?" (児童から答えを引き出す。)

やり取り例：・どんな特徴があるかな?他には特徴はないのかな?日本の家族関係と海外の家族関係は違いがあるかな?

日本のすてき (p.45) ㊦

9分	<ul style="list-style-type: none">・日本のすてきを使って、リスニングをさせる。・個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to 日本のすてき." ALT: "Listen carefully! アクティビティ例: ・ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。 ・ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。
BOL ワークシート	

BOL Activity: ALT コーナー

8分	<ul style="list-style-type: none">・ALTの説明や発言について、補助をする。・自身の国の日本とは違う職業について話をしていく。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her country!" アクティビティ例: ・ALT の国で子供に人気の職業を紹介する。 ・ALT の国と日本で異なることを考えてみよう。(例: チップの制度、タクシー (Uber driver)、屋台、便利屋さん、日本の伝統工芸など)

Sounds and Letters: アクセント ㊦ (p.94)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.94をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Open your textbook to page 94. Let's check Sounds and Letters." ALT: "Listen carefully and check your pronunciation with me." バリエーション:
ふり返りシート	・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

㊦評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：Where is the post office? (pp.46-47)

レッスン 目標：場所を尋ねたり、答えたりするやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料：Where is ~ ? Go straight for ~ blocks. Turn right/left at the ~ corner. など

語彙：道案内 (PD p.23)

Greeting, Small Talk: Is this the symbol for a school?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?" ALT: "(ALT) sensei, is this the map symbol for a school in Japan?"
なし	HRT: "Well, no. This kanji (中) means it's a junior high school." ALT: "Oh, I see..." HRT: "Yes, we usually use this kanji (文) for schools on maps." ALT: "Interesting..." トピック例：What is this map symbol for? What is the map symbol for the police station? English map symbols, など やりとり例：What signs in Japan (America など) do you know? など

Let's Sing: Excuse me. (p.47)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで歌の紹介をする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's sing a song. First, let's listen."
デジタル教科書	ALT: "Yes, let's listen to 'Excuse me.'" やりとり例：What did you hear? What places could you hear? How can I get to the Midori Station? など

Word Link: 道案内 (PD p.23)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDの道案内のページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary, page 23."
PD または FCs	ALT: "Go straight. Turn left..." やりとり例： ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try 1 (p.47)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Look at the Picture Dictionary."
PD または FCs	ALT: "Let's have a treasure hunt!" (詳細は以下の例を参照してください) アクティビティ例： ・宝さがし：学級担任は、黒板に大きめの基盤の目状の地図を貼る。児童はペアになる。片方は同様の地図を持ち、後ろを向く。もう一方は黒板を見る。ALTが、黒板の地図の何か所を指さす。黒板を見ている児童は、その場所へ後ろを向いている児童を案内していく。 *地図の大きさは、児童の状況によって大きくしたり、小さくしたりする。
BOL ワークシート	(大きい地図, 小さい地図)

Let's Chant: ① Go straight. (p.47)

7分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材：先生の導入：
HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?"
デジタル教科書 Chant 1:
Go straight! One block, two blocks, three!
Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!
Go straight! One block, two blocks, three!
Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!

Starting Out (pp.46-47) ㊦

10分

- ・児童に音声を聞かせ、行先までの道順をなぞらせる。
- ・状況を確認、説明する。
- ・音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。

教材：先生の導入：
HRT: "Please look at pages 46 and 47, Starting Out."
デジタル教科書 ALT: "What do you see? Let's listen to the story carefully." やりとり例: What did you hear? Where do you want to go first? Where is he/she now? Let's listen again and check the answers.
* 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。

Sounds and Letters: 小文字の書き取り① (p.93)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、アルファベットの名前を3つ聞かせ、児童は、小文字をなぞり書きする。
- ・その後、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。
- ・児童にふり返りシートを記入させる。

教材：先生の導入：
教科書 HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and write the letters!"
ふり返りシート バリエーション：
・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし

◎評価 Starting Out

主(L) 場所のたずね方や答え方について、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：Where is the post office? (pp.46-47)

レッスン 目標：地域の人のできることについてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料：Where is ~ ? Go straight for ~ blocks. Turn right/left at the ~ corner. It's by/in/on/under ~ . など

語彙：位置 (PD p.23)

Greeting, Small Talk: What is this symbol for?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "(HRT) sensei, what is this symbol for?" (ALT points to a temple on the map.)

なし

HRT: "This kanji (時) means temple."

ALT: "Oh, I see... And what is this symbol for?" (ALT points to an onsen on the map.)

HRT: "That is an onsen."

ALT: "Yes, I can see the hot steam rising from the bath!"

トピック例：What is the map symbol for the police station? Map symbols from foreign countries, など

やり取り例：Quiz time! Guess the symbol. Please draw the symbols!

Let's Sing: Excuse me. (p.47)

5分

- ・学級担任とALTで歌の確認をする。

教材： 先生の導入：

HRT: "Let's sing a song."

デジタル教科書 ALT: "Yes, let's sing 'Excuse me.'"

アクティビティ例：

- ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。

- ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 位置 (PD p.23)

6分

- ・学級担任は、児童にPDのp.23のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材： 先生の導入： HRT: "Let's look at the Picture Dictionary, page 23."

ALT: "Where is this? ...on the desk? ...in the desk? Let's check and practice new words!"

PD または FCs やりとり例：

- ・ものを隠して(置いて)、Where is ~ ? と児童へ質問する。児童は、その場所を "It's in/on/under/by the ~ ." で答える。

Let's Try 2 (p.47)

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Let's play a finding game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・ファインディングゲーム：グループを児童に作らせる。学級担任、または ALT が Where is the ~ ? とクラスの中にあるものをクイズとして児童に投げかける。わかった児童は、英語で場所を "It is in/on/under/by ~ ." と答える。

Let's Chant: ② Turn right. (p.47)

6分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材： 先生の導入：
HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?"
デジタル教科書 Chant 2:
Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left!
Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!
Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left!
Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

Let's Watch and Think (p.47) ㊟

10分

- ・児童に音声や映像を視聴させる。

教材： 先生の導入：
HRT: "Open your textbook to page 47. Let's Watch and Think." ALT: "What did you hear?"
デジタル教科書 やりとり例：
"Before we watch the video, what is this symbol for? Guess!" "Where is he from?", "How about other symbols from foreign countries?"

Sounds and Letters: アクセント⑤ (p.94)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.94をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材： 先生の導入：
教科書 HRT: "Open your textbook to page 94. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and check pronunciation with me."
ふり返しシート バリエーション：
・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材： ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 場所や位置の尋ね方について、会話の概要を捉えようとしている。

知(L) Where is ~? Go straight for ~ block(s). It's on ~. の表現を理解している。

45 テーマ：Where is the post office? (pp.48-49)

レッスン 目標：探し物がどこにあるのか尋ねあおう。

言語材料：Where is ~ ? It's by/in/on/under ~ . など

語彙：日常生活 (PD pp.26-27)

Greeting, Small Talk: Where is my pencil?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "Have you seen my pencil? Where is my pencil?"

なし

HRT: "Looks like it's under the table."

ALT: "Oh, thank you! Wait a minute... where is my eraser?"

HRT: "...again?"

トピック例：Where is my ~ ?

やり取り例：Where is your notebook?

BOL Activity: 福笑い

6分

- ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。

教材： 先生の導入：(詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

ALT: "First, let's review..."

PD または FCs HRT: "Now let's play Fukuwarai!"

HRT: "It's kind of like 'Pin the Tail on the Donkey' in my country."

* 理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。

アクティビティ例：

- ・福笑い：ALTが目隠しをし、福笑いをする。児童は、周りからALTを英語で指示し、福笑いの完成を目指す。

参考：Google検索：「福笑いテンプレート」など

Word Link: 日常生活 (PD pp.26-27)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの日常生活のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary, pages 26 and 27. Let's check and practice!" やり取り例：

PD または FCs

- ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。

- ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

- ・カードを最後の一枚以外、見せていき、最後の一枚が何かを児童が推測する。

BOL Activity: キーワードゲーム

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材： 先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, look at these cards. Let's practice the words."

PD または FCs

ALT: "Let's play the keyword game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・キーワードゲーム：ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語をALTが読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。

→できるようになってきたら、絵だけ児童に見せて、児童が単語を発音していく。

- ・メモリーゲーム：グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Let's Listen 1 (p.48) ㊦

5分

- ・児童に教科書p.48を開くように指示する。
- ・デジタル教科書の音声を流す。

教材：

先生の導入：

HRT: "Open your textbook to page 48, Let's Listen 1."

デジタル教科書

やり取り例: "What did you hear? Where is the poster? Where is the white cat?"...

アクティビティ例: リスニングをさせる前にそれぞれのものがどこにあるのか、英語で考えさせる。

Let's Try 3 (p.48) ㊦

10分

- ・学級担任とALTで、モデル文 (Where is the ~? / It's ~ the もの.) の確認をする。
- ・学級担任とALTで、デモンストレーションを行う。
- ・学級担任とALTで、インタビュー中に苦手な子や、活動ができていない児童の支援をする。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's try to find things in the classroom! Please watch us." ... ALT: "Did you hear that? Where is the ~?" (児童の答えを確認しながら引き出す。)

デジタル教科書

インタビュー後

ALT: "Let's check answers."

アクティビティ例: ペアになる。片方が自分の教科書の絵にものを一つ足す。英語で "This is a ~. It's in/on/under/by the ~." の英語でもう片方のペアに伝える。聞いた側は、それを自身の教科書に絵で書き足す。お互いに繰り返す。

Sounds and Letters: 小文字の書き取り② (p.93)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。(小文字)
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材：

先生の導入：

HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters." (練習後)

教科書

ALT: "Listen carefully and write the letters!"

ふり返しシート

バリエーション：

・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Listen ①

思(L) 自分の知りたい位置をたずねたりするために、位置のたずね方や答え方について、会話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try ③

知(S) Where is ~? It's by/in/on/under ~. の表現について、理解している。

知(S) 位置のたずね方や答え方について、Where is ~? It's by/in/on/under ~. の表現を用いて、お互いの情報を理解している。

思(S) 自分の知りたい位置をたずねたりするために、Where is ~? It's by/in/on/under ~. の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ：Where is the post office? (pp.48-49)

レッスン 目標：地図を使って道案内をしよう。

言語材料：Where is ~? Go straight for ~ blocks. Turn right/left at the ~ corner. You can see it on your right/left. など

語彙：建物など (PD p.22)

Greeting, Small Talk: Where is (HRT) sensei?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし
 児童から答えを引き出す。
 ALT: "That's right, he/she's ON the playground."
 HRT: "(Showing a picture) "Where is (ALT) sensei?"
 児童から答えを引き出す。
 ALT: "That's right, he/she's IN the library."
 トピック例：Where is the school library?
 やり取り例："Hint one is 'dodgeball.'" "Next hint is 'on'..." "Oh, I found him!"

BOL Activity: ピクショナリー

6分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材：先生の導入：
 HRT: "Good job everyone! Next, let's review. Look at the Picture Dictionary."
 PD または FCs ALT: "Let's play Pictionary!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：
 ・ピクショナリー：グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間で単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。答えを間違えたら、列の後ろに回り、次の人が解答する。答えが合っていたら、次の出題者になる。(例："under" 先生が、犬が机の下にいる絵を描く。)

Word Link: 建物など (PD p.22)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの建物のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：
 HRT: "Look at your Picture Dictionary, page 22."

PD または FCs やりとり例：
 ・カードの一部をだんだんと見せていき、児童はカードが何かを当てる。
 ・カードを一瞬だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。

BOL Activity: 連想ゲーム

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：先生の導入：
 HRT: "Let's play the association game!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

PD または FCs *理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。アクティビティ例：
 ・連想ゲーム：建物の中から一つキーワードを決めておく。その建物のできることをジェスチャーや絵で表す。(児童の状況に応じて設定) 児童は、そのジェスチャーが表していること単語を英語で言う。
 ・Guess and point：先生が、単語の冒頭部分または、一部のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える。先生が、単語を読み、児童は、読まれた単語を指さす。(カードを使っている場合は、カードを取る)

Let's Listen 2 (p.49) ㊦

5分	<ul style="list-style-type: none">・児童に教科書p.49を開くように指示する。・ALTと表現の確認をする。・デジタル教科書の音声流す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Open your textbook to page 49, Let's Listen 2." ALT: "Now, let's review. What's this symbol for?" やり取り例:(教科書を確認しながら) What does this symbol mean? / Go straight? / Turn right? Turn left?

Let's Try 4 (p.49) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に教科書p.49を開くように指示する。・どのように活動するのか、例を実際に見せる。・単語と表現の確認をする。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Please look at page 49, Let's Try 4." ALT: "Let's give directions to your classmate." (デモンストレーションをする) やり取り例: What does this symbol mean? / Go straight? / Turn right? Turn left? バリエーション: ・ Google map を使って、道案内をペアで行わせる。

Sounds and Letters: アクセント㊦ (p.94)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.95をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Open your textbook to page 94. Let's check Sounds and Letters." (練習後)
ふり返しシート	ALT: "Listen carefully and write the letters!" バリエーション: ・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

㊦評価 Let's Listen ㊦

思(L) 自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、場所のたずね方や答え方について、会話の概要を捉えている。

㊦評価 Let's Try ㊦

知(S) Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. You can see it on your left/right. の表現について、理解している。

思(S) 自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、Where is ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. You can see it on your left/right. の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ : Where is the post office? (pp.50-51)

レッスン 目標 : お気に入りの場所やあったらいい場所について地図を使って伝え合おう。

言語材料 : Where is ~ ? Go straight for ~ blocks. Turn right/left at the ~ corner. You can see it on your right/left. など

語彙 : 道案内 (PD p.23), 位置 (PD p.23), 日常生活 (PD pp.26-27), 建物など (PD p.22)

Greeting, Small Talk: What do you want for your town?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: (bored のジェスチャーをする)

なし

ALT: "Oh, what's wrong?"

HRT: "I have nothing to do."

ALT: "I see. What do you want for your town?"

HRT: "I want Disneyland for our town! What do you want for our town?" (ALT や児童へ質問する)

トピック例 : Where do you want to go during your free time?

やり取り例 : I want a department store. We need a big park.

Let's Sing: Excuse me. (p.47)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やりとり例 : What did you hear?

Let's Chant: ① Go straight. ② Turn right. (p.47)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Go straight! One block, two blocks, three! Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!

Go straight! One block, two blocks, three! Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!

ALT: "Nice chanting! Now chant number two..."

Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left! Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left! Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

BOL Activity: Guess and Point

9分

- ・学級担任は、児童にPDの日常生活のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "First, let's review the words!"

PD または FCs

ALT: "Now let's play Guess and Point!"

アクティビティアイデア :

- ・ Guess and point : 先生が、単語の冒頭部分または、一部のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える。先生が、単語を読み、児童は、読まれた単語を指さす。(カードを使っている場合は、カードを取る)

Step 1 (p.50) ◎

9分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、最終的な活動を共有する。・児童は、p.46-47の町の地図からお気に入りの場所を探して、ペアでスタート地点を決めてから、その位置を伝え合う。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Let's give directions!" ALT: "Let's give directions to each other." アクティビティ例：
町にあったらよい場所カード	・ビデオチャット(Zoom や Meet)を使って、ALT を正しい場所へ連れて行こう! :ALT は教室とは異なる場所で待機し、児童とビデオチャットをつなぐ。 ALT が I want to go to ~ . と言い、児童はその場所へ連れていくために指示を英語で行う。

Step 2 (p.50) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・46-47ページの町の地図を使い、あったらよいと思う場所を考えて、好きなところに書かせる。・スタート地点を決めて、ペアで尋ね合わせる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Let's practice giving directions." ALT: "Please watch us." モデル文：
町にあったらよい場所カード	A: "Where is the ~ ?" B: "Turn right/left./ Go straight./ You can see it on your left/right." アクティビティ例： ・児童に Google map を開かせ、学校をスタート地点にする。ペアを組み、お互い行きたい場所を伝え、案内してもらう。これを何度か繰り返す。

Sounds and Letters: 小文字の書き取り③ (p.93)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。(小文字)・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and write the letters!" バリエーション：
ふり返しシート	・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALT は番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1

思(S) 自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、場所のたずね方や答え方について、Where is the ~ ? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

◎評価 Step 2

思(S) 自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、場所のたずね方や答え方について、Where is the ~ ? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. You can see it on your left/right. を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ : Where is the post office? (pp.50-51)

レッスン 目標 : 教室をオリジナルタウンに見立てて、カードを使って道案内をする。

言語材料 : Where is ~ ? Go straight for ~ blocks. Turn right/left at the ~ corner. You can see it on your right/left. など

語彙 : 道案内 (PD p.23), 位置 (PD p.23), 日常生活 (PD pp.26-27), 建物など (PD p.22)

Greeting, Small Talk: Where do you want to go during winter vacation?**7分**

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし HRT: "(ALT) sensei, where do you want to go during winter vacation?"

ALT: "I want to go back to my home country! I miss my family. And you?"

HRT: "I want to go some place warm... I want to go to Okinawa!"

ALT: "Nice!"

トピック例 : Where is the library in our school?

やり取り例 : I want to go to ~ ./ Where do you want to go?

Let's Sing: Excuse me. (p.47)**4分**

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書 ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やりとり例 : What did you hear?

Let's Chant: ① Go straight. ② Turn right. (p.47)**3分**

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書 Go straight! One block, two blocks, three! Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!

Go straight! One block, two blocks, three! Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!

ALT: "Nice chanting! Now chant number two..."

Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left! Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left! Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

BOL Activity: クロスワード**13分**

- ・学級担任は、児童にPDの建物のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job everyone! Next, let's practice. Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Let's do a crossword puzzle!"

アクティビティ例 :

クロスワード : 以下のサイトでクロスワードを作成、プリントを児童に配布する。時間を設定し、クロスワードをどこまで完成させられるか挑戦する。(レベルによって、ペアやグループで挑戦させる。また、始める前に、単語の復習をたくさんするようにする。)

*クロスワード作成サイト(ヒントはレベルに応じて、日本語で作成も可能) : <http://z4.azurewebsites.net/Education/Crossword#generated>

Step 3 (p.51) ◎

12分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTはモデルを見童に示す。・見童にペアを作り、やり取りを行わせる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "It's time for giving directions!" ALT: "Please give me directions!" アクティビティ例：
町にあったらよい場所カード	・ビデオチャット(Zoom や Meet)を使って、ALT を正しい場所へ連れて行こう! :ALT は教室とは異なる場所で待機し、見童とビデオチャットをつなぐ。 ALT が I want to go to ~ . と言い、見童はその場所へ連れていくために指示を英語で行う。

Sounds and Letters: 始まりの音① (p.95)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.95をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。・見童にふり返りシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "Open your textbook to page 95. Let's check Sounds and Letters." (練習後) ALT: "Listen carefully and check the accent." バリエーション：
ふり返りシート	・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・見童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) 自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、場所のたずね方や答え方について、Where is the ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. You can see it on your left/right. を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

主(S) 自分の知りたい場所をたずねたり、相手を案内したりするために、場所のたずね方や答え方について、Where is the ~? Go straight for ~ block(s). Turn left/right. You can see it on your left/right. を用いて、お互いの情報を伝え合おうとしている。

45 テーマ：Where is the post office? (pp.52-53)

レッスン 目標：地図や標識について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：Where is ~ ? Go straight for ~ blocks. We have ~ in our town. など

語彙：道案内 (PD p.23), 位置 (PD p.23), 日常生活 (PD pp.26-27), 建物など (PD p.22)

Greeting, Small Talk: Where is the station?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?" ALT: "(HRT) sensei, where is the station?"
なし	HRT: "From school? Go straight, turn right at the first corner. Go straight for two blocks. You can see it on your left." ALT: "Thank you!"

Let's Sing: Excuse me. (p.47)

3分	<ul style="list-style-type: none"> ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。 ・全員で、歌を歌わせる。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's sing!"
デジタル教科書	ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?" やりとり例：What did you hear?

Let's Chant: ① Go straight. ② Turn right. (p.47)

3分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。 ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。 ・全員で、リズムに合わせて練習をする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)
デジタル教科書	Go straight! One block, two blocks, three! Go straight! One block, two blocks, three blocks, four! Go straight! One block, two blocks, three! Go straight! One block, two blocks, three blocks, four! ALT: "Nice chanting! Now chant number two..." Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left! Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right! Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left! Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

BOL Activity: リングトス

8分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。 ・学級担任とALTで、ルール説明をする。
教材：	先生の導入： HRT: "What did you learn in this unit?"
PD または FCs	ALT: "Let's play Ring Toss to review!" アクティビティ例： ・リングトス：FCsを使って輪投げの要領で、ゲームを行う。児童は、輪を投げ、輪に入った単語を正しく発音出来たら、そのカードは投げた人のポイントになる。 ・メモリーゲーム：メモリーゲーム：グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたら自分のものになる。

Do you know? (pp.52-53)

10分	教科書を開く前に、空港や、駅などの英語の標識を児童に見せる。その際、どこにあるものなのかや、何を表しているのか尋ねる。教科書を児童に開かせ、教科書の内容を確認していく。
教材：	先生の導入： HRT: "Please look at this picture! What's this?"
デジタル教科書	ALT: "What's this? Where is this?" アクティビティ例： ・記号の意味を推測しよう：教科書を開く前に、いろいろな国の例を挙げて、その意味や、場所を推測させる。

Challenge (p.53) ◎

8分	・自分でピクトグラムを作って、発表しよう。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's make our own original pictograms!"
なし	ALT: "Yes, let's make pictograms and we'll create original karuta cards for next time." アクティビティ例： ・ピクトグラムを作って、英語で紹介しよう：This is ". What's this? ・ピクトグラムを作って、オリジナルカルタを作ろう：ピクトグラムを各児童が作る。回収し、コピーをして、札を作る。次回の授業で、グループを作って、カルタの要領でゲームを行う。 参考：Google 検索：「ピクトグラム大喜利」でオリジナルピクトグラムの例が出てきます。

Sounds and Letters: 小文字の書き取り④ (p.93)

7分	・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに、児童にランダムに3つずつ小文字を聞かせ、児童は、書き取る。 ・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入： HRT: "Open your textbook to page 93. Let's check Sounds and Letters."(練習後) ALT: "Listen carefully and write the letters!"
教科書	バリエーション：
ふり返しシート	・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Challenge

主(S)ピクトグラムでの地域紹介について、簡単な語句や We have ~ in... の表現を用いて、お互いの情報を伝え合おうとしている。

45 テーマ : Where is the post office? (pp.52-53)

レッスン 目標 : 英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : My name is ~ . I'm ~ . I'm from ~ . I live in ~ . I like ~ . など

語彙 : 道案内 (PD p.23), 位置 (PD p.23), 日常生活 (PD pp.26-27), 建物など (PD p.22)

Greeting, Small Talk: Can you read this?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "(HRT) sensei, can you read this?" (ALT から HRT へ外国の標識などを見せる)

なし

HRT: "No... I can't! What language is this?"

ALT: "It's Korean. It says... How about this one then? Can you read this?"

HRT: "Hm..."

Let's Sing: Excuse me. (p.47)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書 ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やりとり例 : What did you hear?

BOL Activity: リングトス

8分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "What did you learn in this unit?"

PD または FCs ALT: "Let's play Ring Toss to review!"

アクティビティ例 :

・リングトス : FCs を使って輪投げの要領で、ゲームを行う。児童は、輪を投げ、輪に入った単語を正しく発音出来たら、そのカードは投げた人のポイントになる。

・メモリーゲーム : グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができれば自分のものになる。

ことば探検 (p.52)

7分

- ・学級担任または、ALTは教科書を開く前に、いくつか記号を示す。
- ・児童は、それが何を意味しているか推測する。

教材 : 先生の導入 :

(教科書を開く前に) HRT: "In Japanese, we have many old symbols like this..."

教科書 ALT: "Oh, what's this? I've never seen this before."

HRT: "It's a very old hiragana character. We don't use it anymore. We write it like this now..."

辞書など ALT: "Wow! Just like hiragana evolved from old characters, English did too. Can you guess which letter this is?"

やり取り例 : ・ひらがなにも元になった文字があるように、英語にもあるので、それを推測してみよう!(まずは、ひらがなやカタカナから始め、アルファベットも導入していく)

日本のすてき (p.53) ㊦

8分	<ul style="list-style-type: none">・日本のすてきを使って、リスニングをさせ、全体で内容の確認をする。・個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。
教材:	先生の導入: "Let's listen to 日本のすてき". HRT: "Let's listen carefully!"
デジタル教科書	アクティビティ例: ・ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。
BOL ワークシート	・ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。

BOL Activity: ALT コーナー

8分	<ul style="list-style-type: none">・ALTの説明や発言について、補助をする。・自身の国にある面白い標識や、日本にはない記号などをクイズ形式などで紹介していく。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's listen to ~ sensei! ~ sensei will talk about symbols in his/her country!"
なし	アクティビティ例: ・海外標識クイズ ・海外の絵文字クイズ 参考: Google 検索: 「海外 面白 標識」、「顔文字一覧表(海外編)」など

Sounds and Letters: 始まりの音② (p.95)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.95をもとにアクセントのある場所を見童に塗りつぶさせる。・見童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入: HRT: "Open your textbook to page 95. Let's check Sounds and Letters."
教科書	(練習後) ALT: "Listen carefully and check the accent."
ふり返しシート	バリエーション: ・アクセントのない場所は、小さく拍手、アクセントのある場所で、大きく拍手をする。(体でアクセントを感じる)

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

㊦評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：What would you like? (pp.54-55)

レッスン 目標：丁寧に注文したり、値段を尋ね、やり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料：What would you like? I'd like ~ . How much is it? It's ~ yen. など

語彙：デザート (PD p.9)

Greeting, Small Talk: What food do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "(ALT) sensei, what food do you like?"

PDまたはFCs ALT: "I like (pizza)."

HRT: "Oh, you like pizza! What kind of pizza do you like?"

食べ物の写真 ALT: "I like spinach and mushroom pizza."

トピック例：What dessert do you like? What drink do you like? What fruits do you like?

やり取り例：Any other foods? Looks yummy! What flavor do you like? Where can you eat... ?

Let's Sing: What would you like? (p.55)

5分

- ・学級担任またはALTが、歌を児童に紹介する。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing a song. First, let's listen."

デジタル教科書 ALT: "Yes, let's listen to 'What would you like?'"

やり取り例：What did you hear? What food? Anything else? How about you? What would you like?

Word Link: デザート (PD p.9)

5分

- ・単語を声に出して練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's look at the Picture Dictionary, page 9."

PDまたはFCs ALT: "Wow, we have desserts here!"

やり取り例：What food do you like? What would you like to eat? Let's practice. Only say the word when it's a food you want to eat.

Let's Try 1 (p.55)

7分

- ・学級担任または、ALTは活動を通して、語彙を練習させる。

教材：先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Now look at the Picture Dictionary."

デジタル教科書 ALT: "Let's play a pointing game."

HRT: "What would you like?"

ALT: "I'd like (food). Please point to (food)!"

・ポインティングゲーム：先生が、PDの単語を読み上げ、児童は自分のPD上の単語を指さす。(ペアやグループでも可能)

・Guess and point:先生が、単語の冒頭部分のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える。先生が、単語を読み、児童は、読まれた単語を指さす。

Let's Chant: ① I'd like a hamburger. (p.55)

7分

- ・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。
- ・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。

教材：

先生の導入：

HRT: "First, please listen to the chant."

デジタル教科書

What would you like? I'd like a hamburger and a salad. A hamburger and a salad.

What would you like? I'd like ramen and juice. Ramen and juice.

What would you like? I'd like zenzai and matcha. Zenzai and matcha.

ALT: "What did you hear?"

Starting Out (pp.54-55) ㊦

10分

- ・リスニングをして、1~4の番号をA~Dの□に順番に書く。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's listen to today's story. Please look at pages 54 and 55, Starting Out."

デジタル教科書

ALT: "How many pictures? 4 pictures. Please write 1, 2, 3, 4 in the box. Listen carefully!"

やり取り例：What happened? What did you hear? What's number one? What food did he/she order? Let's listen again and check the answers. * レベルに応じて、音声を止め、内容を確認する。

Sounds and Letters: 小文字の書き取り㊦ (p.93)

5分

- ・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、アルファベットの名前を3つ聞かせ、児童は、子文字をなぞり書きする。
- ・その後、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。
- ・児童にふり返しシートを記入させる。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's check Sounds and Letters."

デジタル教科書

ALT: "Listen carefully and write the letters!"

ふり返しシート

バリエーション：

・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分

- ・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Starting Out

主(L) ていねいな表現を使って注文したり、会計をして、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：What would you like? (pp.54-55)

レッスン 目標：丁寧に注文したり、値段を尋ね、やり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料：What would you like? I'd like ~ . How much is it? It's ~ yen. など

語彙：味など (PD p.11)

Greeting, Small Talk: What dessert do you like the best?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "(ALT) sensei, what dessert do you like the best?" ALT: "I like banana splits." HRT: "What's a banana split?" ALT: "It's a banana, cut in half, with three scoops of ice cream, whipped cream, chocolate sauce, chopped nuts and a cherry!" HRT: "...Wow! I've never seen this in Japan." トピック例：What drink do you like? What fruits do you like? Do you like sunny/cloudy/snowy days? やり取り例：Do you like sweet things? How about spicy food? What food do you like?

Let's Sing: What would you like? (p.55)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで歌の確認をする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's sing!"
デジタル教科書	ALT: "Yes, let's sing 'What would you like?'" アクティビティ例： ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。 ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 味 (PD p.11)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDのp.11のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入：HRT: "Let's look at the Picture Dictionary, page 11." ALT: "What taste is this? Bitter? Sweet?"
PDまたはFCs	やりとり例： ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。 ・食べ物をいくつか挙げ、児童にその食べ物の味を答えさせる。(答えはなく、その児童の主観で答える) ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try 1 (p.55)

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： HRT: "Good job, everyone! Next, let's look at the Picture Dictionary."
PDまたはFCs	ALT: "Let's play a grouping game!" (詳細は以下の例を参照してください) アクティビティ例： ・グルーピングゲーム：児童はWhat food do you like? とお互いに尋ねあい、同じ食べ物が好きだったら、ペアになる。その後、ペアで他のペアに再度質問をして、同じ食べ物が好きであれば、グループになる。これを繰り返し、時間内にできるだけ大きなグループを作る。 ・What is this クイズ：学級担任、またはALTがWhat is this クイズを出す。児童はIs it ~? とだけ質問することができ、その答えから物が何かを推測していく。答えとなるものは、今回は食べ物のみ。

Let's Chant: ② How much is it? (p.55)

6分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT/ALT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?" Chant 2: How much? How much? How much is it? How much? How much? How much is this? How much? How much? How much is that? One hundred, two hundred, three hundred yen. Four hundred, five hundred, six hundred and more! Wow!

Let's Watch and Think (p.55) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に音声や映像を視聴させる。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's watch and think about the video." ALT: "What did you hear?" やりとり例: ・ What's the name of this food? What's triangle? Where is this food from?/ など

Sounds and Letters: 始まりの音③ (p.95)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書p.95を使い、始まりの音を確認していく。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's check Sounds and letters." ALT: "Listen carefully and check the boxes that begin with the same sound." バリエーション:
ふり返しシート	・語頭(語中、語尾)カルタ: カルタで読まれた音を含む取り札を取る。読む場所は、語頭、語中、語尾の一部のみを読む。児童は、その音と一致した文字を含むカードを推測し、読まれたカードを取る。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 世界の食べ物について、話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：What would you like? (pp.56-57)

レッスン 目標：食べたい料理を決め、丁寧な表現で注文したり、注文を受けたりしよう。

言語材料：What would you like? I'd like ~ . など

語彙：食べ物 (PD p.8), 飲み物 (PD p.9)

Greeting, Small Talk: How much is it?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, check it out!"

ALT: "Oh, what's that?"

HRT: "It's my new Apple watch."

ALT: "Wow! How much is it?"

HRT: "Well, um... It's uh... 70,000 yen!"

トピック例：How much is this? / How much are these in total?

やり取り例：I will show you a traditional food in my country. / Guess how much it is!

BOL Activity: 神経衰弱

6分

- ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。

教材：先生の導入：(詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

HRT: "Let's check words and phrases!"

PD または FCs ALT: "Now let's play Concentration!"

* 理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。

アクティビティ例：

- ・神経衰弱 (Concentration Game): 児童は、グループを作る。確認したいカードを裏面にして並べる。I'd like ~ . と言い、カードを一枚めくる。~と同じカードであれば、そのカードをもらい、異なれば、裏面に戻す。

Word Link: 食べ物 (PD p.8)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの食べ物・飲み物のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's look at the Picture Dictionary."

PD または FCs やり取り例：

- ・ランダムに単語を確認する。

- ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。

- ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

BOL Activity: リバースかるた

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, let's practice words. Look at these cards!"

PD または FCs ALT: "Let's do reverse karuta!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・リバースかるた：グループに児童を分ける。メンバーの中心に、表面を向けたカードを広げる。ALTは、1つの単語を除いたすべての単語を読む。読まれなかった単語のカードを競ってとる。(レベルに応じて、読み手を児童にするなどして、単語を発音する練習とする)

- ・メモリーゲーム：グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Let's Listen 1 (p.56) ㊦

5分

・児童は、リスニングをして、答えと一致するものに線を引く。

教材：

先生の導入：

デジタル教科書

HRT: "Please open your textbook to page 56, Let's Listen 1."

ALT: "Draw a line to connect the answers. Do you have a pencil?"

HRT: "Let's check the answers."

ALT: "What did you hear? What did Emily order?"

やり取り例：What did you hear first? / What food is this?

Let's Try 2 (p.56) ㊦

10分

・学級担任とALTで、モデル文 (What would you like? / I'd like ~) / OK. ~.)の確認をする。

・学級担任とALTで、デモンストレーションを行う。

・学級担任とALTで、インタビュー中に苦手な子や、活動ができていない児童の支援をする。

教材：

先生の導入：

デジタル教科書

HRT: "Next, Let's try 2! Let's take your classmates' orders! Please watch us."

ALT: "Did you hear that? 'What would you like?' Ok, now it's your turn!"

(活動後) ALT: "Let's hear some of your orders! Any volunteers?"

Sounds and Letters: 小文字の書き取り⑥ (p.93)

5分

・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、アルファベットの名前を3つ聞かせ、児童は、子文字をなぞり書きする。

・その後、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。

・児童にふり返りシートを記入させる。

教材：

先生の導入：

教科書

HRT: "Let's check Sounds and Letters."

(練習後)

ふり返りシート

ALT: "Listen carefully and write these three letters..."

バリエーション：

・暗号ゲーム：事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Listen ①

思(L) ていねいな表現を使って注文することについて、会話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try ②

知(S) What would you like? I'd like ~. の表現について、理解している。

知(S) 注文したりすることで、お互いの情報を伝え合う知能を身に付けている。

思(S) 簡単な語句やWhat would you like? I'd like ~. の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ：What would you like? (pp.56-57)

レッスン 目標：注文した料理の値段を尋ねあったり、メニューを考えて、値段を言おう。

言語材料：How much is it? It's ~ yen. など

語彙：数 (PD pp.4-5)

Greeting, Small Talk: How much is it?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材：	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?" HRT: "What's that, (ALT) sensei?"
なし	ALT: "This is ~, from my home country. We use it for ~." HRT: "Wow! I want one. How much is it?" ALT: "This was a gift from my family. It's priceless!" トピック例：How much is this? / How much are these in total? やり取り例：I will show you a traditional toy from my country./ Guess how much it is!

BOL Activity: ジェスチャーゲーム

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。 ・学級担任とALTで、ルール説明をする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's check words and phrases."
PD または FCs	ALT: "Now let's play a gesture game!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください) * 理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。アクティビティ例： ・ジェスチャーゲーム：先生は絵の一つを選んで、ジェスチャーをする。わかった児童は、単語を答えたり、みんなでリピートする。正解した児童は次の出題者になる。

Word Link: 数 (PD pp.4-5)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDの数のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材：	先生の導入： HRT: "Next let's look at the Picture Dictionary."
PD または FCs	やりとり例： ・ランダムに単語を確認する。 ・(Repeat after you) 児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。 ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

BOL Activity: ラッキーナンバーズ PD (pp.4-5)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材：	先生の導入： ALT: "Let's play Lucky Numbers!"
PD または FCs	アクティビティアイデア： ・ラッキーナンバーズ：指導者は、数字を5つ選ぶ。児童は、数字を同じ数だけ選び、紙に書く。指導者は自分が選んだ数字を順番に言っていき、児童はその数字が自分の選んだ数字といくつ同じか探す。 ・違いを探そう (Spot the difference): 数字を並べたカードを2種類作る。児童はペアになり、どちらかのカードを受け取る。その際、お互いカードは見せない。並んだ数字の異なる部分を口頭で探していく。(例：1枚目：1 2 3 4 5、2枚目：1 3 2 4 5)

Let's Try 3 (p.57)

7分

・ペアで会話の練習をする

教材：

先生の導入：

HRT: "Please look at page 57, Let's Try 3."

教科書

ALT: "Let's ask your classmates, 'How much?' Please watch us." (デモンストレーションをする)

やり取り例：A: "How much is the ~?" B: "It's ~ yen."

活動例：ペアになり、予算を決める。PDの食べ物、飲み物のページを見ながら、How much?, It's ~ yen. とお互いに聞いていく。値段を合計していき、予算ギリギリを狙う。

Let's Listen 2, Let's Try 4 (p.57) ◎

10分

・ALTと表現の確認をする。
・デジタル教科書の音声を流す。

教材：

先生の導入：

HRT: "Next, look at Let's Listen 2 on page 57."

デジタル教科書

ALT: "Please listen carefully. I'll say how much. Please add the two and find the total."

HRT: "Great job! everyone. Next, let's try 4."

ALT: "Now, we'll make 1000 yen menu. Open your the Picture Dictionary to page 8 to 9."

やり取り例：(教科書を確認しながら) What did you hear?/ How much is the first price?/ I'll say how much. Please add and find the total.

Sounds and Letters: 終わりの音 ① (p.95)

5分

・学級担任またはALTが、教科書p.95を使い、始まりの音を確認していく。
・児童にふり返りシートを記入させる。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's check Sounds and letters." (練習後)

教科書

ALT: "Listen carefully and check the boxes that end with the same sound."

バリエーション：

ふり返りシート

・語頭(語中、語尾)カルタ：カルタで読まれた音を含む取り札を取る。読む場所は、語頭、語中、語尾の一部のみを読む。児童は、その音と一致した文字を含むカードを推測し、読まれたカードを取る。

Goodbye

1分

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価 Let's Try ④

知(S) How much is it? It's ~ yen. の表現について、理解している。

思(S) 会計したりすることについて、How much is it? It's ~ yen. の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

45 テーマ : What would you like? (pp.58-59)

レッスン 目標 : 日本各地の名物を、ペアで注文したり、会計したりしよう。

言語材料 : What would you like ~ ? I'd like ~ . How much is it? It's ~ yen. など

語彙 : デザート (PD p.9), 味 (PD p.11), 食べ物 (PD p.8), 飲み物 (PD p.9), 数 (PD pp.4-5)

Greeting, Small Talk: How many do you want?**6分**

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "I will make curry and rice tonight!"

なし

ALT: "That sounds delicious!"

HRT: "I like to put 3 potatoes in my curry and rice! How about you? How many do you want?"

ALT: "I want 1 potato but want 3 carrots!"

トピック例 : How many ~ do you want? / やり取り例 : How many ~ do you want? Do you like ~ ? など

Let's Sing: What would you like? (p.55)**3分**

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やり取り例 : What did you hear?

Let's Chant: ① I'd like a hamburger. ② How much is it? (p.55)**3分**

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1: What would you like? I'd like a hamburger and a salad. A hamburger and a salad. A hamburger and a salad. What would you like? I'd like ramen and juice. Ramen and juice. What would you like? I'd like zenzai and matcha. Zenzai and matcha.

ALT: "Good chanting! Now let's try chant number 2..."

Chant 2: How much? How much? How much is it? How much? How much? How much is this? How much? How much? How much is that? One hundred, two hundred, three hundred yen. For hundred, five hundred, six hundred and more! Wow!

BOL Activity: チェインゲーム (pp.8-9)**9分**

- ・学級担任は、児童にPDの食べ物・飲み物のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "First, let's review vocabulary."

PD または FCs

ALT: "Now let's play the chain game! Please watch us!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

アクティビティアイデア :

- ・チェインゲーム: 児童はグループを作る。その後、グループで一人一つずつ単語を言っていく。ただし、自分の番までに出てきた単語を繰り返した後、自分の食べ物を言わなければいけない。(例 : rice → rice, curry → rice, curry, sausage...)

Step 1 (p.58) ◎

8分	・学級担任とALTが、最終的な活動を共有する。 ・都道府県の名物を選ぶ。 ・PDを使い、ペアで注文の練習をする。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's make a menu and sell food!"
PDまたはFCs	ALT: "What food is famous in your town?" (メニュー作成後)
ふるさとメニュー トレイ	HRT: "Let's check 'What would you like?' and 'I'd like ~.'" アクティビティ例: ・都道府県で有名な食べ物を売り、最高の売り上げを目指す: 児童(グループ)に1つ都道府県を割り振り、調べさせる。メニュー表(写真と値段記載)を作り、お店を開く。

Step 2 (p.58) ◎

10分	・学級担任とALTが、モデルを示す。 ・児童は、Step 1で注文したメニューの値段をPDを見ながら計算して、会計をする。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's check how much! ALT: "Use your Picture Dictionary to check the price."
PDまたはFCs	モデル文: A: How much is it? B: A ~ is ... yen. A ~ is ... yen. ... yen, please.

Sounds and Letters: 小文字の書き取り⑦ (p.93)

5分	・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、アルファベットの名前を3つ聞かせ、児童は、子文字をなぞり書きする。 ・その後、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。 ・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's check Sounds and Letters."
教科書	(練習後)
ふり返りシート	ALT: "Listen carefully and write these three letters..." バリエーション: ・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1, Step 2

思(S) ていねいな表現を使って注文したりすることについて、簡単な語句や What would you like? I'd like ~. を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

思(S) ていねいな表現を使って注文したりすることについて、簡単な語句や How much is it? や ~ is 値段. の表現を用いて、情報を伝え合っている。

45 テーマ : What would you like? (pp.58-59)

レッスン

目標 : ご当地レストランで、たくさんの友達に注文したり、会計したりしよう。

言語材料 : What would you like ~ ? I'd like ~ . How much is it? It's ~ yen. など

語彙 : デザート (PD p.9), 味 (PD p.11), 食べ物 (PD p.8), 飲み物 (PD p.9), 数 (PD pp.4-5)

Greeting, Small Talk: What do you have on Mondays?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, What do you have on Mondays?"

ALT: "I have Japanese lessons on Mondays. And you?"

HRT: "I coach the kendo club on Mondays."

トピック例 : What do you have on (曜日)?

やり取り例 : What do you have on Mondays? How about Sundays? What day do you like best? I like Saturdays. I play basketball on Saturdays.

Let's Sing: What would you like? (p.55)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やり取り例 : What did you hear?

Let's Chant: ① I'd like a hamburger. ② How much is it? (p.55)

4分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1: What would you like? I'd like a hamburger and a salad. A hamburger and a salad. A hamburger and a salad. What would you like? I'd like ramen and juice. Ramen and juice. What would you like? I'd like zenzai and matcha. Zenzai and matcha.

ALT: "Good chanting! Now let's try chant number 2..."

Chant 2: How much? How much? How much is it? How much? How much? How much is this? How much? How much? How much is that? One hundred, two hundred, three hundred yen. For hundred, five hundred, six hundred and more! Wow!

BOL Activity: 違いを探そう (PD pp.4-5)

12分

- ・学級担任は、児童にPDの数のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

ALT: "Let's play Spot the Difference."

PD または FCs

アクティビティアイデア :

・ラッキーナンバーズ: 指導者は、数字をいくつか選ぶ。児童は、数字を同じ数だけ選び、紙に書く。指導者は自分が選んだ数字を順番に言っていき、児童はその数字が自分の選んだ数字といくつ同じか探す。たくさん同じ数字を選んでいる人が勝ち。

・違いを探そう (Spot the difference): 数字を並べたカードを2種類作る。児童はペアになり、どちらかのカードを受け取る。その際、お互いカードは見せない。並んだ数字の異なる部分を口頭で探していく。(例: 1枚目: 1 2 3 4 5、2枚目: 1 3 2 4 5)

Step 3 (p.59) ◎

12分	・児童は、グループごとにレストランを準備し、食べ物を売る。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's open your restaurants!"
ふるさとメニュー トレイ	ALT: "I'm so excited to try your delicious food!" アクティビティ例： ・都道府県で有名な食べ物を売り、最高の売り上げを目指す：児童（グループ）に1つ都道府県を割り振り、調べさせる。メニュー表（写真と値段記載）
食べ物絵カード	を作り、お店を開く。

Sounds and Letters: 終わりの音 ② (p.95)

6分	・学級担任またはALTが、教科書p.95を使い、終わりの音を確認していく。 ・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's check Sounds and letters."
教科書	(練習後) ALT: "Listen carefully and check the boxes that end with the same sound."
ふり返しシート	バリエーション： ・語頭（語中、語尾）カルタ：カルタで読まれた音を含む取り札を取る。読む場所は、語頭、語中、語尾の一部のみを読む。児童は、その音と一致した文字を含むカードを推測し、読まれたカードを取る。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思（S） ていねいな表現を使って注文したりすることについて、簡単な語句や How much is it? や～ is 値段. の表現を用いて、お互いの情報を伝え合っている。

主（S） ていねいな表現を使って注文したりすることについて、簡単な語句や How much is it? や～ is 値段. の表現を用いて、お互いの情報を伝え合おうとしている。

45 テーマ：What would you like? (pp.60-61)

レッスン 目標：世界の食文化について考え、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：This is ～. It's ～. など

語彙：デザート (PD p.9), 味 (PD p.11), 食べ物 (PD p.8), 飲み物 (PD p.9), 数 (PD pp.4-5)

Greeting, Small Talk: What would you like?

6分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Today, I have many foods from foreign countries!"

(写真を見せる)

HRT: "What would you like?"

ALT: "I would like ～, please."

やり取り例：What would you like? / Do you like ～? / など

Let's Sing: What would you like? (p.55)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やり取り例：What did you hear?

Let's Chant: ① I'd like a hamburger. ② How much is it? (p.55)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1: What would you like? I'd like a hamburger and a salad. A hamburger and a salad. A hamburger and a salad. What would you like? I'd like ramen and juice. Ramen and juice. What would you like? I'd like zenzai and matcha. Zenzai and matcha.

ALT: "Good chanting! Now let's try chant number 2..."

Chant 2: How much? How much? How much is it? How much? How much? How much is this? How much? How much? How much is that? One hundred, two hundred, three hundred yen. For hundred, five hundred, six hundred and more! Wow!

BOL Activity: ピクショナリー

10分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, let's review."

PD または FCs

ALT: "Let's play Pictionary!"

アクティビティ例：

・ピクショナリー：グループを複数作らせる。児童をグループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。間違えたら、列の後ろに行き、次の児童が回答する。

Do you know? (pp.60-61)

8分	・知っている日本料理を児童に尋ねる。 ・知っている海外の料理を児童に尋ねる。 教科書を開き、Do you know?の内容を確認していく。
教材:	先生の導入: HRT: "What foods do we have in Japan?"
デジタル教科書	ALT: "Now open to page 60. What food do you see here?" HRT: "Do you know these foods?" ALT: "What foreign foods do you know?" やり取り例: Guess what! What is this? Do you know ~? What are some table manners in Japan? How about other countries? など

Challenge (p.61) ◎

8分	・地域の特産物を紹介しよう。
教材:	先生の導入: HRT: "Think about local food. What food is famous in our town?"
なし	ALT: "Where have you visited? Let's research foods from different areas." アクティビティ例: ・地元や興味のある県、外国などの名物料理や特産品を紹介しよう。 参考: Google 検索: 「世界の食事」

Sounds and Letters: 小文字の書き取り⑧ (p.93)

6分	・学級担任またはALTが、教科書P.93をもとに児童に、アルファベットの名前を3つ聞かせ、児童は、子文字をなぞり書きする。 ・その後、児童にランダムに3つずつ聞かせ、児童は、書き取る。 ・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入: HRT: "Let's check Sounds and Letters."
教科書	(練習後) ALT: "Listen carefully and write these three letters..."
ふり返りシート	バリエーション: ・暗号ゲーム: 事前にアルファベットに番号を振っておく。学級担任または、ALTは番号を言い、児童は、その番号に対応するアルファベットを順番に書いていく。アルファベットを書いていくと、単語が現れるようにし、児童は単語が何か推測する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Challenge

主(S) 地域の特産物について、簡単な語句や This is ~. It is ~. の表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。

45 テーマ : What would you like? (pp.60-61)

レッスン 目標 : 英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : My name is ~ . I'm ~ . I'm from ~ . I live in ~ . Please enjoy ~ など

語彙 : デザート (PD p.9), 味 (PD p.11), 食べ物 (PD p.8), 飲み物 (PD p.9), 数 (PD pp.4-5)

Greeting, Small Talk: What manners do you have?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材 :	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?" ALT: "I noticed that Japan has different manners than my country."
なし	HRT: "Like what, for example? What manners do you have?" ALT: "Well, in my country, people should not slurp soup." HRT: "In your country, people wear their shoes in the house!" ALT: "True..." トピック例 : What manners do you have? / What is this made of? / など

Let's Sing: What would you like? (p.55)

3分	<ul style="list-style-type: none"> ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。 ・全員で、歌を歌わせる。
教材 :	先生の導入 : HRT: "Let's sing!"
デジタル教科書	ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?" やり取り例 : What did you hear?

BOL Activity: Guess and Point

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTでUnit6で学んだ単語を確認する。 ・児童をグループに分け、活動の説明をする。
教材 :	先生の導入 : HRT: "In this unit, we learned ~ . Let's review."
PD または FCs	ALT: "Now let's play Guess and point!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください) アクティビティ例 : ・Guess and point: 先生が、単語の冒頭部分のみ発音する。児童は、発音された部分をよく聞き、どの単語か考える。先生が、単語を読み、児童は、読まれた単語を指さす。(カードを使っている場合は、カードを取る) ・ミッシングゲーム : FCs を黒板に貼る。児童は目をつぶる。先生が一つカードを抜き取る。児童は何がなくなっているか当てる。

ことば探検 (p.60)

8分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任または、ALTは教科書を開く前に、外来語で知っているものを児童に尋ねる。 ・辞書等で、教科書以外にどのような外来語があるか調べる。
教材 :	先生の導入 : (教科書を開く前に) HRT: "In Japanese, we have many words from foreign countries!"
教科書	ALT: "Yes, we have words like amefuto (アメフト), for example. Where is this word from?" HRT: "America! That's easy. What other foreign words do you know?"
辞書など	やり取り例 : ・他にどんな言葉があるか調べてみよう!

日本のすてき (p.61) ㊦

8分	<ul style="list-style-type: none">・日本のすてきを使って、リスニングをさせる。・全体で内容の確認をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen " 日本のすてき". ALT: "Listen carefully!" アクティビティ例:
BOL ワークシート	・ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。 ・ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。

BOL Activity: ALT コーナー

8分	<ul style="list-style-type: none">・ALTの説明や発言について、補助をする。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her country." アクティビティ例: ・ALT の母国の料理を紹介してもらおう。 ・日本の食べ物との違いを教えてください。(食べ方など)

Sounds and Letters: 終わりの音 ㊦ (p.95)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書p.95を使い、終わりの音を確認していく。・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's check Sounds and letters." (練習後)
ふり返りシート	ALT: "Listen carefully and check the boxes that end with the same sound." バリエーション: ・語頭(語中、語尾) カルタ: カルタで読まれた音を含む取り札を取る。読む場所は、語頭、語中、語尾の一部のみを読む。児童は、その音と一致した文字を含むカードを推測し、読まれたカードを取る。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

㊦評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : Let's introduce our community. (pp.62-63)

レッスン 目標 : 地域のおすすめの人や場所、ものを紹介するスピーチを準備しよう。

言語材料 : This is ~ . He/She is ~ . He/She can ~ . We have ~ . It's ~ . など

語彙 : 動作など(I), 建物など (PD p.22), 楽器 (PD p.25), 食べ物 (PD p.8), 味 (PD p.11), 飲み物 (PD p.9)

Greeting**4 分**

・英語を使用する雰囲気を作り、児童に授業の準備をさせる。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
児童から反応を引き出す。
なし

Let's Chant: ① Who is this?, ② I can swim. (p.39)**8 分**

・チャンツで、Unit 4で学んだことを復習させる。

教材 : Who is this? This is Emily. This is Emily Smith.
Who is this? This is Sakura. This is Ito Sakura.
デジタル教科書 Who is this? This is Mark. This is Mark Smith.
Who is this? This is Yuna. This is Ito Yuna.
Who am I? I'm a dog. I can swim but I can't fly.
Who am I? I'm a flying fish. I can swim. I can fly but I can't run.
I can swim. I can sing but I can't cook. Who am I? It's me!

Let's Chant: ③ Can you swim fast?, ④ She can sing well. (p.39)**8 分**

・チャンツで、Unit 4で学んだことを復習させる。

教材 : Can you run? No, I can't. I can't run, but I can fly.
Can you swim? Yes, I can. I can swim fast. Can you swim fast?
デジタル教科書 No, I can't. I can't swim fast, but I can run fast!
This is my friend, Emily. She can play soccer well. She can speak English well. She can sing well and she is so kind.
This is my father, Mark Smith. He is a baker. He can bake bread well. He can swim fast and he is so cool.

Let's Chant: ① Go straight., ② Turn right. (p.47)**8 分**

・チャンツで、Unit 5で学んだことを復習させる。

教材 : Go straight! One block, two blocks, three!
Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!
デジタル教科書 Go straight! One block, two blocks, three!
Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!
Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left!
Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!
Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left!
Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

Let's Chant: ① I'd like a hamburger., ② How much is it? (p.55)

8分

・チャンツで、Unit 6で学んだことを復習させる。

教材：

What would you like? I'd like a hamburger and a salad. A hamburger and a salad.

What would you like? I'd like ramen and juice. Ramen and juice.

デジタル教科書

What would you like? I'd like zenzai and matcha. Zenzai and matcha.

How much? How much? How much is it? How much? How much? How much is this? How much? How much is that?

One hundred, two hundred, three hundred yen. Four hundred, five hundred, six hundred and more! Wow!

HOP (p.63)

4分

・Unit 4～6で学んだ表現を復習させる。

教材：

ALT: "Let's review the cards on pages 62 and 63, and look back over what you've learned."

児童は、Unit 4～6で練習したスピーチや会話を再度練習する。

デジタル教科書

ALTはデモンストレーションのビデオを見せる。

ALT: "Imagine a visitor from another country comes to our school. What would you tell them about our town?"

PD

児童は、地域で紹介したいものや、使うべき表現を考える。

STEP (p.63)

4分

・児童に英語での地元でおすすめのものを紹介する方法を考えさせる。

教材：

スピーチをデモンストレーションする。

ALT: "Hello. This is oyaki. Oyaki are Japanese dumplings. You can buy oyaki in Nagano They're delicious! Thank you!"

デジタル教科書

学級担任またはALTが、地域のパンフレット用の紙を配布する。

ALT: "You can find expressions for your pamphlet on pages 62 and 63."

紙

HRT: "Please introduce something you like about our town to someone from another country."

児童は、メッセージを伝える練習をする。

Goodbye

1分

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材：

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価

知(S) Unit 1～3で学習した表現やその関連語句について、理解している。

知(S) 建物、人、特産物について、Unit 1～3で学習した表現やその関連語句を用いて、考えや気持ちを話す知能を身に付けている。

思(S) 地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物、人、特産物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちを話している。

思(S) 地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物、人、特産物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ち話そうとしている。

45 テーマ：Let's introduce our community. (pp.62-63)

レッスン 目標：地元でおすすめの人や場所、ものを紹介するスピーチをしよう。

言語材料：This is ～ . He/She is ～ . He/She can ～ . We have ～ . It's ～ . など

語彙：動作など(I), 建物など (PD p.22), 楽器 (PD p.25), 食べ物 (PD p.8), 味 (PD p.11), 飲み物 (PD p.9)

Greeting**5分**

・英語を使用する雰囲気を作り、児童に授業の準備をさせる。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
児童から反応を引き出す。

なし

Let's Chant: ① Who is this?, ② I can swim. (p.39)**8分**

・チャンツで、Unit 4で学んだことを復習させる。

教材： Who is this? This is Emily. This is Emily Smith.
Who is this? This is Sakura. This is Ito Sakura.
デジタル教科書 Who is this? This is Mark. This is Mark Smith.
Who is this? This is Yuna. This is Ito Yuna.
Who am I? I'm a dog. I can swim but I can't fly.
Who am I? I'm a flying fish. I can swim. I can fly but I can't run.
I can swim. I can sing but I can't cook. Who am I? It's me!

Let's Chant: ③ Can you swim fast?, ④ She can sing well. (p.39)**8分**

・チャンツで、Unit 4で学んだことを復習させる。

教材： Can you run? No, I can't. I can't run, but I can fly.
Can you swim? Yes, I can. I can swim fast. Can you swim fast?
デジタル教科書 No, I can't. I can't swim fast, but I can run fast!
This is my friend, Emily. She can play soccer well. She can speak English well. She can sing well and she is so kind.
This is my father, Mark Smith. He is a baker. He can bake bread well. He can swim fast and he is so cool.

Let's Chant: ① Go straight., ② Turn right. (p.47)**8分**

・チャンツで、Unit 5で学んだことを復習させる。

教材： Go straight! One block, two blocks, three!
Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!
デジタル教科書 Go straight! One block, two blocks, three!
Go straight! One block, two blocks, three blocks, four!
Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left!
Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!
Turn right, turn left, turn right! You can see it on your left!
Turn left, turn right, turn left! You can see it on your right!

Let's Chant: ① I'd like a hamburger., ② How much is it? (p.55)

8分

・チャンツで、Unit 6で学んだことを復習させる。

教材:

What would you like? I'd like a hamburger and a salad. A hamburger and a salad.

What would you like? I'd like ramen and juice. Ramen and juice.

デジタル教科書

What would you like? I'd like zenzai and matcha. Zenzai and matcha.

How much? How much? How much is it? How much? How much? How much is this? How much? How much is that?

One hundred, two hundred, three hundred yen. Four hundred, five hundred, six hundred and more! Wow!

JUMP (p.63)

7分

・児童に、英語で地元でおすすめのことをスピーチで紹介させる。

教材:

ALTはおすすめのものの紹介のデモンストレーションをする。デモンストレーションが終わったら、学級担任に質問をしてもらう。また、評価基準を示してもらう。

デジタル教科書

さらに、自己評価の2つの

自己評価の2つのポイントを63ページの振り返り(スピーチの内容と伝える工夫)について確認する。

ALT: "Please practice reading your recommendation out loud. Think about 'Topic' and 'Communication'."

児童は声に出して練習をする。

HRT: "Now let's get into groups and introduce our recommendations."

ALT: "When it's your turn to listen, please remember to ask questions at the end."

学級担任とALTは、机間巡視をする。また、児童はグループでメッセージを伝える。活動の途中で、児童を評価する。

時間が許せば、児童にグループを変えて再度行わせる。

Goodbye

1分

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。

教材:

ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

なし

◎評価

知(S) Unit 1~3で学習した表現やその関連語句について、理解している。

知(S) 建物、人、特産物について、Unit 1~3で学習した表現やその関連語句を用いて、考えや気持ちを話す知能を身に付けている。

思(S) 地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物、人、特産物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちを話している。

思(S) 地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物、人、特産物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ち話そうとしている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.66-67)

レッスン 目標 : 日本の四季や文化についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料 : Why do you like ~ ? We have ~ . What do you do ~ ? I usually ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14)

Greeting, Small Talk: What do you do on New Year's Day?**6分**

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "Happy New Year! What do you do on New Year's Day?"

なし

ALT: "I go to a restaurant with my friends. What do you do on New Year's Day in Japan?"

HRT: "I watch the sun rise and go to a shrine."

トピック例 : What do you do on ~ ? / What did you do on ~ ? / など

Let's Sing: Yokoso! (p.67)**5分**

- ・学級担任とALTで歌の紹介をする。

教材 :

先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song. First, please listen."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's listen to 'Yokoso!'"

やりとり例 : What did you hear? / What events did you hear? / What can you do on New Year's Day? /

Word Link: 季節 PD (p.14)**6分**

- ・学級担任は、児童にPDの季節のページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。

教材 :

先生の導入 :

HRT: "Let's look at the Picture Dictionary."

PD または FCs

やりとり例 :

- ・カードの一部をだんだんと見せていき、児童はカードが何かを当てる。
- ・カードを最後の一枚以外、見せていき、最後の一枚が何かを児童が推測する。

Let's Try 1 (p.67)**6分**

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 :

先生の導入 :

HRT: "Good job everyone! Next, let's look at the Picture Dictionary."

PD または FCs

ALT: "Let's play the association game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例 :

- ・連想ゲーム : ALT が季節にまつわる単語を英語で挙げていく。それを聞いて、児童は、どの季節の話をしているのか当てる。

(例 : 春 : Flowers, Peach, Wind, Goodbye...)

- ・キーワードゲーム : ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語をALTが読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。

*児童が慣れてきたら、絵を見せて、児童に単語を読ませる。

Let's Chant: ① Why do you like winter? (p.67)

6分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's chant! First, please listen." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?" Chant 1: Why do you like winter? We have new Year's Day in winter. New Year's Day, New Year's Day. We have New Year's Day in winter. Why do you like spring? Why do you like summer? Why do you like fall? Why do you like fall?

Starting Out (pp.66-67) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に音声を聞かせ、A~Eに番号を書かせる。・状況を確認、説明する。・音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Please look at pages 66 to 67, Starting Out. Listen carefully to the story." * 児童の理解度によっては、音声を止め、内容をゆっくり確認することで、理解を促す。 やりとり例: What did you hear? / What are they talking about? / Let's listen again and check the answers.

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のAnimal Jingleを使い、Aa~Ccの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters. A, /a/, ant! B, /b/, bear! C, /c/, cow!" HRT: "Today, let's check A, B, and C and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? A! What sound does it make? /a/!"
ふり返りシート	バリエーション: ・今まで習ってきた単語から、Aの名前で発音する単語、音で発音する単語を見つけさせる。(例: skating, cake, shaved ice/ apple, art, aquarium, always...) * 児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Starting Out

主(L) 日本の四季や文化について、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.66-67)

レッスン 目標 : 日本の四季や文化についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料 : Why do you like ~ ? We have ~ . What do you do ~ ? I usually ~ . など

語彙 : 形 (PD p.6)

Greeting, Small Talk: What do you do on New Year's Day in (ALT)'s country?

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材 :	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
なし	HRT: "I go to a shrine on New Year's Day. What do you do on New Year's Day in your country, (ALT) sensei?"
	ALT: "My country? Nothing special... I usually go to a restaurant with friends."
	HRT: "Really? In Japan, many restaurants are closed on New Year's Day."
	トピック例 : What do you do on ~ ? / What did you do on ~ ? / など

Let's Sing: Yokoso! (p.67)

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで歌の確認をする。
教材 :	先生の導入 :
	HRT: "Let's sing a song."
デジタル教科書	ALT: "Yes, let's sing 'Yokoso!'"
	アクティビティ例 :
	・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。
	・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 形 PD (p.6)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任は、児童にPDの形のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。
教材 :	先生の導入 : HRT: "Let's look at the Picture Dictionary."
PD または FCs	ALT: "Let's practice new words. What shape is this?"
	やりとり例 :
	・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。
	・カードを一瞬だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。
	・ミッシングゲーム : FCs を黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try I (p.67)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。
教材 :	先生の導入 :
PD または FCs	HRT: "Good job everyone! Now look at the Picture Dictionary. First, let's review words!"
	ALT: "Let's play the monster game! Please watch us!" (詳細は以下の例を参照してください)
	アクティビティ例 :
	・モンスターゲーム : 児童に白紙の紙を一枚渡す。体の部位や形を ALT が伝え、児童は、それに応じて絵を描いていく。
	・メモリーゲーム : グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Let's Chant: ② What do you do on New Year's Day? (p.67)

6分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?" Chant 2: What do you do on New Year's Day? Me? Yes, you! I usually play Karuta. What do you do in spring? We usually see cherry blossoms. What do you do in summer? We usually dance bon-odori. What do you do in fall? We usually see the moon.

Let's Watch and Think (p.67) ©

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に音声や映像を視聴させる。・児童がわからない箇所があれば、音声をジェスチャーと一緒にゆっくり繰り返す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's watch and think." 動画を流す。 ALT: "What did you hear?" やりとり例: ・ What's the name of this food? Where is this food from? など

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のAnimal Jingleを使い、Dd~Ffの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters. D, /d/, dog! E, /e/, elephant! F, /f/, fish!" HRT: "Today, let's check D, E, and F and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? E! What sound does it make? /e/!"
ふり返りシート	バリエーション: ・今まで習ってきた単語から、Eの名前で発音する単語、音で発音する単語を見つけさせる。(例: eat, reading, Japanese /pen, entrance, restroom...) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Watch and Think

主(L) 日本の食べ物とその海外での人気について、話の概要を捉えようとしている。

知(L) We have ~ . I usually ~ . の表現について、理解している。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.68-69)

レッスン 目標 : 日本の遊びや年中行事について聞き、クイズを出し合おう。

言語材料 : We have ~ . You can ~ . It's ~ . など

語彙 : 遊びなど (PD p.27)

Greeting, Small Talk: What season do you like?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, what season is it?"

ALT: "It's winter."

HRT: "That's right! It's winter! Let's go skiing!"

ALT: "Oh, you're excited! Do you like winter?"

HRT: "Yes, I like winter. How about you? What season do you like?"

トピック例 : How many season does your country have and what season do you like? / など

やり取り例 : My birthday is ~ so I like ~ season. / What season do you like? / Do you like ~ ? / など

BOL Activity: グルーピングゲーム

7分

- ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's check words and phrases!"

PD または FCs ALT: "Now let's play a grouping game!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

* 理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。

アクティビティ例 :

・グルーピングゲーム : 児童は、季節のうち一つを選ぶ。クラス内で、インタビューゲームを行いながら、4つのグループを作っていく。

(インタビュー : Do you like winter? → Yes なら、一緒になり、次のインタビューへ。No なら、そのまま次の人へインタビューをし、仲間を見つけていく。)

・キーワードゲーム : ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語を ALT が読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。

Word Link: 遊びなど (PD p.27)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの遊びなどのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Look at the Picture Dictionary. Let's practice!"

PD または FCs やり取り例 :

・カードを一枚ずつ、見せていき、児童は、カードの順番を覚えて、一つずつ発音していく。

・カードの一部をだんだん見せていき、児童はカードが何かを当てる。

BOL Activity: 連想カルタ

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job, everyone! Next, please look at these cards!"

PD または FCs ALT: "Let's play Associative Karuta!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例 :

・連想カルタ : グループを作らせる。カルタと同様、カードを広げる。ALT が読み札を読むが、単語をそのまま読まず、連想される単語を言う。

(例 : tag: run, touch, ice, color など)

・メモリーゲーム : グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Let's Listen 1 (p.68)

5分	<ul style="list-style-type: none">・児童に教科書p.68を開くように指示する。・デジタル教科書の音声を流す。・児童の理解度に応じて、繰り返したり、ゆっくり読んだり、単語を確認する。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Next, Let's Listen 1, Page 68." 音声を流す。 ALT: "What did you hear?" やり取り例: What did you hear first? / What play is this? / Do you know any other traditional plays from Japan?

Let's Listen 2 (p.68) ©

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に、絵の年中行事が何を表しているか考えさせる。・児童にLet's Listen 2を聞かせる。(3ヒントクイズ)
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's Listen 2!" ALT: "There are two quizzes so please listen carefully." やり取り例: What event is this? / What's this? / What is the first hint? / など

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のAnimal Jingleを使い、Gg~Iiの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters. G, /g/, gorilla! H, /h/, horse! I, /i/, iguana!" HRT: "Today, let's check G, H, and I and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? I! What sound does it make? /i/!"
ふり返しシート	バリエーション: ・今まで習ってきた単語から、Iの名前で発音する単語、音で発音する単語を見つけさせる。(例: spicy, fine, ice cream /scissors, fish, broccoli...) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Let's Listen ②

思(L) 日本の遊びや年中行事について、短い話の概要を捉えている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.68-69)

レッスン 目標 : 日本の年中行事であることなどについて尋ねあおう。

言語材料 : We have ~ . You can ~ . It's ~ . What do you do ~ ? I usually ~ . など

語彙 : 年中行事 (PD p.28)

Greeting, Small Talk: How many seasons does your country have?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "How many seasons does Japan have?"

なし

HRT: "We have 4 seasons. Spring, summer, fall and winter."

ALT: "What about the rainy season? And typhoon season?"

HRT: "Well, um..."

やり取り例 : Guess how many season ALT の出身国 has./ What do you do in winter season? / など

Word Link: 年中行事 (PD p.28)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの年中行事のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Look at the Picture Dictionary. Let's practice!"

PD または FCs

やりとり例 :

- ・ランダムに単語を確認する。

・(Repeat after you) 児童が、単語を発音し、ALT が児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。

・ミッシングゲーム : FCs を黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

BOL Activity: 連想ゲーム

9分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's play the association game!"

PD または FCs

アクティビティアイデア :

・連想ゲーム : ALT が年中行事にまつわる単語を英語で挙げていく。それを聞いて、児童は、どの年中行事の話をしているのか当てる。

・ピクショナリー : グループを複数作らせる。児童をグループごとに 1 列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALT が 10 秒間で FCs の単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。答えを間違えたら、列の後ろに回り、次の人が解答する。答えが合っていたら、次の出題者になる。

Let's Listen 3 (p.69)

5分

- ・児童に教科書p. 69を開くように指示する。
- ・みんなで行事とその日付について確認をする。
- ・答えをデジタル教科書で確認する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Open your textbook to page 69, Let's Listen 3."

教科書

ALT: "Do you have a pencil? Draw a line to connect the answer."

やり取り例 : What's New Year's Day? What's New Year's Eve?

Have you heard "eve" before? (Christmas Eve) What does it mean? など

アクティビティ例 : 児童に Listening をさせる前に、答えを推測させる。

Let's try 3 (p.69) ◎

5分

教材:

デジタル教科書

・児童に教科書p.69を開くように指示する。
・ALTと表現の確認をする。(We have ~. You can eat/see/play...)
・デジタル教科書で流れを確認する。
先生の導入:
HRT: "Open your textbook to page 69, Let's Try 3."
ALT: "Please listen check the expressions."
やり取り例: We have ~ in (season). You can eat/see/play... It's ~. / など

Let's Try 4 (p.69) ◎

10分

教材:

デジタル教科書

・日本のイベントについてクラスメートに話す。
・行事で食べられるものやできることを共有する。
・ALTと表現の確認をする。(What do you do on New Year's Day? / I usually play/ eat...)
先生の導入:
HRT: "Next, Let's Try 4."
ALT: "Let's talk about a Japanese event with one of your classmates!"
アクティビティ例:
・行事を考えさせるときに、ALTの国の行事について紹介する。
参考: Youtubeの検索: "New Year in 国", "Santa claus in Australia" など

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分

教材:

教科書

ふり返しシート

・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。
・教科書のAnimal Jingleを使い、Jj ~ Llの音声や映像を視聴させる。
・児童にふり返しシートを記入させる。
先生の導入:
HRT: "First, let's check Sounds and Letters. J, /j/, jaguar! K, /k/, koala! L, /l/, lion!"
HRT: "Today, let's check J, K and L and their sounds. We already learned their names."
ALT: "What letter is this? L! What sound does it make? /l!"
バリエーション:
Lの文字が入っている単語を児童に考えさせる。(例: elephant, lion...)
黒板にLの文字を省いて書き、絵を簡単に書く。(例: e_ elephant, _ion...) 児童は、抜けている文字を埋める。
*児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分

教材:

なし

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

◎評価 Let's Listen ③

思(L) 日本の年中行事や月日について、短い話の概要を捉えている。

◎評価 Let's Try ④

知(S) What do you do ~? I usually ~. の表現について、理解している。

思(S) 日本の年中行事について、What do you do ~? I usually ~. の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.70-71)

レッスン 目標 : 好きな季節やその理由、行事でどんなことをするかを尋ねあおう。

言語材料 : Why do you like ~ ? We have ~ . What do you do ~ ? I usually ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14), 形 (PD p.6), 遊びなど (PD p.27), 年中行事 (PD p.28)

Greeting, Small Talk: What do you enjoy in winter?**5 分**

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Do you remember? I like winter. I like ~ ."

ALT: "You like skiing!"

HRT: "Yes! I like skiing! What do you enjoy in winter?"

ALT: "I enjoy Christmas shopping and giving presents!"

トピック例 : What do you enjoy in spring/ summer/ fall? / など

やり取り例 : What do you usually do in 季節 ? / Do you like ~ ? / など

Let's Sing: Yokoso! (p.67)**3 分**

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

Let's Chant: ① Why do you like winter? ② What do you do on New Year's Day? (p.67)**3 分**

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Why do you like winter? We have new Year's Day in winter. New Year's Day, New Year's Day. We have New Year's Day in winter.

Why do you like spring? Why do you like summer? Why do you like fall? Why do you like fall?

HRT: "Nice! Now chant number two..."

Chant 2:

What do you do on New Year's Day? Me? Yes, you! I usually play Karuta. What do you do in spring? We usually see cherry blossoms. What do you do in summer? We usually dance bon-odori. What do you do in fall? We usually see the moon.

BOL Activity: モンスターゲーム**8 分**

- ・学級担任は、児童にPDの形のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "First, let's review words!"

PD または FCs

ALT: "Let's play the monster game! Please watch us!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

アクティビティアイデア :

- ・モンスターゲーム : 児童に白紙の紙を一枚渡す。体の部位や形を ALT が伝え、児童は、それに応じて絵を描いていく。
- ・メモリーゲーム : グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Step 1 (p.70) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、最終的な活動を共有する。・学級担任とALTが、モデルを示す。・児童に表現の確認をペアでさせる。
教材:	先生の導入:
教科書	ALT: "I want to do something special in Japan but I have no idea!" HRT: "I see... Class, let's introduce the seasons in Japan!" ALT: "Thank you! First, let's review words and phrases. ~ sensei, why do you like spring/ summer/ fall/ winter?" HRT: "We have ~ in spring/ summer/ fall/ winter!"
日本の四季 ポストカード	アクティビティ例: ・ALTに日本の四季を紹介しよう: 4つのグループになり、1グループ1つの季節を担当し、日本の四季をALTに紹介する。最終的に、どの季節が好きだったかALTに選んでもらおう。

Step 2 (p.70) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童は、ペアになり、季節に行う行事でどんなことをするか尋ね合わせる。・児童に表現の確認をペアでさせる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's introduce the seasons!" ALT: "Let's brainstorm and get many ideas! What do you have in winter?" HRT: "Christmas, New Year's Day... Good!" ALT: "What do you usually do on New Year's Day?" HRT: "I usually play Karuta."
日本の四季 ポストカード	モデル文: A: What do you do on ~ ? B: We have ~ in winter./ We(I) usually .../ It's ~ ./

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のAnimal Jingleを使い、Mm~Ooの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters. M, /m/, monkey! N, /n/, newt! O, /o/, ox!" HRT: "Today, let's check M, N, and O and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? O! What sound does it make? /o/!"
ふり返しシート	バリエーション: ・今まで習ってきた単語から、Oの名前で発音する単語、音で発音する単語を見つけさせる。(例: uniform, gloves, homework/ do, cook, two...) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step1, Step 2

思(S)好きな季節やその理由について、簡単な語句や Why do you like ~? We have ~ in ... の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

思(S)季節で行う行事について、簡単な語句や What do you do on ~? I usually ~ . の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.70-71)

レッスン 目標 : ALT に日本の四季を紹介しよう。

言語材料 : Why do you like ~ ? We have ~ . What do you do ~ ? I usually ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14), 形 (PD p.6), 遊びなど (PD p.27), 年中行事 (PD p.28)

Greeting, Small Talk: What do you enjoy in spring?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "(ALT) sensei, in winter you enjoy Christmas presents. What do you enjoy in spring?"

なし ALT: "In spring? Hm... I enjoy flowers. And you?"

HRT: "I do too. I enjoy hanami. I usually go to the park."

ALT: "That sounds wonderful!"

トピック例 : What do you enjoy in spring/ summer/ fall? / など

やり取り例 : What do you usually do in 季節 ? / Do you like ~ ? / など

Let's Sing: Yokoso! (p.67)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song!"

デジタル教科書 ALT: "Sing slowly with me!"

Let's Chant: ① Why do you like winter? ② What do you do on New Year's Day? (p.67)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Why do you like winter? We have new Year's Day in winter. New Year's Day, New Year's Day. We have New Year's Day in winter.

Why do you like spring? Why do you like summer? Why do you like fall? Why do you like fall?

HRT: "Nice! Now chant number two..."

Chant 2:

What do you do on New Year's Day? Me? Yes, you! I usually play Karuta. What do you do in spring? We usually see cherry blossoms. What do you do in summer? We usually dance bon-odori. What do you do in fall? We usually see the moon.

BOL Activity: シャレード

12分

- ・学級担任は、児童にPDの遊びなどのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's play Charades!"

PD または FCs アクティビティアイデア :

- ・シャレード : グループに分け、グループ内で順番を決める。1番の人がFCsに書かれた単語をジェスチャーで表し、残りの人が当てる。当てた人は次にジェスチャーをする。

Step 3 (p.71) ◎

12分	・児童は、完成したポストカードを見せながら、外国の友達に紹介するつもりでプレゼンテーションする。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's present the seasons!"
教科書	ALT: "I'm so excited to hear your presentations!" アクティビティ例：
日本の四季 ポストカード	・ALT に日本の四季を紹介しよう：4つのグループになり、1グループ1つの季節を担当し、日本の四季を ALT に紹介する。最終的に、どの季節が好きだったか ALT に選んでもらおう。

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

7分	・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。 ・教科書のAnimal Jingleを使い、Pp~Ssの音声や映像を視聴させる。 ・児童にふり返りシートを記入させる。
教材：	先生の導入： HRT: "First, let's check Sounds and Letters. P, /p/, pig! Q, /q/, quail! R, /r/, rabbit! S, /s/, seal!"
教科書	HRT: "Today, let's check P, Q, R, and S and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? R! What sound does it make? /r/!"
ふり返りシート	バリエーション： ・Rの文字が入っている単語を児童に考えさせる。(例：rabbit, tiger...) 黒板にRの文字を省いて書き、絵を簡単に書く。(例：_abbit, tige_...) 児童は、抜けている文字を埋める。 *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) 簡単な語句や Unit で習った表現を用いて、好きな季節や行事、その理由、行事であることを話している。

主(S) 簡単な語句や Unit で習った表現を用いて、好きな季節や行事、その理由、行事であることを話そうとしている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.72-73)

レッスン 目標 : 世界に広がる日本文化を学び、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : You have ~ . Do you like ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14), 形 (PD p.6), 遊びなど (PD p.27), 年中行事 (PD p.28)

Greeting, Small Talk: What part of Japanese culture do you like?**5 分**

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "What part of Japanese culture do you like?"

なし

ALT: "I like Japanese wooden buildings, like Horyuji. What part of Japanese culture do you like?"

HRT: "I like kendo. I coach the kendo club."

トピック例 : Culture in my country. (ALT の国の遊びや食べ物などの文化を紹介する。)

Let's Sing: Yokoso! (p.67)**3 分**

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing a song!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me!"

Let's Chant: ① Why do you like winter? ② What do you do on New Year's Day? (p.67)**3 分**

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Why do you like winter? We have new Year's Day in winter. New Year's Day, New Year's Day. We have New Year's Day in winter.

Why do you like spring? Why do you like summer? Why do you like fall? Why do you like fall?

HRT: "Nice! Now chant number two..."

Chant 2:

What do you do on New Year's Day? Me? Yes, you! I usually play Karuta. What do you do in spring? We usually see cherry blossoms. What do you do in summer? We usually dance bon-odori. What do you do in fall? We usually see the moon.

BOL Activity: ピクショナリー**8 分**

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job everyone! Next, let's review. Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs

ALT: "Let's play Pictionary!"

アクティビティ例 :

・ピクショナリー : グループを複数作らせる。児童をグループごとに 1 列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALT が 10 秒間で FCs の単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。答えを間違えたら、列の後ろに回り、次の人が解答する。答えが合っていたら、次の出題者になる。

Do you know? (pp.72-73)

10分	・日本文化で知っているものを児童に挙げさせる。 教科書を開き、内容を確認する。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "What do you know about Japanese culture?" HRT: "(ALT) sensei came to Japan from their country. What part of Japanese culture they will like?" ALT: "Please teach me about Japanese culture." やり取り例: Guess what! What is this? What are they doing? Why do they have these manners? など 参考: グーグル検索: 「日本を訪れる理由」

Challenge (p.73) ◎

10分	・日本の遊びを紹介しよう。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's play a Japanese game with (ALT) sensei." ALT: "Please teach me some traditional Japanese games!" アクティビティ例: ・日本の遊びを ALT と実際にやってみる。また、やり方を ALT へ説明する。例: 折り紙 参考: グーグル検索: 「昔の遊び・日本の伝統遊び」

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分	・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。 ・教科書のAnimal Jingleを使い、Tt~Wwの音声や映像を視聴させる。 ・児童にふり返りシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters." T, /t/, tiger! U, /u/, duck! V, /v/, vulture! W, /w/, wolf!" HRT: "Today, let's check T, U, V and W and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? U! What sound does it make? /u/!"
ふり返りシート	バリエーション: ・今まで習ってきた単語から、Uの名前で発音する単語、音で発音する単語を見つけさせる。(例: cute, museum, education /bus, turn, under...) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Challenge

主(S) 日本文化について、簡単な語句や This is ~ . It's ~ . の表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。

45 テーマ : Welcome to Japan. (pp.72-73)

レッスン 目標 : 英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料 : My name is ~ . I'm ~ . I'm from ~ . I live in ~ . Please enjoy ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14), 形 (PD p.6), 遊びなど (PD p.27), 年中行事 (PD p.28)

Greeting, Small Talk: What's important in (ALT)'s culture?

5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。 ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。 ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。
教材 :	HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?" ALT: "Thank you for teaching me about Japanese culture last lesson. Today, I will tell you about my culture!"
なし	HRT: "(ALT) sensei, what culture do you have in your country?" ALT: "We have art like... and music like... and food like..." HRT: "Wonderful! It's all very interesting."

Let's Sing: Yokoso! (p.67)

3分	<ul style="list-style-type: none"> ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。 ・全員で、歌を歌わせる。
教材 :	先生の導入 :
デジタル教科書	HRT: "Let's sing a song!" ALT: "Sing slowly with me!"

BOL Activity: カルタ

7分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任とALTでUnit7で学んだ単語を確認する。 ・児童をグループに分け、活動の説明をする。
教材 :	先生の導入 : 詳細は以下の活動アイデアを参照してください HRT: "Let's check phrases and words! ALT: "In this unit, we learned ~ . Let's review."
PD または FCs	ALT: "Now let's play Karuta!" アクティビティ例 : ・カルタ:FCs を使ってカルタを行う。単語をそのまま読む、一部だけ読む、フレーズに入れて読む、ヒントから連想させるなどレベルに応じて、設定する。 ・ジャンピングゲーム:児童を二つのグループに分ける。床にFCsを並べる。両端にグループごとに集まり、列を作る。ゲームをスタートしたら、各グループから1名が、FCsを読みながら、前に進む。2人が同じカードまで来たら、じゃんけんをし、勝者は前に進み、敗者はグループの一番後ろに回り、次の児童が前に進む。どちらかのグループの児童が相手チームまでたどりつくまで活動を続ける。

ことば探検 (p.72)

6分	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に、教科書を開く前に、日本語がそのまま英語に使われている単語を挙げさせる。 ・外来語の復習をする。
教材 :	先生の導入 :
教科書	(教科書を開く前に) ALT: "We use some Japanese words in English. Do you know any?" ALT: "Karaoke, sumo, sushi... Good job!"
辞書など	HRT: "Let's check the Japanese words used in English. Open your textbook to page 72." やり取り例 : ・他にどんな言葉があるか調べてみよう!

日本のすてき (p.73) ©

10分	<ul style="list-style-type: none">日本のすてきを使って、リスニングをさせる。個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。全体で内容の確認をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to " 日本のすてき." ALT: "Listen carefully!" アクティビティ例:
BOL ワークシート	<ul style="list-style-type: none">ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。ALTが、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。 参考: グーグル検索:「日本語由来の英語」

BOL Activity: ALT コーナー

8分	<ul style="list-style-type: none">ALTの説明や発言について、補助をする。自身の国のことについて話をしていく。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her country." アクティビティ例: ALTの国の遊びや食べ物などの文化を紹介したり、一緒に遊んだりしよう。

Sounds and Letters: アニマルジングル (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。教科書のAnimal Jingleを使い、Xx~Zzの音声や映像を視聴させる。児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters. X, /x/, fox! Y, /y/, yak! Z, /z/, zebra! Z, /z/, zoo!" HRT: "Today, let's check X, Y, and Z and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? Z! What sound does it make? /z/!"
ふり返しシート	バリエーション: <ul style="list-style-type: none">児童に、X, Y または Z を含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例: six, box, yellow, you, zoo, zebra...) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：Who is your hero? (pp.74-75)

レッスン 目標：日常生活についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料：I always/usually/sometimes/never～. Do you always/usually/sometimes/never～? What housework do you do? など

語彙：一日の生活 (PD p.20)

Greeting, Small Talk: What housework do you usually do?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "What housework do you usually do, (HRT) sensei?"

なし HRT: "I usually throw out the garbage. What housework do you usually do?"

ALT: "I do all of the housework. Wash dishes, do the laundry..."

HRT: "Wow, that's a lot of work!"

トピック例：What do you do in your house? What is your routine? など

Let's Sing: My Hero (p.75)

4分

- ・学級担任とALTで歌の紹介をする。

教材： 先生の導入：

HRT: "Let's sing a song. First, please listen."

PD または FCs ALT: "Yes, let's listen to 'My Hero'."

やりとり例：What did you hear?/ What's his father's job?/ What can he do?/ など

Word Link: 一日の生活 (PD p.20)

7分

- ・学級担任は、児童にPDの一日の生活のページを開かせ(または、FCsを使い)、声に出して単語を練習する。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary. Let's check and practice!"

PD または FCs やりとり例：

- ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。

- ・ミッシングゲーム：FCsを黒板に貼る。児童は目をつむる。一枚だけカードを抜き、児童は目を開ける。何がなくなったか当てる。

Let's Try 1 (p.75)

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材： 先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, look at the Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Let's play Lucky Card!"(詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・ラッキーカード：FCsを黒板に貼り付け、児童に、目をつむらせる。その間に、学級担任またはALTが、磁石(キャラクター等でも可能)をFCsの裏に隠し、ラッキーカードを設定する。児童は、目を開き、好きな単語を一つ発音する。発音したら、FCsをはがし、ラッキーカードだったかを確認する。

- ・ジェスチャーゲーム：先生は絵の一つを選んで、ジェスチャーをする。わかった児童は、単語を答えたり、みんなでリピートする。

Let's Chant: ① Who is your hero? (p.75)

5分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) Chant 1: Who is your hero? Hero, hero, who is your hero? My hero is my brother. He can speak English well. He is my hero. Hero, hero, who is your hero? My hero is my sister. She can play tennis well. She is my hero. ALT: "What did you hear?"

Starting Out (pp.74-75) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に音声を聞かせ、話題の順に番号を書かせる。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Please look at pages 74 to 75, Starting Out." ALT: "Let's listen carefully to the story." やりとり例: What did you hear? / What are they doing? * 児童の理解度によっては、最初に行動を英語で何と表せるか確認をしてから、リスニングをさせる。

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のFood Jingleを使い、Aa~Ccの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters." "A, /a/, apple! B, /b/, banana! C, /c/, corn!"
ふり返しシート	HRT: "Today, let's check A, B, and C and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? A! What sound does it make? /a/!" バリエーション: ・児童に、A, B または C を含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例: Japanese/ bed/ cat) * 児童の状況によって、まずは推測、その後、PD を開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Starting Out

主(L) 日常生活について、会話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ：Who is your hero? (pp.74-75)

レッスン 目標：あこがれの人についてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。

言語材料：Who is your hero? My hero is ～. Why is she/he your hero? She/He is good at ～. など

語彙：性格など (PD p.17)

Greeting, Small Talk: What do you usually do after school?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, what do you usually do after school?"

ALT: "I usually play tennis after school! And you?"

HRT: "I coach the kendo club."

ALT: "Cool! Can I join sometime?"

トピック例：What do you always(sometimes) do after school? / など

Let's Sing: My Hero (p.75)

5分

- ・学級担任とALTで歌の確認をする。

教材：

先生の導入：

HRT: "Let's sing a song."

デジタル教科書

ALT: "Yes, let's sing 'My Hero'."

アクティビティ例：

- ・デジタル教科書が個別にある場合には、児童に個別での練習を促し、数分取った後、全員で歌を歌う。

- ・音楽なしで、全員でゆっくり歌う。(発音や抑揚を意識させる)

Word Link: 性格など (PD p.17)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの性格などのページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：

先生の導入：HRT: "Look at the Picture Dictionary. Let's check and practice new words!"

PDまたはFCs

アクティビティ例：・カードを一部だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。

- ・児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。

Let's Try 1 (p.75)

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材：

先生の導入：

HRT: "Good job, everyone! Next, look at the Picture Dictionary."

PDまたはFCs

ALT: "Now let's play the Keyword game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・キーワードゲーム：ペアになり、向かい合う。消しゴム等掴むものを、真ん中に置く。キーワードを一つ設定する。単語をALTが読み、児童が復唱していく。キーワードが読まれたら、真ん中の消しゴムを取り、読まれた単語を言う。

- *できるようになってきたら、絵だけ児童に見せて、児童が単語を発音していく。

Let's Chant: ② Why is he your hero? (p.75)

6分	<ul style="list-style-type: none">・チャンツをかけた後、内容について、児童へ質問をする。・チャンツを再びかけ、児童と一緒に歌うように促す。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "First, please listen to the chant." (教科書のチャンツを流す) ALT: "What did you hear?" "Why is he your hero? / He is good at cooking. / Good at skiing. Good at singing. / He is always kind to me. / Why is she your hero? / She is good at shogi. / Good at math. Good at kendo. She is always kind to me."

Let's Watch and Think (p.75) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に音声や映像を視聴させる。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Before we watch the video, do you know who they are?" ALT: "Can you guess what they do?" HRT: "Let's watch and think." (映像を流す) ALT: "What did you hear?"

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のFoodJingleを使い、Dd~Ffの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters." "D, /d/, donut! E, /e/, egg! F, /f/, fish!"
ふり返しシート	HRT: "Today, let's check D, E, and F and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? E! What sound does it make? /e/!" バリエーション: ・児童に、D, E, または F 含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例: dog/ eat/ uniform) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PD を開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

㊦評価 Let's Watch and Think

主(L) 有名人の得意なことについて、話の概要を捉えようとしている。

知(L) My hero is ~. He/She is good at ~. の表現について、理解している。

45 テーマ：Who is your hero? (pp.76-77)

レッスン 目標：日常生活について4コーナーゲームで表現しよう。

言語材料：I always/usually/sometimes/never～. など

語彙：頻度 (PD pp.20)

Greeting, Small Talk: Who is your hero?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

ALT: "(HRT) sensei, who is your hero?"

なし HRT: "This is my hero! He is Roki Sasaki. He is a baseball player! Who is your hero?"

ALT: "My hero is... He/She is..."

BOL Activity: メモリーゲーム

5分

- ・学級担任とALTで、前の時間までに学んだ単語と表現を確認する。

教材： 先生の導入：

HRT: "Let's check phrases and words!"

PD または FCs ALT: "Now let's play a memory game!" (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

*理解度に応じて、デモンストレーションを見せる。

アクティビティ例：

- ・メモリーゲーム：黒板にフラッシュカードを貼る。児童にフラッシュカードとその場所を覚える時間を与える。その後、学級担任とALTがカードを裏返す。児童は、手を挙げてその場所にあった単語を当てていく。

Word Link: 頻度 (PD p.20)

5分

- ・学級担任は、児童にPDの頻度のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary. Let's check and practice!"

PD または FCs やり取り例：

- ・カードの一部だけを見せて、児童に何のカードか当てさせる。
- ・カードを最後の一枚以外、見せていき、最後の一枚が何かを児童が推測する。
- ・児童が、単語を発音し、ALTが児童のあとに続いて、発音する。*間違い等あれば、フィードバックをしていく。

BOL Activity: 一日の生活

8分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材： 先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, let's practice words."

PD または FCs ALT: "Please tell me about your day." (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・一日の生活と頻度を使って、自分の一日を表現しよう：学級担任、またはALTが頻度を表す単語を一つ言う。その単語を使いながら、児童は、自身の生活を英語で言っていく。(例：ALT: "Always. 児童：I always brush my teeth. ALT: "Sometimes. 児童：I sometimes wash the dishes... 繰り返す)

*児童のレベルに応じて、一人ひとり頻度を変えて答えさせるなどして難易度を変える。

Let's Listen 1 (p.76) ㊦

6分	<ul style="list-style-type: none">・児童に教科書p.76を開くように指示する。・デジタル教科書の音声を流す。
教材：	先生の導入：
デジタル教科書	HRT: "Next, Let's Listen 1." ALT: "What did you hear?" やり取り例：(always, usually, sometimes を交えて) Do you (always, usually, sometimes) take out the garbage? / Do you usually clean your room? / Do you go to school? / など アクティビティ例： ・ヒントになるように、リスニングをさせる前にそれぞれの絵を表す単語を交えて質問をする。

Let's Try 2 (p.76) ㊦

10分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任とALTが、モデルを示す。
教材：	先生の導入：HRT: "Let's Try 2. First, please watch us." ALT: "Let's play the '4 Corners' game! Please move to the corner to tell me your answer!"
デジタル教科書	アクティビティ例： ・4 コーナーゲーム：教室の四角をそれぞれ、always/usually/sometimes/never/ のブースとする。PD の一日の生活のページを元に、自分にあった場所へ行く。(例：一日の生活：brush my teeth → always の児童はその場所へ、usually の児童はその場所へ ...) その後、各ブースに、グループごとに回答をさせる。

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のFoodJingleを使い、Gg~Iiの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入：
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters." "G, /g/, gum! H, /h/, hot dog! I, /i/, It's nice!"
ふり返しシート	HRT: "Today, let's check G, H, and I and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? I! What sound does it make? /i/!" バリエーション： ・児童に、G, H, またはIを含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例：go/ high/ rainy) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PD を開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

㊦評価 Let's Listen ①

思(L) 日常生活などについて、短い話の概要を捉えている。

㊦評価 Let's Try ②

知(S) always/usually/sometimes/never について、理解している。

思(S) 日常生活について、always/usually/sometimes/never の表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。

45 テーマ：Who is your hero? (pp.76-77)

レッスン 目標：友達と話し合っ、友達のことを紹介しよう。

言語材料：Are you good at ~? Yes, I am./No, I'm not. This is ~. He/She is good at ~. He/She is always ~ to me. など

語彙：スポーツ (PD p.7), 楽器 (PD p.25)

Greeting, Small Talk: Who is a hero in our city?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Do you know a hero from here?"

ALT: "I know Sakamoto Ryoma."

HRT: "He is a famous but he is not a hero from our city. The hero is Shibusawa Eichi." (地域ごとに決める)

ALT: "Oh great! What did he do?"

HRT: "He made new companies in Japan. He is called a father of Japan economy." ALT: "Wow! Do you a hero from my hometown?" (同じように繰り返す)

BOL Activity: 伝言ゲーム

5分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材： 先生の導入：

HRT: "Good job everyone! Next, let's review. Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Let's play the Whisper Game!" (詳細は以下の例を参照してください)

アクティビティ例：

- ・ウィスパーゲーム(伝言ゲーム)：クラスを列ごとのグループに分ける。ALTが単語を1番最初の児童に伝え、その児童は、次の児童に順番に単語を伝えていく。最後の児童は、伝わってきた単語を黒板に書く。

*後ろに伝えるときには、ジェスチャーにしたり、伝える個数を増やすことで難易度を調整する。

Word Link: スポーツ (PD p.7), 楽器 (PD p.25)

5分

- ・学級担任は、児童にPDのスポーツ・楽器のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材： 先生の導入：

HRT: "Look at the Picture Dictionary."

PD または FCs ALT: "Let's practice new words."

やりとり例：

- ・カードの一部をだんだんと見せていき、児童はカードが何かを当てる。

・カードを一瞬だけ見せて、児童に何のカードか当てさせる。

BOL Activity: お手玉渡し

7分

- ・学級担任とALTで、新しい語彙を使いながら、活動を行う。

教材： 先生の導入：

HRT: "Let's play Beanbag Toss!"

PD または FCs ALT: "First, say a word. Next, toss the bag to someone." (詳細は以下の活動アイデアを参照してください)

アクティビティ例：

- ・お手玉渡し(Beanbag pass): お手玉を児童に渡す。児童は近くの人にお手玉をパスできるが、渡すときに単語を言わなくてはならない。30秒や1分など時間内に児童は、お手玉を渡し続ける。

Let's Try 3, Let's Try 4 (p.77) ◎

7分

教材：

デジタル教科書

・児童に、好きなキャラクターや人を選ぶ。
・児童はペアになり、教科書やPDの絵をヒントに質問しあう。
・選んだキャラクターが何かを当てる。
先生の導入：
HRT: "Open your textbook to page 77, Let's Try 3. Let's review the words and phrases."
ALT: "Let's play the 'Who-am-I?' game!"
HRT: "Great job! everyone. Next, let's try 4."
ALT: "Now you know well about your classmates. Let's introduce classmates."
やり取り例：Are you good at ~ ? / Are you ~ ? / など

Let's Listen 2 (p.77) ◎

10分

教材：

デジタル教科書

・児童に教科書p. 77を開くように指示する。
先生の導入：
HRT: "Look at Let's Listen 2. Let's listen to (ALT) sensei!"
ALT: "Please listen carefully."
やり取り例：My hero is ~ , because...
バリエーション：子どもからALTへ質問をさせて答えをALTから引き出していく。

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

5分

教材：

教科書

ふり返しシート

・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。
・教科書のFoodJingleを使い、Jj~Llの音声や映像を視聴させる。
・児童にふり返しシートを記入させる。
先生の導入：
HRT: "First, let's check Sounds and Letters."
"J, /j/, jam! K, /k/, kiwi fruit! L, /l/, lemon!"
HRT: "Today, let's check J, K and L and their sounds. We already learned their names."
ALT: "What letter is this? L! What sound does it make? /l/!"
バリエーション：
・児童に、J, K, または L を含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例：jump/ socks/ left)
*児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分

教材：

なし

・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

◎評価 Let's Try ④

知(S) He/She is good at ~ . の表現について理解している。

思(S) 友達や先生の得意なことについて、Are you good at ~ , の表現を用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。

Let's Listen ②

思(L) 先生のあこがれの人が得意なことについて、短い話の概要を捉えている。

47 テーマ：Who is your hero? (pp.78-79)

レッスン 目標：3 ヒントクイズを作ろう。

言語材料：Who is he/she? He/She is good at ~ . He/She is 性格 . He/She can ~ . など

語彙：一日の生活 (PD p.20), 性格など (PD p.17), 頻度 (PD p.20), スポーツ (PD p.7), 楽器 (PD p.25)

Greeting, Small Talk: What can he do well?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "Who is he?"

ALT: "Oh, he is ~ sensei!"

HRT: "What can he do well?"

ALT: "He can play soccer well!"

トピック例：What can she do well?

Let's Sing: My Hero (p.75)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書 ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やりとり例：What did you hear?

Let's Chant: ① Who is your hero? ② Why is he your hero? (p.75)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Who is your hero? Hero, hero, who is your hero? My hero is my brother. He can speak English well. He is my hero.

Hero, hero, who is your hero? My hero is my sister. She can play tennis well. She is my hero.

ALT: "Okay, nice! Now, chant number 2..."

Chant 2:

Why is he your hero? He is good at cooking./ Good at skiing. Good at singing. He is always kind to me./

Why is she your hero? She is good at shogi./ Good at math. Good at kendo. She is always kind to me./

BOL Activity: BINGO

10分

- ・学級担任は、児童にPDの一日の生活・頻度のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材：先生の導入：

HRT: "First, let's review words!"

PD または FCs ALT: "Let's play Bingo!" アクティビティアイデア：

- ・ビンゴ：お題は、「ALTの一日の生活」とし、児童に、3×3のビンゴカードのマス埋めさせる。マスの中身は、頻度と一日の生活を両方書かせる。(例：always brush my teeth/ sometimes play soccer など)

Step 1 (p.78) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・児童に自身のヒーローを考えさせる。・ヒーロー紹介カードを児童に作らせる。・ペアでヒーローが誰かを尋ね合わせる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's make a hero card!" ALT: "Who is your hero? Make three hints, please!" アクティビティ例:
ヒーロー紹介カード	・3ヒントクイズ: 児童は、紹介したい人やキャラクターを決める。その後、その人を表す3つのヒントを作成する。ヒントは、Who is he/she? He/She is good at ~. He/She is 性格./ He/She can ~. などのフレーズが使えることを示しておく。作成後、グループで3ヒントクイズを出し合う。

Step 2 (p.78) ◎

10分	<ul style="list-style-type: none">・Step 1で答えたヒーローがなぜヒーローだと思うのか考えさせる。・理由をペアで尋ね合わせる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "Let's ask why he/she is your hero." ALT: "Please watch us." アクティビティ例:
ヒーロー紹介カード	・発表の仕方をクラスで共有する。: アイコンタクト、声の大きさ、発音のポイントなどを確認してから、児童に練習を行わせる。

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のFoodJingleを使い、Mm~Ooの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters." "M, /m/, melon! N, /n/, namu! O, /o/, omelet!" HRT: "Today, let's check M, N, and O and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? O! What sound does it make? /o/!"
ふり返しシート	バリエーション: ・児童に、M, N または O を含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例: make/ tennis/ join) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PD を開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 1, 2

思(S) あこがれの人について、簡単な語句や Who is your hero?, My hero is ~. の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

思(S) あこがれの人の日常生活や得意なことについて、簡単な語句や Why is he/she ...?, He/She is good at ~. を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

45 テーマ : Who is your hero? (pp.78-79)

レッスン 目標 : 3 ヒントクイズで、問題を出し合おう。

言語材料 : Who is he/she? He/She is good at ~ . He/She is 性格 . He/She can ~ . など

語彙 : 一日の生活 (PD p.20), 性格など (PD p.17), 頻度 (PD p.20), スポーツ (PD p.7), 楽器 (PD p.25)

Greeting, Small Talk: Who is she?

7分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

ALT: "(HRT) sensei, I am thinking of... a woman!"

HRT: "Who is she?! Your girlfriend?!"

ALT: "No! I'll give you a hint! She is good at (math). She is (kind to students). Can you guess?"

HRT: "It's Mrs. So-and-so, the math teacher!"

ALT: "That's right! Nice work!"

* レベルに応じて、児童から ALT へ質問をさせる。

トピック例 : Who is he?

Let's Sing: My Hero (p.75)

4分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やりとり例 : What did you hear?

Let's Chant: ① Who is your hero? ② Why is he your hero? (p.75)

5分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:

Who is your hero? Hero, hero, who is your hero? My hero is my brother. He can speak English well. He is my hero.

Hero, hero, who is your hero? My hero is my sister. She can play tennis well. She is my hero.

ALT: "Okay, nice! Now, chant number 2..."

Chant 2:

Why is he your hero? He is good at cooking./ Good at skiing. Good at singing. He is always kind to me./

Why is she your hero? She is good at shogi/. Good at math. Good at kendo. She is always kind to me./

BOL Activity: カルタ

9分

- ・学級担任は、児童にPDのスポーツ・楽器のページを開かせ(または、FCsを使用)、声に出して単語を練習する。

教材 : 先生の導入 :

HRT: "Good job everyone! Next, let's look at the Picture Dictionary, pages 7 and 25."

PD または FCs

ALT: "Let's play Karuta!"

アクティビティ例 :

・カルタ:FCsを使ってカルタを行う。単語をそのまま読む、一部だけ読む、フレーズに入れて読む、ヒントから連想させるなどレベルに応じて、設定する。

Step 3 ◎

12分	・児童は、グループを作り、自身のヒーローを紹介しあう。
教材：	先生の導入： HRT: "Let's introduce our heroes!"
教科書	ALT: "Remember to listen and ask questions!" アクティビティ例：
ヒーロー紹介カード	・3ヒントクイズ：児童は、紹介したい人やキャラクターを決める。その後、その人を表す3つのヒントを作成する。ヒントは、Who is he/she? He/She is good at ~. He/She is 性格./ He/She can ~. などのフレーズが使えることを示しておく。作成後、グループで3ヒントクイズを出し合う。

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

7分	・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。 ・教科書のFoodJingleを使い、Pp~Rrの音声や映像を視聴させる。 ・児童にふり返しシートを記入させる。
教材：	先生の導入： HRT: "First, let's check Sounds and Letters."
教科書	"P, /p/, pizza! Q, /q/, queen's lunch! R, /r/, rice!" HRT: "Today, let's check P, Q, and R and their sounds. We already learned their names."
ふり返しシート	ALT: "What letter is this? R! What sound does it make? /r/!" バリエーション： ・児童に、P, QまたはRを含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例：pen/ squid/ under) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Step 3

思(S) あこがれの人の日常生活や得意なことについて、簡単な語句や Why is he/she your hero?, He/She is good at ~., He/She can ~. の表現を用いて、お互いの考えを伝え合っている。

主(S) あこがれの人の日常生活や得意なことについて、簡単な語句や Why is he/she your hero?, He/She is good at ~., He/She can ~. の表現を用いて、お互いの考えを話そうとしている。

45 テーマ：Who is your hero? (pp.80-81)

レッスン 目標：世界で活躍する人について考え、世界と日本の文化への理解を深めよう。

言語材料：～ is Do you usually ～ ? I usually ～ . など

語彙：一日の生活 (PD p.20), 性格など (PD p.17), 頻度 (PD p.20), スポーツ (PD p.7), 楽器 (PD p.25)

Greeting, Small Talk: Do you usually read the newspaper?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材： HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

なし

HRT: "(ALT) sensei, do you usually read the newspaper?"
 ALT: "Umm, No, I don't."
 HRT: "How about novels?"
 トピック例： Do you (always/usually/sometimes/never) ～ ?

Let's Sing: My Hero (p.75)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材： 先生の導入：

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書

ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"
 やりとり例： What did you hear?"

Let's Chant: ① Who is your hero? ② Why is he your hero? (p.75)

3分

- ・学級担任とALTでゆっくりチャンツを確認する。
- ・個人でデジタル教科書が使えるれば、個別に練習をさせる。
- ・全員で、リズムに合わせて練習をする。

教材： 先生の導入：

HRT: "Let's chant together! Chant number one." (教科書のチャンツを流す)

デジタル教科書

Chant 1:
 Who is your hero? Hero, hero, who is your hero? My hero is my brother. He can speak English well. He is my hero.
 Hero, hero, who is your hero? My hero is my sister. She can play tennis well. She is my hero.
 ALT: "Okay, nice! Now, chant number 2..."

Chant 2:

Why is he your hero? He is good at cooking./ Good at skiing. Good at singing. He is always kind to me./
 Why is she your hero? She is good at shogi/. Good at math. Good at kendo. She is always kind to me./

BOL Activity: リングトス

7分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材： 先生の導入：

HRT: "What did you learn in this unit?"

PD または FCs

ALT: "Let's play Ring Toss to review!"

アクティビティ例：

- ・リングトス：FCs を使って輪投げの要領で、ゲームを行う。児童は、輪を投げ、輪に入った単語を正しく発音出来たら、そのカードは投げた人のポイントになる。
- ・メモリーゲーム：グループに分ける。神経衰弱と同じルールでカードをめくる。めくったカードは正しく発音する。ペアができたなら自分のものになる。

Do you know? (pp.80-81)

10分	・教科書を開く前に、世界で活躍する日本人で知っている人はいるか児童に質問する。
教材：	先生の導入： HRT: "Please look at the pictures! Who is this?"
デジタル教科書	ALT: "I know him! He's... Do you know other famous Japanese people?" アクティビティ例： ・世界で活躍する人やキャラクターを確認する。 参考：Google 検索：「世界で活躍する日本人」

Challenge (p.81) ◎

10分	・児童は、活躍する日本人について考え、ペアで会話をする。
教材：	先生の導入： ALT: "So... who is your Japanese hero? Ichiro? Otani-san?"
教科書	HRT: "Let's talk in pairs! My Japanese hero is..."

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

6分	・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。 ・教科書のFoodJingleを使い、Ss~Vvの音声や映像を視聴させる。 ・児童にふり返りシートを記入させる。
教材：	先生の導入： HRT: "First, let's check Sounds and Letters."
教科書	S, /s/, salad! T, /t/, tea! U, /u/, cupcake! V, /v/, Very good! HRT: "Today, let's check S, T, U, and V and their sounds. We already learned their names."
ふり返りシート	ALT: "What letter is this? U! What sound does it make? /u/!" バリエーション： ・児童に、S, T, UまたはVを含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例：send/ turn/ Sunday/ volleyball) *児童の状況によって、まずは推測、その後、PDを開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材：	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 Challenge

主(S) 日本のヒーローについて、簡単な語句やUnitで習った表現を用いて、お互いの考えを伝え合おうとしている。

45 テーマ：Who is your hero? (pp.80-81)

レッスン 目標：英語と日本語との違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深めよう。

言語材料：He/She can ～. Can he/she ～? My name is ～. I'm from ～. など

語彙：一日の生活 (PD p.20), 性格など (PD p.17), 頻度 (PD p.20), スポーツ (PD p.7), 楽器 (PD p.25)

Greeting, Small Talk: Do you usually play games?

5分

- ・学級担任と児童があいさつをし、簡単に質問をする。
- ・学級担任とALTで、児童を巻き込みながら、Small Talkを始める。
- ・学級担任は、児童に本時のめあてを示す。

教材：HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

HRT: "Do you usually play games?"

なし

ALT: "Yes, I do! I play Pokemon every day! Do you play Pokemon?"

HRT: "I sometimes play Pokemon Go on my phone..."

トピック例：Do you (always/usually/sometimes/never) ～?

Let's Sing: My Hero (p.75)

3分

- ・個人用のデジタル教科書があれば、個人練習の時間をとる。
- ・全員で、歌を歌わせる。

教材：先生の導入：

HRT: "Let's sing!"

デジタル教科書 ALT: "Sing slowly with me! Do you remember our song?"

やりとり例：What did you hear?

BOL Activity: ピクショナリー

8分

- ・学級担任とALTで、語彙の復習をする。
- ・学級担任とALTで、ルール説明をする。

教材：先生の導入：

HRT: "What did you learn in this unit?" ALT: "Let's play pictictionary to review!"

PD または FCs

アクティビティ例：

・ピクショナリー：児童にグループを複数作らせ、グループごとに1列に整列させる。前の人から順番に解答者になる。先生または、ALTが10秒間でFCsの単語の絵を描き、代表の児童は、その絵を推測する。間違ったら、列の後ろに行き、次の児童が解答する。合っていたら、次のゲームで絵を描く担当になる。

ことば探検 (p.80)

7分

- ・学級担任は教科書を開く前に、いくつか日本文を示す。児童は、そこから法則を見つける。
- ・ALTはいくつか英文を示す。児童は、そこから同様に法則を見つける。

教材：先生の導入：

HRT: "Look at these Japanese sentences... Now look at the English ones..."

教科書 ALT: "Did you see a word move? What did you see?"

やり取り例：・児童に、教科書を振り返りながら、英語を扱うときの法則をできるだけ見つけさせる。

辞書など

日本のすてき (p.81) ◎

9分	<ul style="list-style-type: none">・日本のすてきを使って、リスニングをさせる。・個人用のデジタル教科書がある場合は、各自のペースでリスニングをする。・全体で内容の確認をする。
教材:	先生の導入:
デジタル教科書	HRT: "Let's listen to " 日本のすてき." ALT: "Listen carefully!" アクティビティ例:
BOL ワークシート	<ul style="list-style-type: none">・ワークシートについて: 動画に出てこない単語を含め、複数単語を用意しておく。児童は、聞き取った単語があれば、単語をなぞる。・ALT が、日本の文化で気になったこと、すばらしいと思ったこと、おかしいと思ったことなどを自由に話す。

BOL Activity: ALT コーナー

7分	<ul style="list-style-type: none">・ALTの説明や発言について、補助をする。
教材:	先生の導入:
なし	HRT: "Let's listen to (ALT) sensei! (ALT) sensei will talk about his/her country." アクティビティ例: ・ALT の自国で活躍する人を紹介する。

Sounds and Letters: Food Jingle (p.96)

5分	<ul style="list-style-type: none">・学級担任またはALTが、教科書P.96をもとに児童に、アルファベットの名前と音の違いを認識させる。・教科書のFoodJingleを使い、Ww~Zzの音声や映像を視聴させる。・児童にふり返しシートを記入させる。
教材:	先生の導入:
教科書	HRT: "First, let's check Sounds and Letters." "W, /w/, watermelon! X, /x/, lunch box! Y, /y/, Yummy! Z, /z/, zucchini!"
ふり返しシート	HRT: "Today, let's check W, X, Y, and Z and their sounds. We already learned their names." ALT: "What letter is this? Z! What sound does it make? /z!/" バリエーション: <ul style="list-style-type: none">・児童に、X, Y または Z を含む単語を時間内で、できるだけたくさん探させる。(例: box/ yellow/ zoo)*児童の状況によって、まずは推測、その後、PD を開かせるなど難易度を調整する。

Goodbye

1分	<ul style="list-style-type: none">・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材:	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"
なし	

◎評価 日本のすてき

主(L) 日本在住の外国出身の人について、短い話の概要を捉えようとしている。

45 テーマ : Let's introduce good things about Japan. (pp.82-83)

レッスン 目標 : ALT に日本を紹介するためにスピーチの準備をしよう。

言語材料 : She/He is good at ~ . She/He is always ~ to me. She/He can ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14), 年中行事 (PD p.28), 一日の生活 (PD p.20), 頻度 (PD p.20), 食べ物 (PD p.8), 味 (PD p.11)

Greeting**3 分**

・英語を使用する雰囲気を作り、児童に授業の準備をさせる。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"

児童から反応を引き出す。

なし

Let's Chant: ① Why do you like winter? (p.67)**8 分**

・チャンツで、Unit 7で学んだことを復習させる。

教材 : Why do you like winter?
We have New Year's Day in winter.
デジタル教科書 New Year's Day, New Year's Day.
We have New Year's Day in winter.
Why do you like spring?
Why do you like summer?
Why do you like fall?**Let's Chant: ② What do you do on New Year's Day? (p.67)****8 分**

・チャンツで、Unit 7で学んだことを復習させる。

教材 : What do you do on New Year's Day?
Me? Yes, you.
デジタル教科書 I usually play karuta.
What do you do in spring?
We usually see cherry blossoms.
What do you do in summer?
We usually dance bon-odori.
What do you do in fall?
We usually see the moon.**Let's Chant: ① Who is your hero? (p.75)****8 分**

・チャンツで、Unit 8で学んだことを復習させる。

教材 : Who is your hero?
Hero, hero, who is your hero?
デジタル教科書 My hero is my brother.
He can speak English well.
He is my hero.
Hero, hero, who is your hero?
My hero is my sister.
She can play tennis well.
She is my hero.

Let's Chant: ② Why is he your hero? (p.75)

8分	・チャンツで、Unit 8で学んだことを復習させる。
教材： デジタル教科書	Why is he your hero? / He is good at cooking. / Good at skiing. Good at singing. / He is always kind to me. / Why is she your hero? / She is good at shogi. / Good at math. Good at kendo. She is always kind to me. /

HOP (p.83)

4分	・Unit 7~8で学んだ表現を復習させる。
教材： デジタル教科書 PD	ALT: "Let's review the cards on page 82 and look back over what you've learned." 児童は、Unit 7-8で練習したスピーチや会話を再度練習する。 ALTはデモンストレーションのビデオを見せる。 HRT: "Let's make a Japan Guide for (ALT) sensei. What would you like to tell them about Japan?" 児童は、日本について言いたいことや使うべき表現を考える。

STEP (p.83)

5分	・児童に、英語で日本のすてきなところを紹介する方法を考えさせる。
教材： デジタル教科書 紙	スピーチをデモンストレーションする。 ALT: "Hello. I'm Sora. In Japan, you can enjoy many festivals. In Yokohama, we have Sparkling Twilight in July." ALT: "You can see over 3,000 fireworks. It's wonderful. Thank you very much!" 学級担任またはALTが、地元のガイドブック用の紙を配布する。 ALT: "You can find expressions for your guidebook page on page 82." HRT: "Please introduce something good about Japan to (ALT) sensei." 児童は、メッセージを伝える練習をする。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材： なし	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

◎評価

知(S) Unit 7~8で学習した表現やその関連語句について、理解している。

知(S) 人や行事、食べ物について、Unit 7~8で学習した表現やその関連語句を用いて、考えを話す知能を身に付けている。

思(S) 「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物について、関連語句やUnit 7~8で学習した表現を用いて、考えや気持ちを話している。

主(S) 「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物について、関連語句やUnit 7~8で学習した表現を用いて、考えや気持ちを話そうとしている。

45 テーマ : Let's introduce good things about Japan. (pp.82-83)

レッスン 目標 : ALT に日本を紹介するためにスピーチをしよう。

言語材料 : She/He is good at ~ . She/He is always ~ to me. She/He can ~ . など

語彙 : 季節 (PD p.14), 年中行事 (PD p.28), 一日の生活 (PD p.20), 頻度 (PD p.20), 食べ物 (PD p.8), 味 (PD p.11)

Greeting**3 分**

・英語を使用する雰囲気を作り、児童に授業の準備をさせる。

教材 : HRT/ALT: "Hello. How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather?"
児童から反応を引き出す。
なし

Let's Chant: ① Why do you like winter? (p.67)**8 分**

・チャンツで、Unit 7で学んだことを復習させる。

教材 : Why do you like winter?
We have New Year's Day in winter.
デジタル教科書 New Year's Day, New Year's Day.
We have New Year's Day in winter.
Why do you like spring?
Why do you like summer?
Why do you like fall?

Let's Chant: ② What do you do on New Year's Day? (p.67)**8 分**

・チャンツで、Unit 7で学んだことを復習させる。

教材 : What do you do on New Year's Day?
Me? Yes, you.
デジタル教科書 I usually play karuta.
What do you do in spring?
We usually see cherry blossoms.
What do you do in summer?
We usually dance bon-odori.
What do you do in fall?
We usually see the moon.

Let's Chant: ① Who is your hero? (p.75)**8 分**

・チャンツで、Unit 8で学んだことを復習させる。

教材 : Who is your hero?
Hero, hero, who is your hero?
デジタル教科書 My hero is my brother.
He can speak English well.
He is my hero.
Hero, hero, who is your hero?
My hero is my sister.
She can play tennis well.
She is my hero.

Let's Chant: ② Why is he your hero?

8分	・チャンツで、Unit 8で学んだことを復習させる。
教材： デジタル教科書	Why is he your hero? / He is good at cooking. / Good at skiing. Good at singing. / He is always kind to me. / Why is she your hero? / She is good at shogi. / Good at math. Good at kendo. She is always kind to me. /

JUMP (p.83)

5分	・児童に、ALTに日本を紹介するためのスピーチをさせる。
教材： デジタル教科書	ALTは自国の素敵なものの紹介のデモンストレーションをする。デモンストレーションが終わったら、学級担任に質問をしてもらう。また、評価基準を示してもらう。 自己評価の2つのポイントを84ページの振り返り(スピーチの内容と伝える工夫)について確認する。 ALT: "Please practice reading your speech out loud. Think about 'Topic' and 'Communication'." 児童は声に出して練習をする。 HRT: "Now let's deliver our speech to the class." ALT: "When it's your turn to listen, please remember to give your classmates nice comments." 児童は、クラスの前でスピーチを発表する。その間、学級担任は話し手と聞き手、両方の評価をする。 児童にスピーチの後にメッセージを書かせ、提出させる。

BOL Reflection

4分	・児童お互いに達成感を得られるように、ペアになりコメントをさせる。
教材： なし	ALT: "Let's make pairs and give some comments." 児童にペアを組ませ、お互いにフィードバックをさせる。 日本のガイドブックをクラスに見せ、児童は感想を言う。 学級担任とALTは児童にコメントをする。

Goodbye

1分	・児童を褒めて、今日の成果を振り返る。
教材： なし	ALT: "Great job today, class! That's all for today. See you next time! Goodbye!"

◎評価

知(S) Unit 7～8で学習した表現やその関連語句について、理解している。

知(S)人や行事、食べ物について、Unit 7～8で学習した表現やその関連語句を用いて、考えを話す知能を身に付けている。

思(S)「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物について、関連語句やUnit 7～8で学習した表現を用いて、考えや気持ちを話している。

主(S)「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物について、関連語句やUnit 7～8で学習した表現を用いて、考えや気持ちを話そうとしている。

Unit 1 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.17 を開こう！
- ② 「日本のすてき 1」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

India America Australia

live like play

spring summer winter

deep light bad

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 2 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.25 を開こう！
- ② 「日本のすてき 2」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

Japan Sweden China

garden temple school

spring fall winter

easy great difficult

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 3 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.33 を開こう！
- ② 「日本のすてき 3」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

Turkey Korea Thailand

works helps eats

worker singer farmer

February July November

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 4 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.45 を開こう！
- ② 「日本のすてき 4」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

Italy France Germany

put buy make

enjoy look have

old beautiful short

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 5 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.53 を開こう！
- ② 「日本のすてき 5」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

Spain Canada Mexico

get make like

yellow purple green

try play buy

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 6 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.61 を開こう！
- ② 「日本のすてき 6」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

Sweden Germany France

restaurant hospital supermarket

red brown black

grape apple lemon

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 7 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.73 を開こう！
- ② 「日本のすてき 7」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

good great nice

England America Egypt

artist teacher student

colors subjects animals

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Unit 8 Interviews - Let's Listen!



- ① 教科書の P.81 を開こう！
- ② 「日本のすてき 8」の動画を見よう！
- ③ 動画を見て、聞き取った単語があれば、下の単語をなぞろう！

England France Italy

glue pen eraser

hat cap socks

fly turn talk

どんな仕事をしているのかな？日本語で書きとろう！

分かったことを日本語で書こう！

Answers

1. Australia/ live/ summer/ deep
2. Sweden/ garden/ fall/ difficult
3. Turkey/ farmer/ helps/ July
4. Italy/ put/ look/ beautiful
5. Canada/ make/ yellow/ try
6. France/ restaurant/ brown/ apple
7. great/ England/ artist/ colors
8. England/ pen/ hat/ fly

Believe in your Possibility!